

令和7年度
札幌市子ども子育てに関する
市民アンケート調査
報告書

令和8年3月
札幌市

目次

調査概要

調査結果【子育てに関するアンケート調査】

問1 調査票の回答者(子どもからみた関係)

問2 回答者の年代

問3 回答者の居住区

問4 子どもの人数

問5 子どもの生年月【一番下の子ども／1学年ごと】

問5 子どもの生年月【一番下の子ども／区分】

問6 世帯構成

問7 回答者世帯の年収

問8 就労状況【母親】

問8 就労状況【父親】

問9 子どもの身の回りのお世話を主に行っている人(子どもからみた関係)

問10 平日、子どもが起きている間で子どもと一緒に過ごす時間【母親】

問10 平日、子どもが起きている間で子どもと一緒に過ごす時間【父親】

問11 子どもをみてもらえる親族・知人

問12 子育てをする上で、気軽に相談できる人や機関・場所

問13 子育てをしていて、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いか

問14(1) 子育てをしていて感じる悩みの有無

問14(2) 【悩みを感じている方限定】子育てをしていて感じる悩みの内容

問14(3) 【悩みを感じている方限定】 悩みを軽減するために必要なサポート

問15(1) 年長～小学6年生のお子さんを養育しているか

問15(2) 【年長～小学6年生を養育している方限定】学校がある日の朝のお子さんの主な居場所

問15(3) 【年長～小学6年生を養育している方限定】学校がある日の朝、お子さんが自宅以外で過ごす場所があれば利用したいか

問15(4) 【学校始業前にお子さんが過ごす場所があれば利用したいと思う方限定】
利用させたい場所

問16 札幌市の子育て支援策・子育て環境について

(1) 既にある程度充実していると考えているもの

(2) 今後より充実してほしいもの

問17(1) あなたは、札幌市は、子どもが大切にされているまちだと思うか

問17(2) 【札幌市は子どもが大切にされているまちだと思う方限定】子どもが大切にされている
まちだと思う理由

問17(3)【札幌市は子どもが大切にされているまちだと思わない方限定】大切にされていると思わない理由

問18(1) 未就学の子どもを養育しているか

問18(2)【未就学児を養育している方限定】この1年間に希望に応じた保育サービスを利用できたか

問19(1) さっぽろ子育て情報サイトを利用したことがあるか

問19(2)【利用したことがある方限定】さっぽろ子育て情報サイトの内容に満足しているか

問19(3) 子育てや子育て支援に関する情報の入手方法

問20 札幌市内の子ども向け屋内施設の認知度

問21 過去1年間に子どもと一緒に利用した子ども向け施設

問22(1) 札幌市内の子ども向けの遊びや体験に関する情報の入手方法

問22(2) 札幌市内の子ども向けの遊びや体験に関する情報の内容に満足しているか

問22(3) 札幌市内の子ども向けの遊びや体験に関するどのような情報が必要か

問23(1) 育児休業取得の有無(単一回答)※子どもが複数いる場合は一番下の子どもの出生時

問23(2)(3)【取得した方・現在、取得中である方限定】育児休業の取得期間

問23(4)【取得していない方限定】育児休業を取得していない理由

問24 「子どもの権利」の認知度

問25 「子どもの権利」の中で、今よりもっと大切にしていこう必要があると思うもの

問26(1) あなたは、札幌市では「子どもの権利」が大切にされていると思うか

問26(2) 【大切にされている場合が多いと回答した方限定】

「子どもの権利」が大切にされていると思う理由

問26(3) 【大切にされていない場合が多いと回答した方限定】

「子どもの権利」が大切にされていないと思う理由

問27 札幌市の子育て支援の取組へのご意見

調査結果【子どもに関する意識調査】

問1 回答者の性別

問2 回答者の今の状況

問3 ホットとでき、安心していられる居場所

問4 夢中になれること、充実していると感じること

問5 地域の人たちとの関わり

問6 札幌市での、子どもを対象とした参加の取組や環境

問7 自分の考えや思いがあるときにそれを伝える機会

問8(1) 自分自身のことについて

問8(2) (1)のオ「自分にはさまざまな可能性があると思う」の質問で「そう思う」、
「どちらかといえばそう思う」を選んだ理由

問8(3) (1)のオ「自分にはさまざまな可能性があると思う」の質問で「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」を選んだ方。可能性を広げていくための取組やサポートについて

問9 今の悩みや困りごと

問10 悩みごとの相談先

問11 相談機関の認知度や利用の有無

問12 「子どもの権利」の認知度

問13 子どもの権利の中で、特に大切にしてほしいと思う権利

問14(1) 「子どもの権利」が大切にされているか

問14(2) (1)の質問で「大切にされている場合が多い」「どちらかという大切にされている場合が多い」を選んだ理由

問14(3) (1)の質問で、「どちらかという大切にされていない場合が多い」「大切にされていない場合が多い」を選んだ理由

問15 あなたは、札幌市では、子どもが大切にされていると思うか

調查概要

1 調査目的

札幌市では、「子どもの権利推進計画」や子ども・子育て支援法に基づく「市町村子ども・子育て支援事業計画」等を包含する「第5次さっぽろ子ども未来プラン」(以下、「プラン」という。)を令和7年3月に策定した。当該プランでは、計画全体の成果指標のほか、3つの基本目標ごとに進捗状況を管理・分析するために必要となる成果指標を設定している。本調査では、プランの進行管理に必要な数値の確認と、子ども・子育て世帯の状況や抱える問題点等を把握し、今後の子ども・子育て施策に活用するために実施した。

2 調査項目

- (1)子育てに関すること
- (2)子どもに関すること

3 調査方法

(1)調査対象

- ア 子育てに関する調査 : 市内在住の0歳～18歳の子どもを養育する方
- イ 子どもに関する調査 : 市内在住の小学校4年生～18歳までの方

(2)調査方法

公開調査(webアンケート調査)

(3)調査期間

- ア 子育てに関する調査 : 令和7年8月1日～令和7年9月30日
- イ 子どもに関する調査 : 令和7年9月1日～令和7年9月30日

4 回答数

(1)子育てに関する調査 : 10,829件

(2)子どもに関する調査 : 19,784件

(内訳)

ア 小学4年生～小学6年生 : 9,531件

イ 中学1年生～18歳 : 10,253件

5 調査結果について

(1) n とは質問に対する回答者数で、比率算出の基礎となる数を示す。

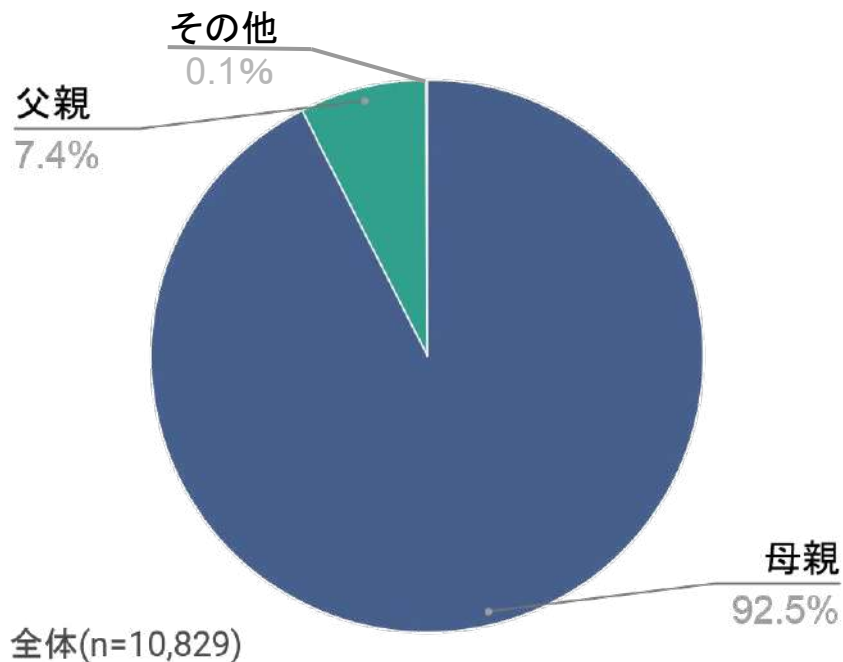
(2) 各回答の百分率は n を基礎として算出し、小数点第2位を四捨五入しているため、回答比率の計が100.0%にならない場合がある。

(3) 一部の設問では、任意の選択肢の和の割合を掲載している。その値は、実数の和を n で除して算出しているため、割合ごとの和と異なる場合がある。

調 査 結 果

【子育てに関するアンケート調査】

問1 調査票の回答者(子どもからみた関係)(単一回答)

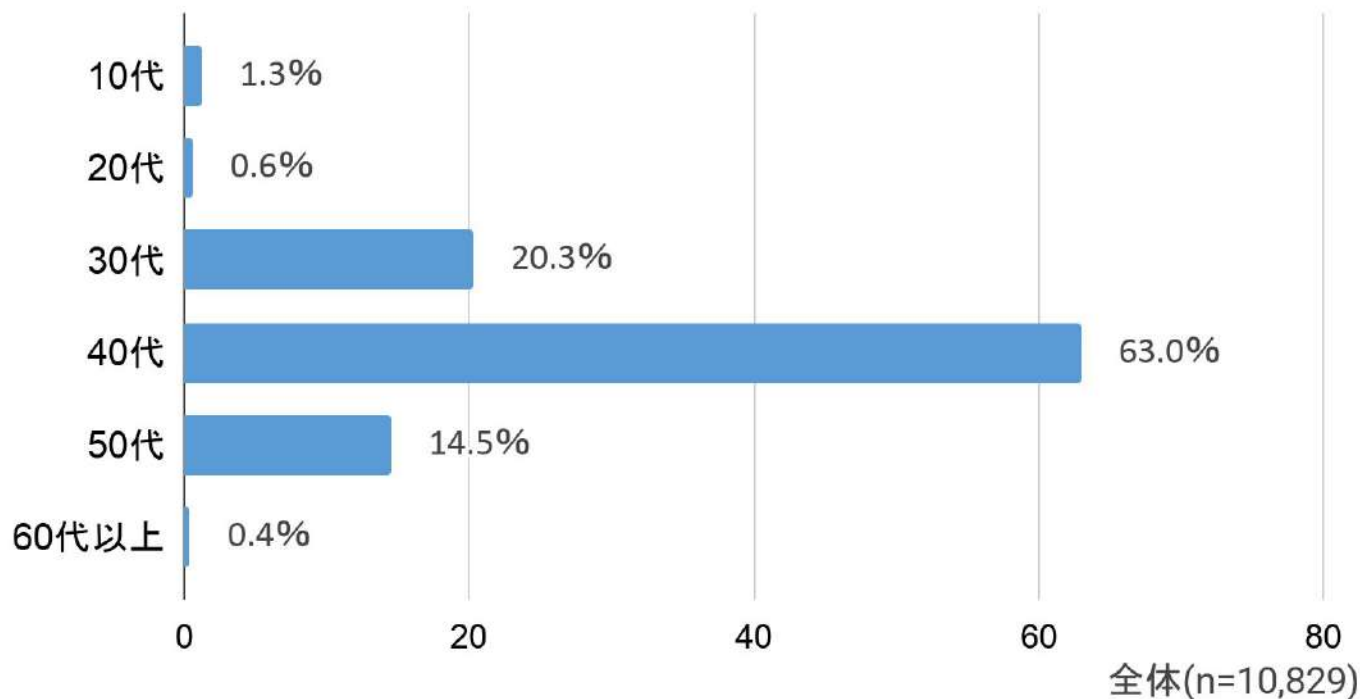


【その他の回答】

回答内容	回答数
祖母	10
里親	4
祖父	1

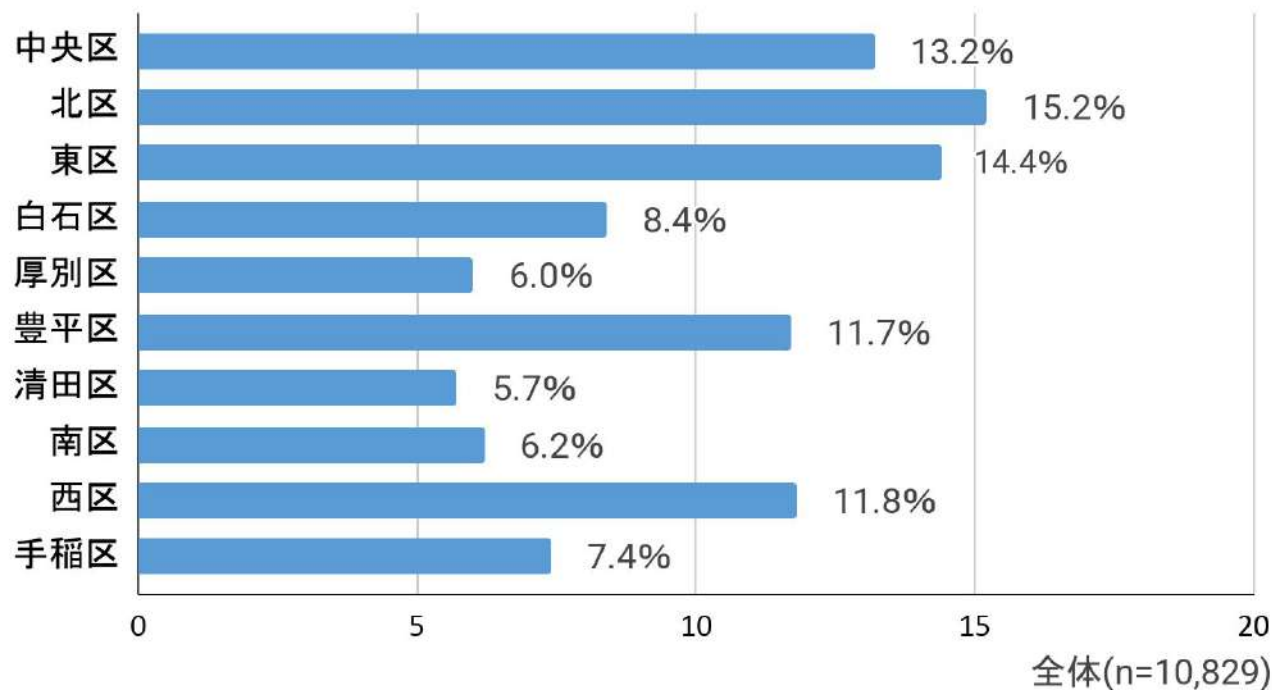
回答者の割合については、「母親」が92.5%と最も多く、次いで「父親」が7.4%となっている。

問2 回答者の年代(単一回答)



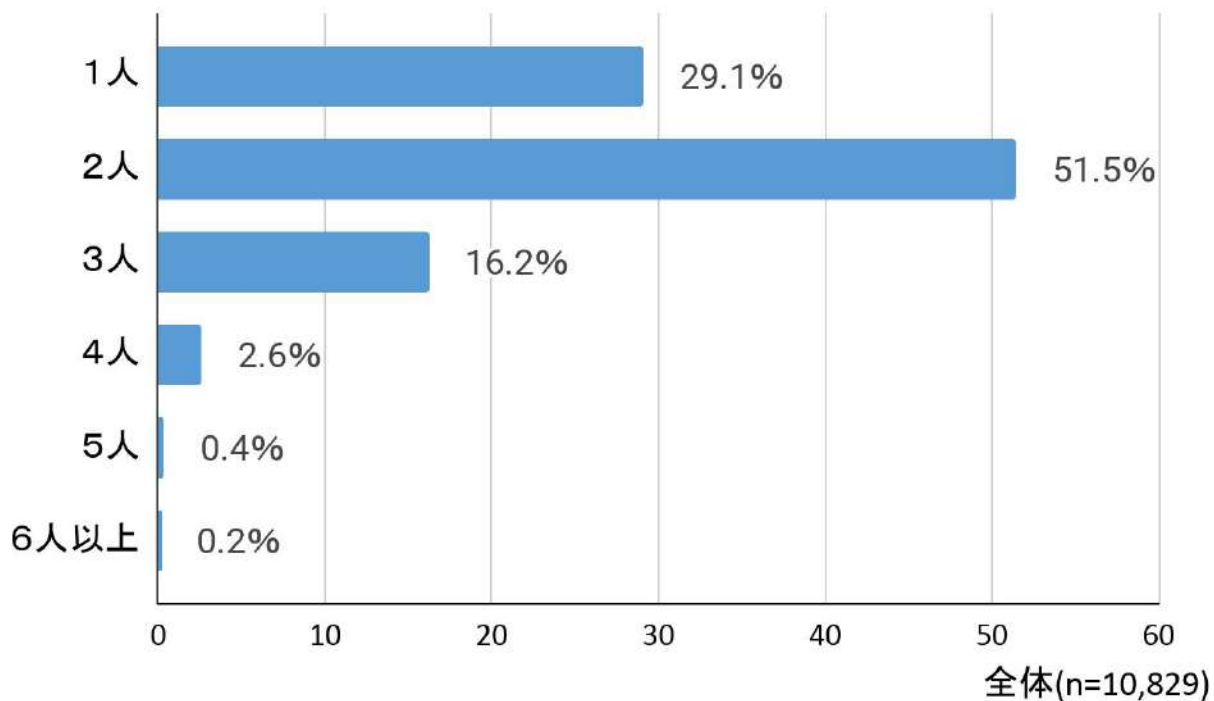
回答者の年代については、「40代」が63.0%と最も多く、次いで「30代」が20.3%、「50代」が14.5%となっている。

問3 回答者の居住区(単一回答)



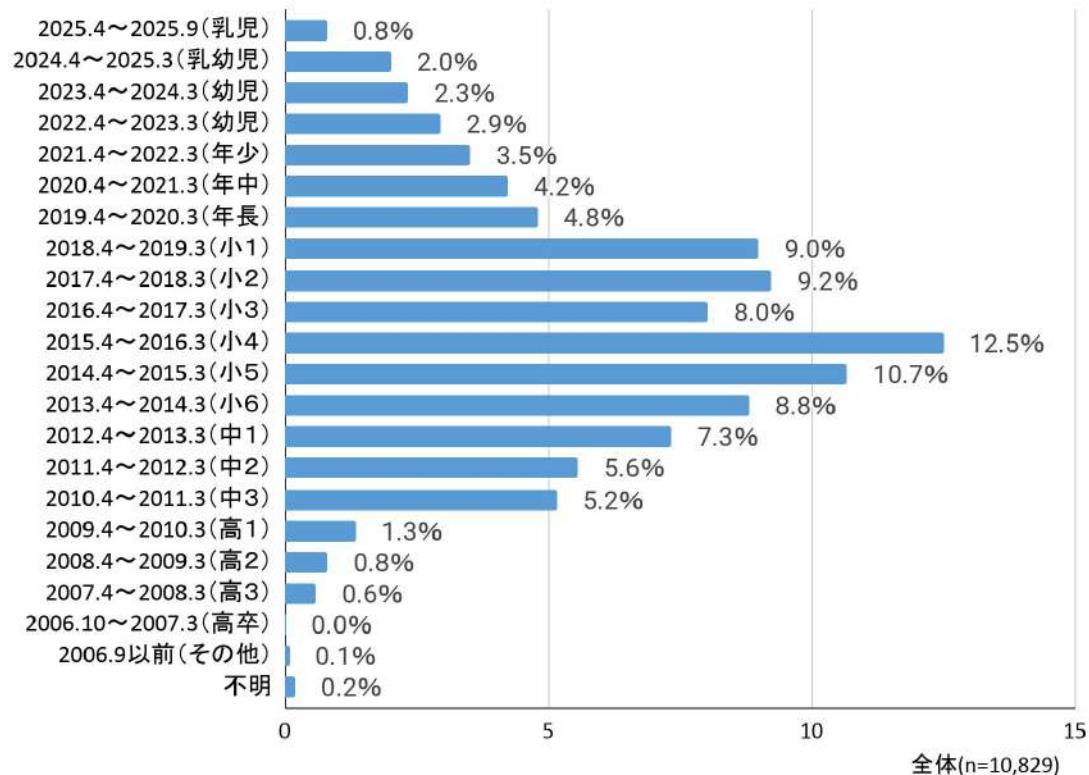
回答者世帯の居住区については、「北区」が15.2%と最も多く、次いで「東区」が14.4%、「中央区」が13.2%となっている。

問4 子どもの人数(単一回答)



子どもの人数については、「2人」が51.5%と最も多く、次いで「1人」が29.1%、「3人」が16.2%となっている。

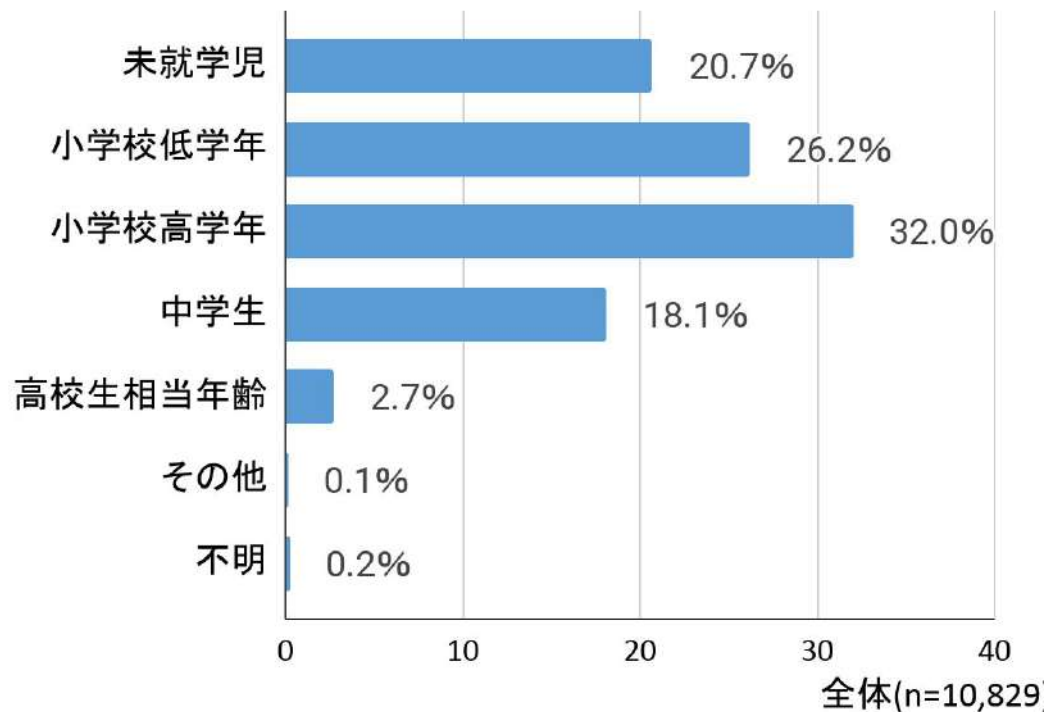
問5 子どもの生年月(数値記述回答)【一番下の子ども／1学年ごと】



※()内の学年等は
2025.4.1時点のもの

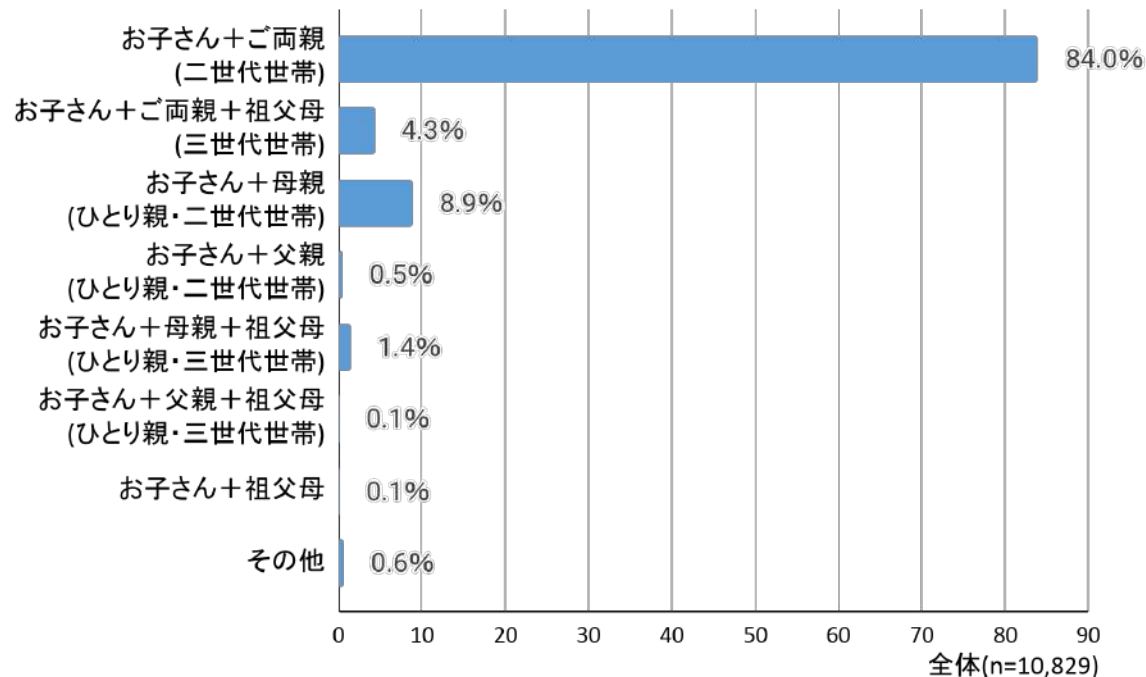
子どもの生年月については、「2015.4~2016.3(小4)」が12.5%と最も多く、次いで「2014.4~2015.3(小5)」が10.7%となっている。

問5 子どもの生年月(数値記述回答)【一番下の子ども／区分】



子どもの生年月について、区分別に見ると、「小学校高学年」が32.0%と最も多く、次いで「小学校低学年」が26.2%、「未就学児」が20.7%となっている。

問6 世帯構成(単一回答)

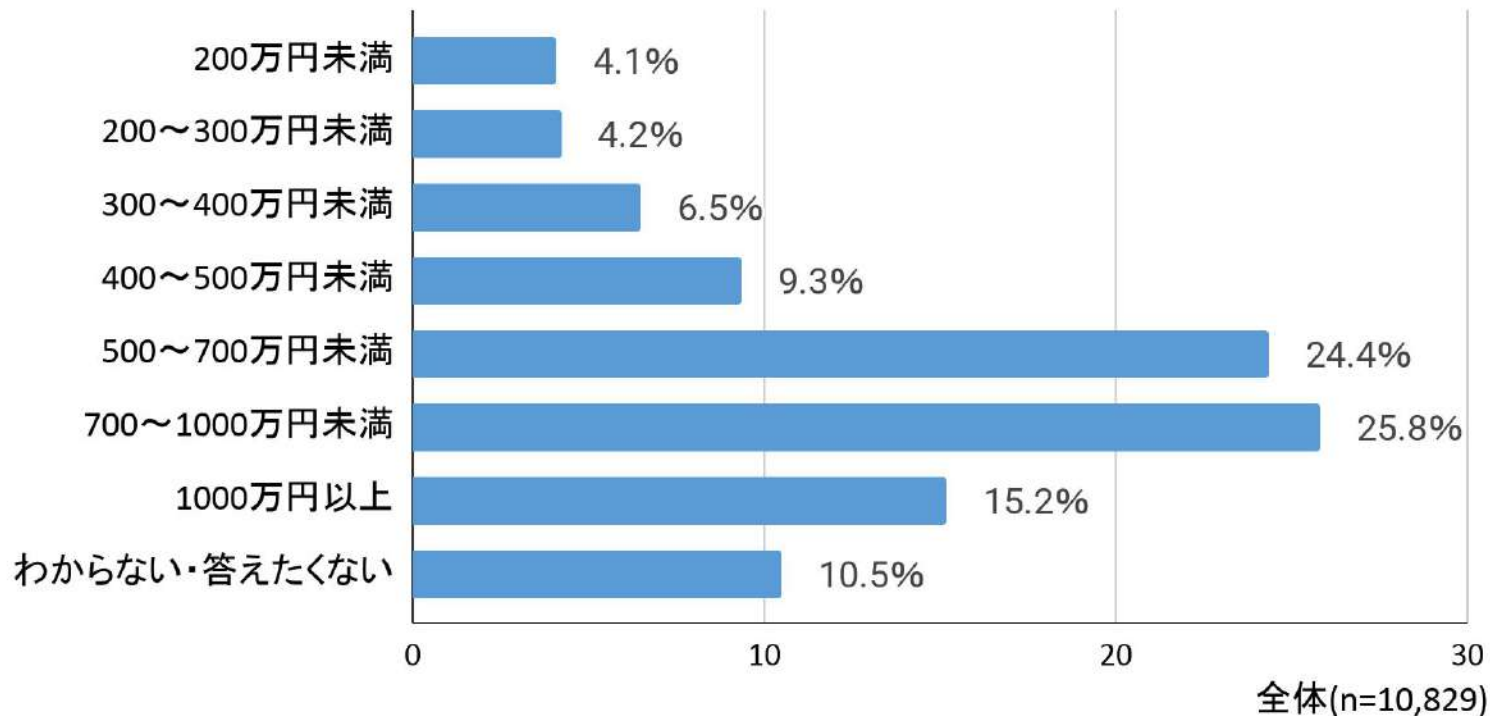


【その他の回答】

回答内容	回答数
単身赴任	28
お子さん+父母+祖父母+曾祖父母(四世代世帯)	8
別居	7
お子さん+両親+祖父母+叔父母	6
お子さん+両親+叔父母	4

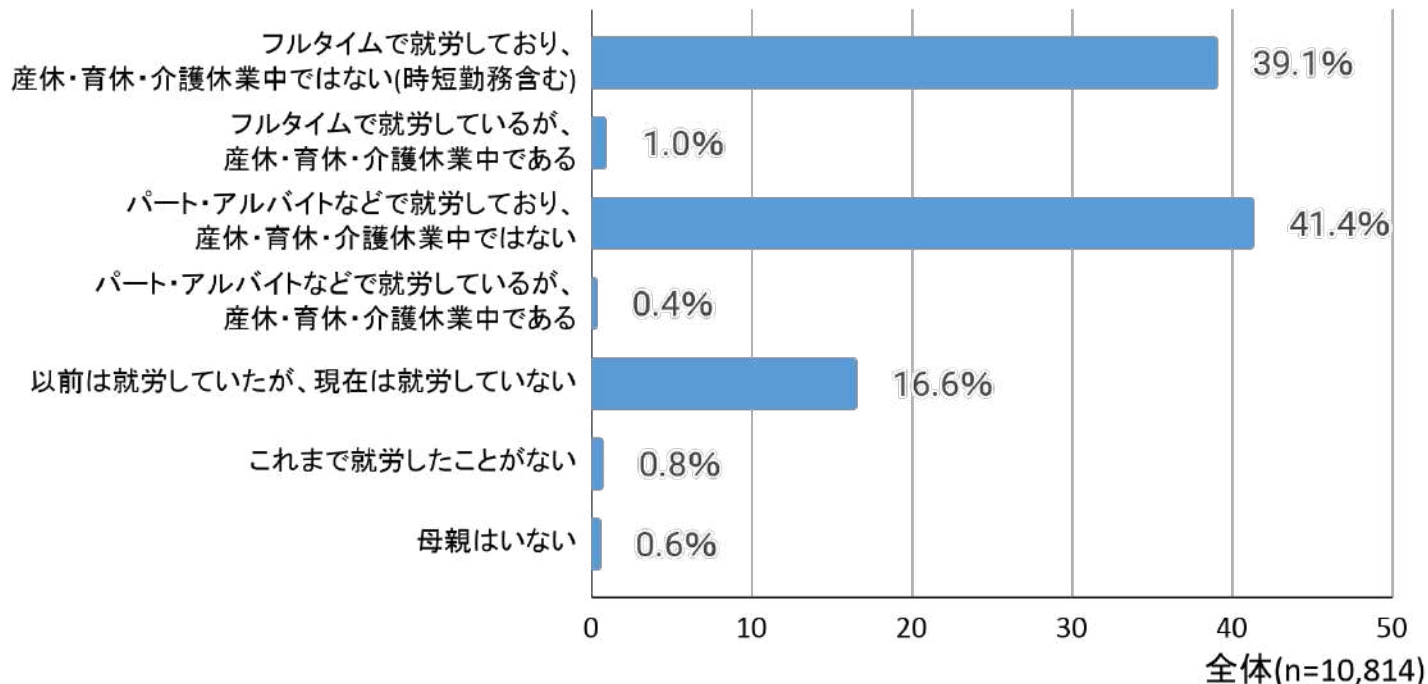
世帯構成については、「お子さん+ご両親(二世代世帯)」が84.0%と最も多く、次いで「お子さん+母親(ひとり親・二世代世帯)」が8.9%、「お子さん+ご両親+祖父母(三世代世帯)」が4.3%となっている。

問7 回答者世帯の年収(単一回答)



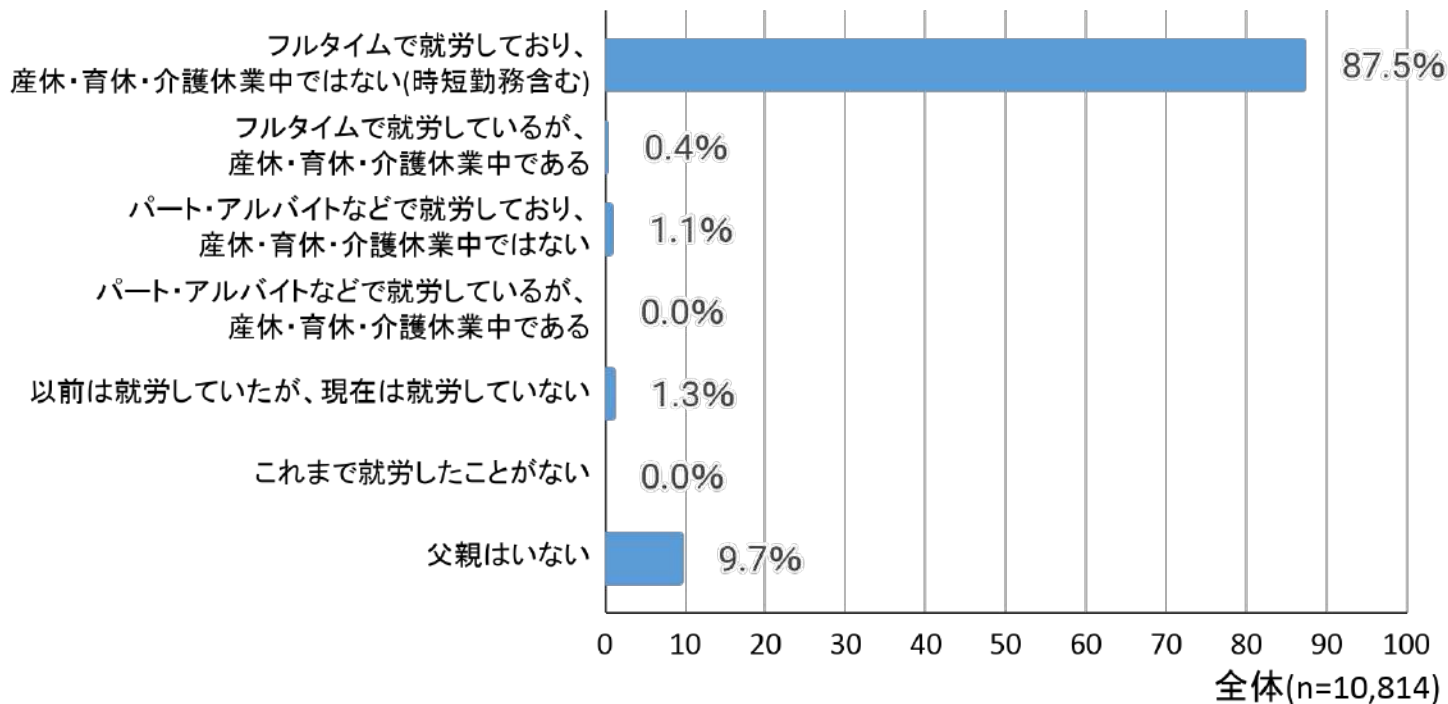
回答者世帯の年収については、「700～1000万円未満」が25.8%と最も多く、次いで「500～700万円未満」が24.4%、「1000万円以上」が15.2%となっている。

問8 就労状況(単一回答)【母親】



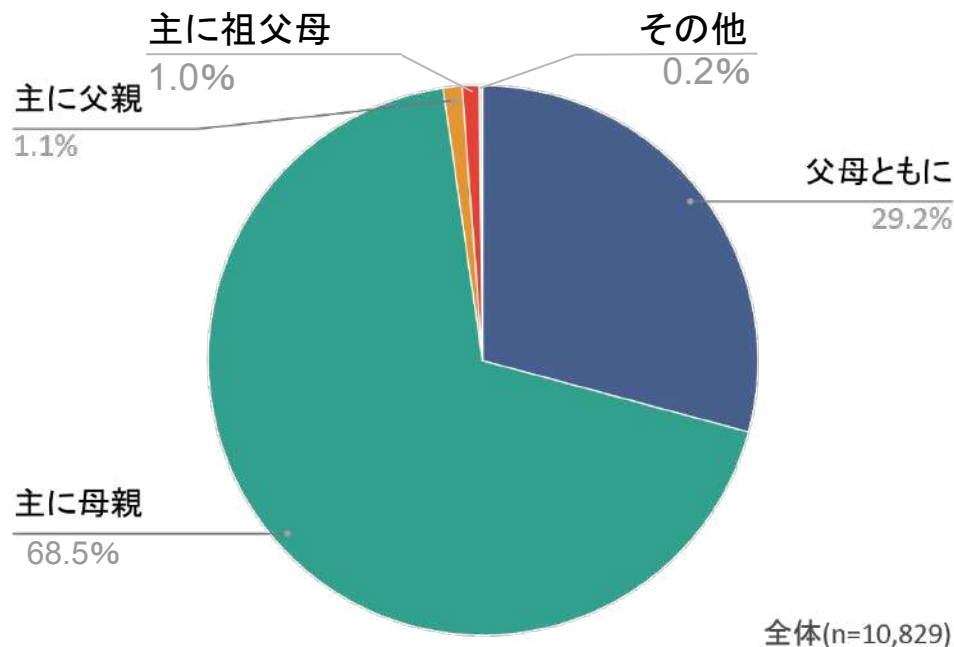
母親の就労状況については、「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が41.4%と最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が39.1%となっている。

問8 就労状況(単一回答)【父親】



父親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が87.5%と最も多くなっている。

問9 子どもの身の回りのお世話を主に行っている人 (子どもからみた関係)(単一回答)

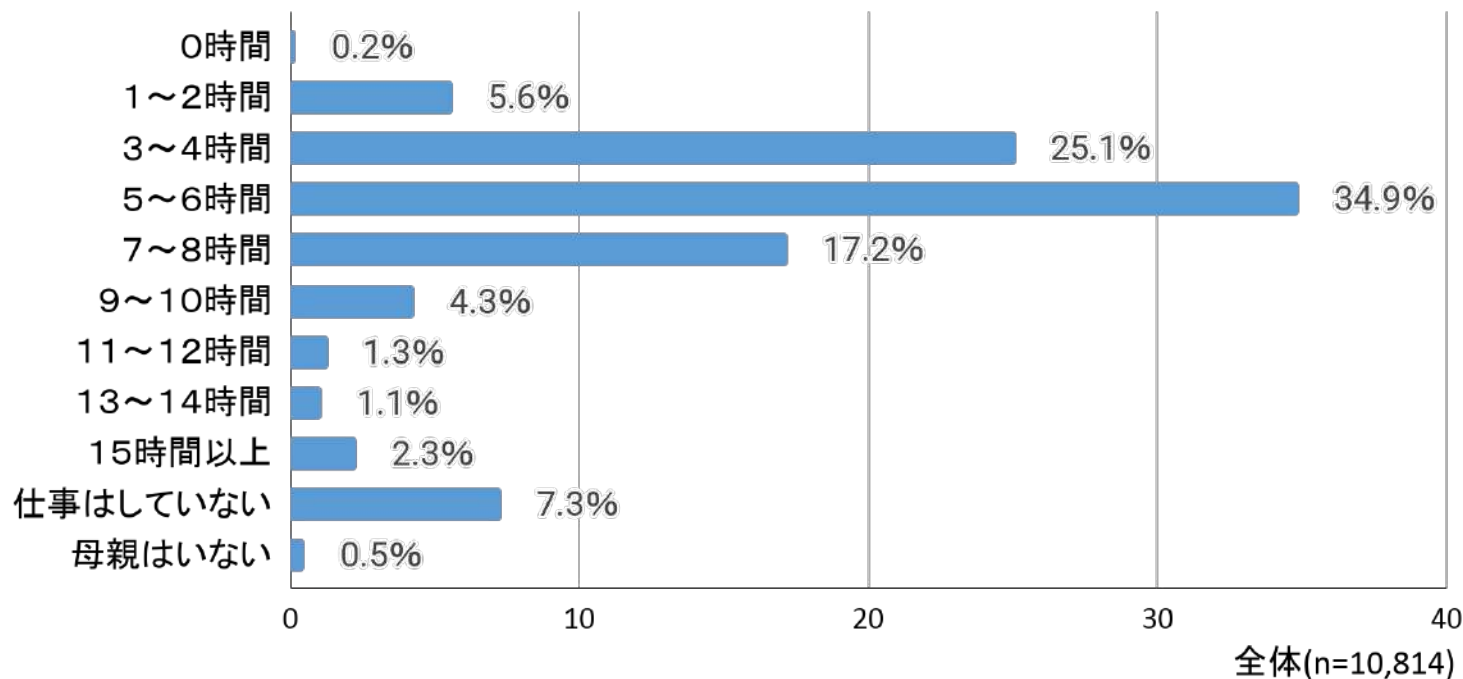


【その他の回答】

回答内容	回答数
母、父と祖父母など	8
いない	3
娘	2
里親	2
叔母	1
ヘルパー	1

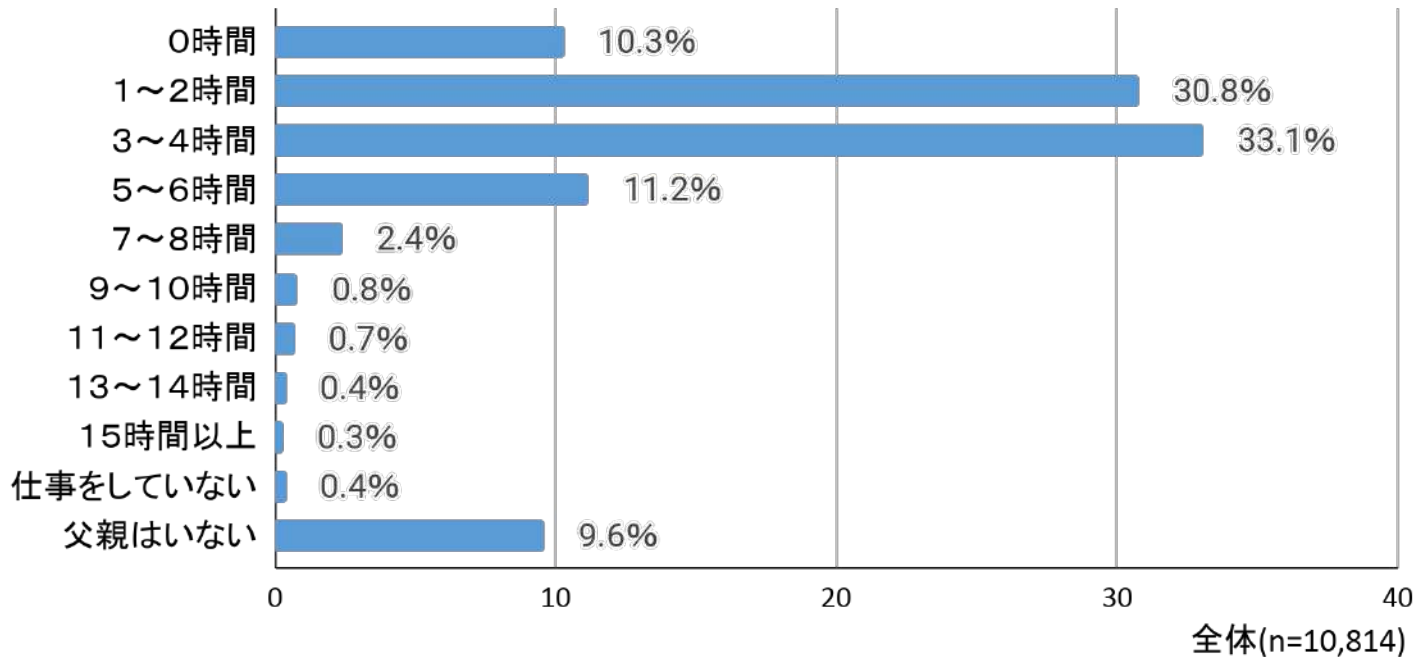
子どもの身の回りのお世話を主に行っている人については、「主に母親」が68.5%と最も多く、次いで「父母ともに」が29.2%となっている。

問10 平日、子どもが起きている間で子どもと一緒に過ごす時間 (単一回答)【母親】



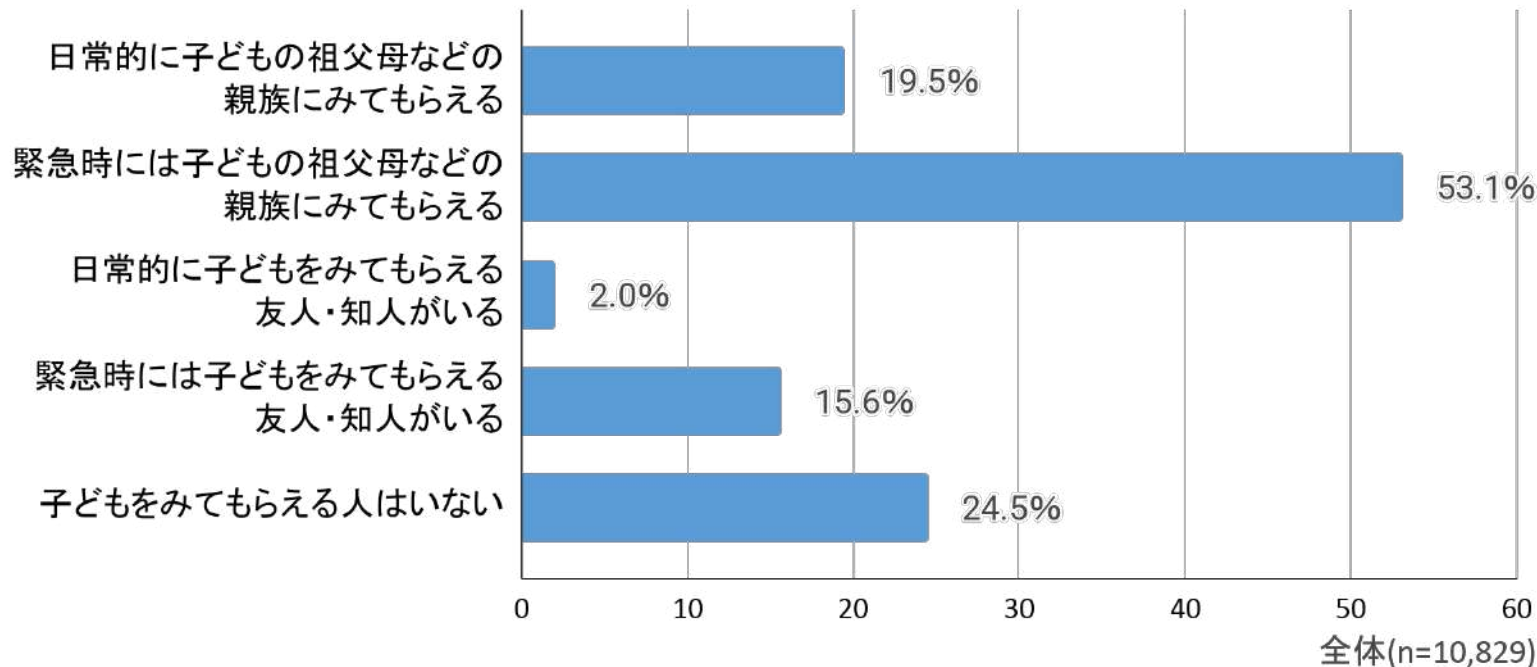
平日、母親が子どもが起きている間で子どもと一緒に過ごす時間については、「5~6時間」が34.9%と最も多く、次いで「3~4時間」が25.1%となっている。

問10 平日、子どもが起きている間で子どもと一緒に過ごす時間 (単一回答)【父親】



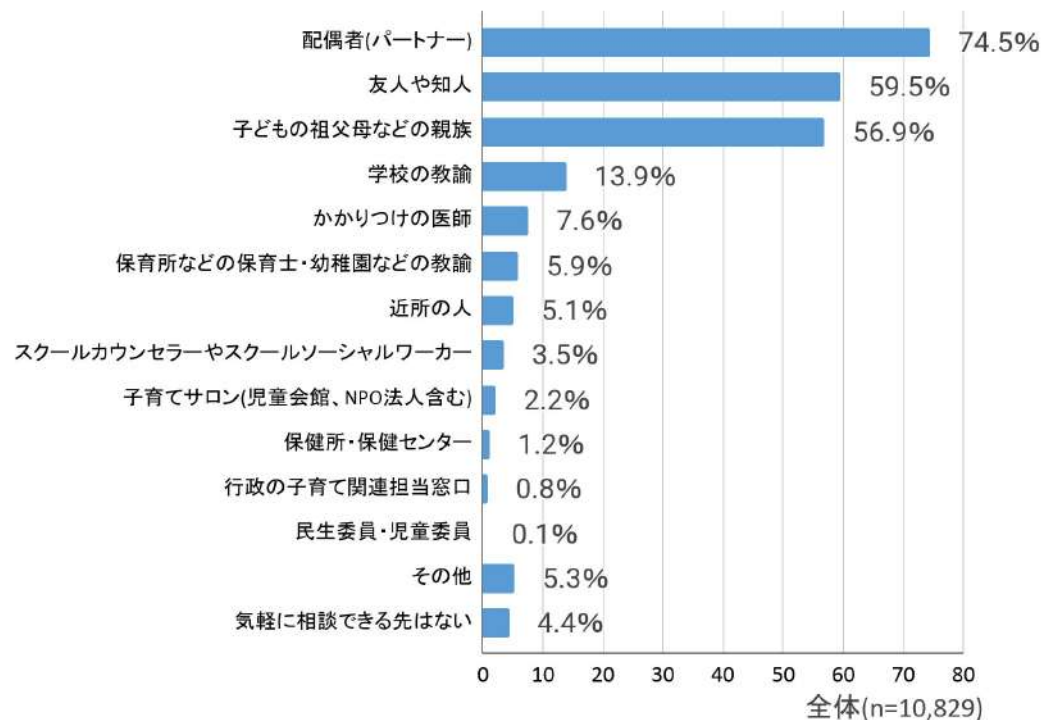
平日、父親が子どもが起きている間で子どもと一緒に過ごす時間については、「3～4時間」が33.1%と最も多く、次いで「1～2時間」が30.8%となっている。

問11 子どもをみてもらえる親族・知人(複数回答)



子どもをみてもらえる親族・知人については、「緊急時には子どもの祖父母などの親族にみてもらえる」が53.1%と最も多く、次いで「子どもをみてもらえる人はいない」が24.5%となっている。

問12 子育てをする上で、気軽に相談できる人や機関・場所(複数回答)

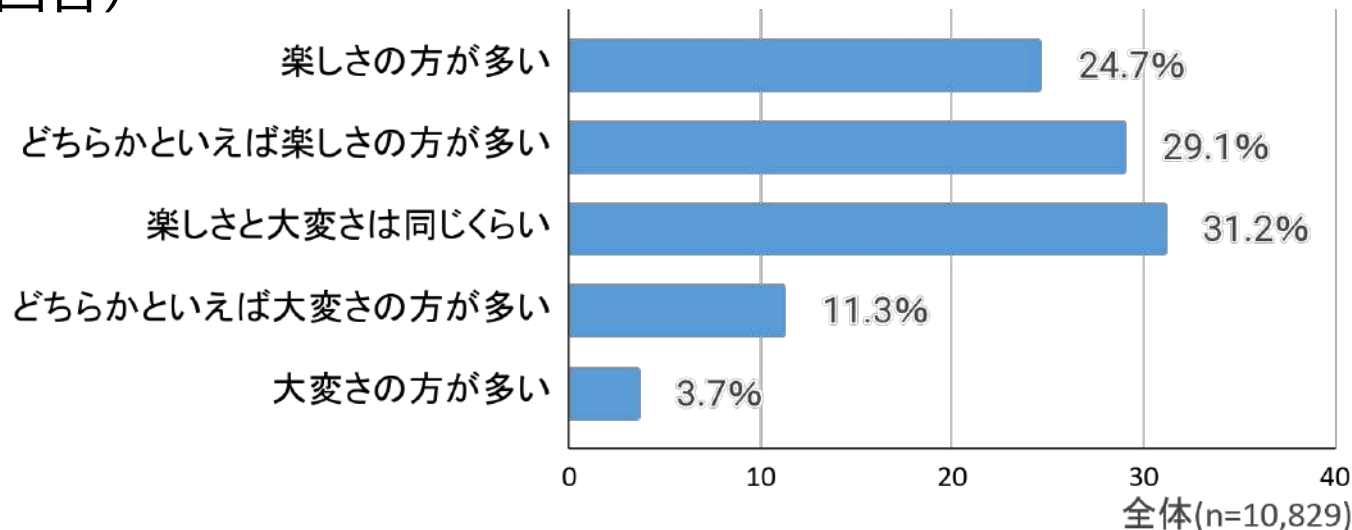


【その他の回答】

回答内容	回答数
行政・福祉サービス(子どもの療育機関含む)	262
職場	123
家族・親族	31
子どもの習い事	29
放課後児童支援員	26
医療関係	17
AI	16
SNS	16
インターネット	14
学校関係	8
ママ友等	6

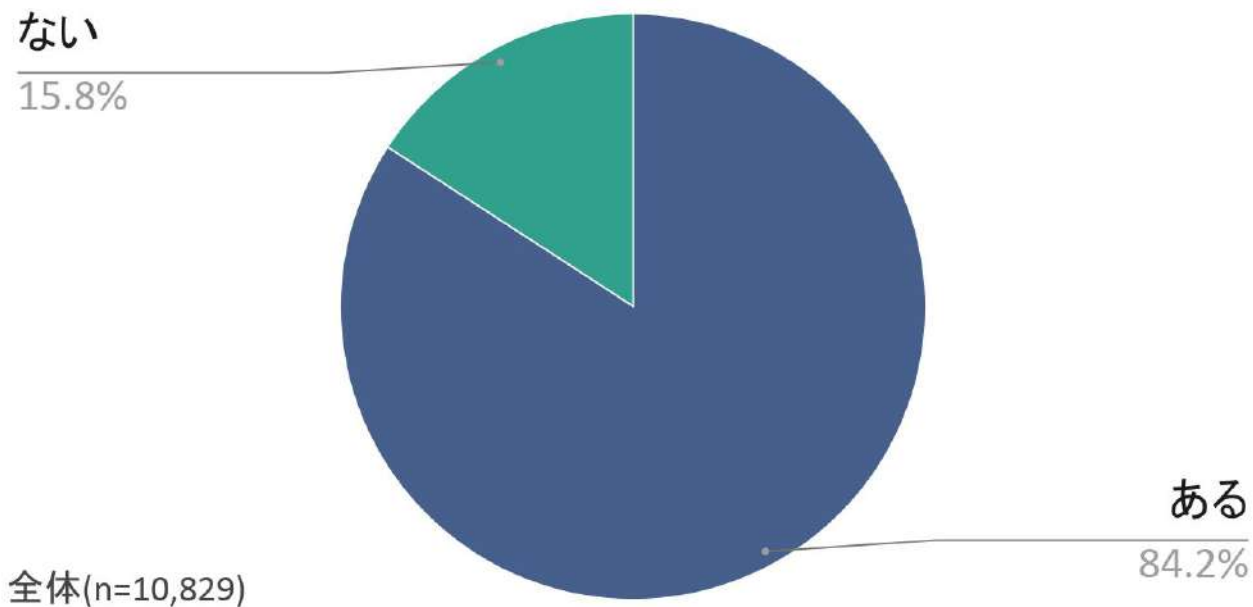
子育てをする上で、気軽に相談できる人や機関・場所については、「配偶者(パートナー)」が74.5%と最も多く、次いで「友人や知人」が59.5%となっている。

問13 子育てをしていて、楽しさと大変さのどちらを感じることが多いか (単一回答)



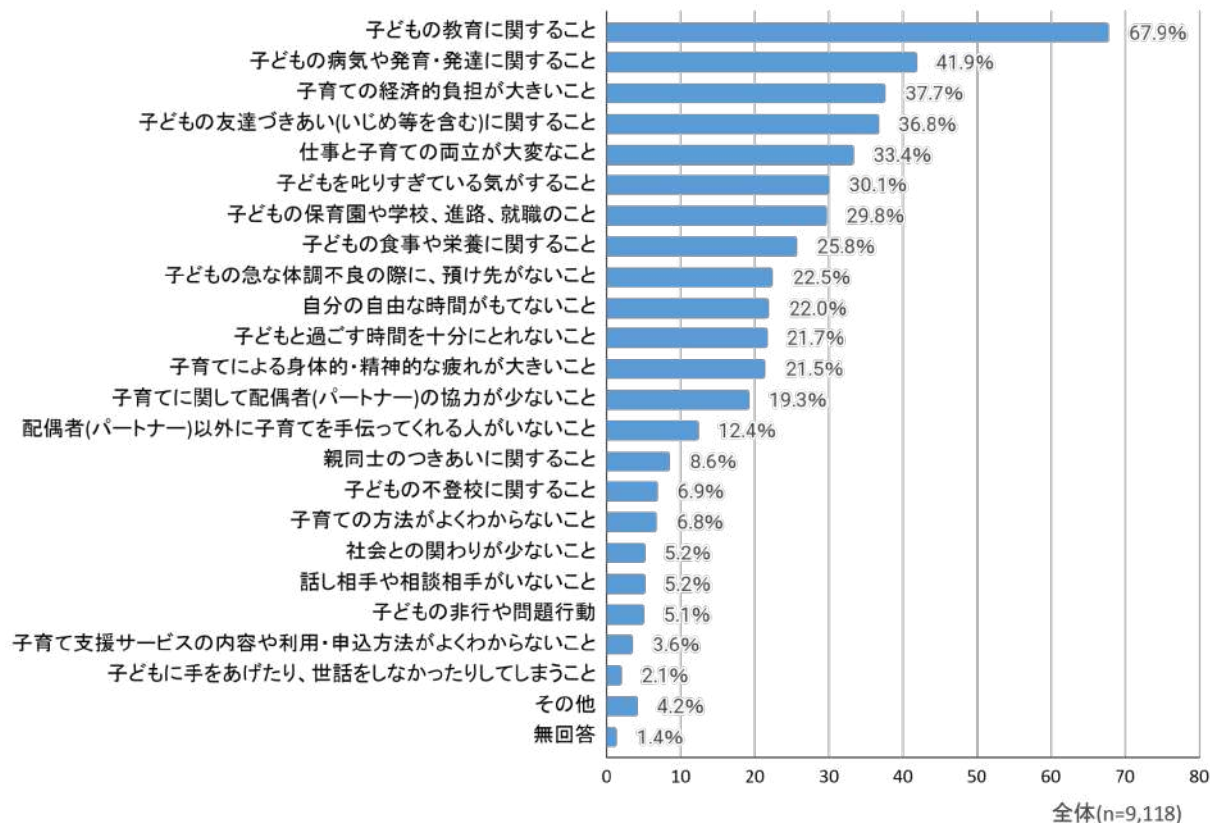
子育てをしていて、楽しさと大変さのどちらを感じるが多いかについては、「楽しさと大変さは同じくらい」が31.2%と最も多く、次いで「どちらかといえば楽しさの方が多い」が29.1%となっている。また、「楽しさの方が多い」「どちらかといえば楽しさの方が多い」の合計が53.8%、「大変さの方が多い」「どちらかといえば大変さの方が多い」の合計が15.0%となっている。

問14(1) 子育てをしていて感じる悩みの有無(単一回答)



子育てをしていて感じる悩みについては、「ある」が84.2%、「ない」が15.8%となっている。

問14(2)【悩みを感じている方限定】 子育てをしていて感じる悩みの内容(複数回答)

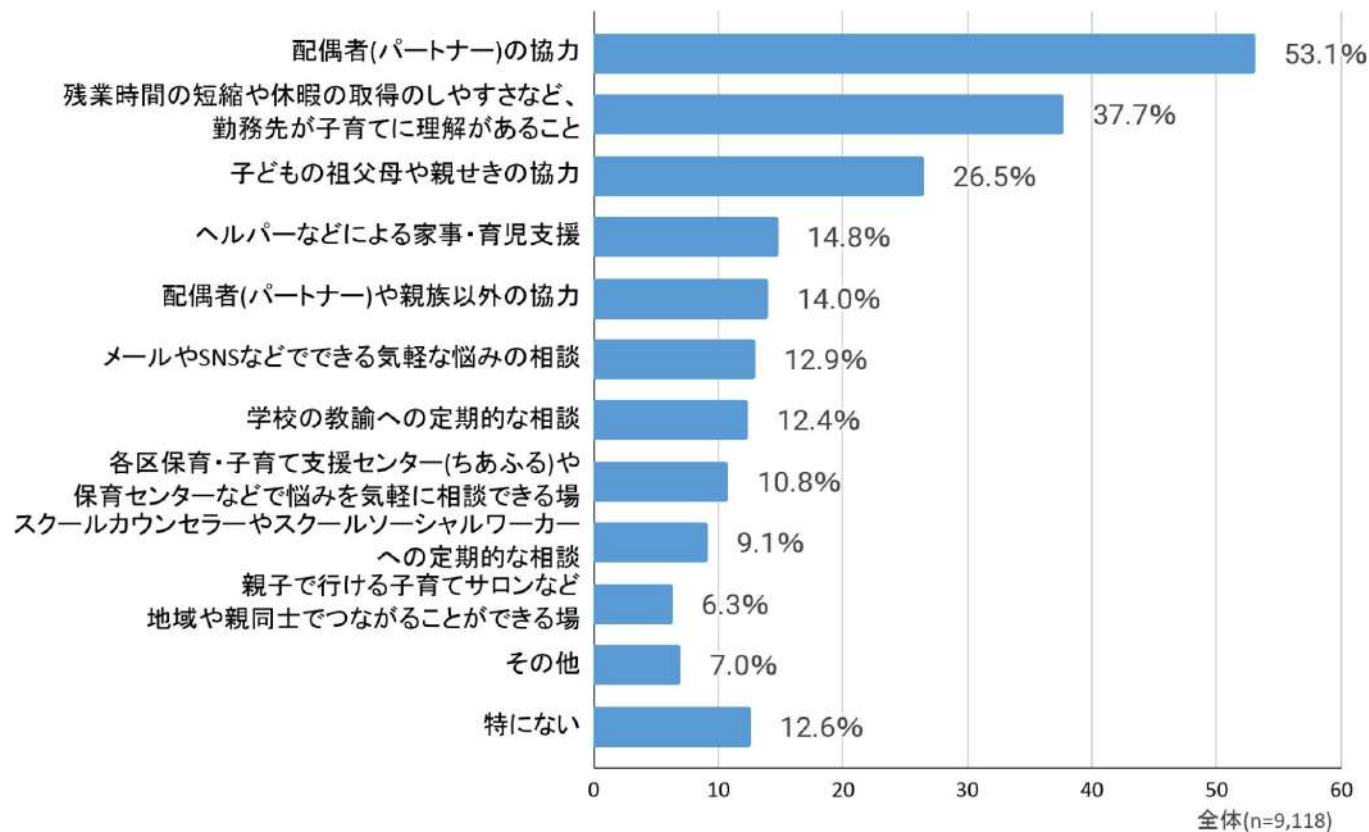


子育てをされていて感じる悩みの内容は、「子どもの教育に関すること」が67.9%と最も多く、次いで「子どもの病気や発育・発達に関すること」が41.9%、「子育ての経済的負担が大きいこと」が37.7%となっている。

【その他の回答】

回答内容	回答数	回答内容	回答数
子どもとの関わり方	81	家族関係	22
経済面・金銭面	60	子育てについての意見の不一致	17
回答者自身のこと	51	行政	16
電子機器端末の使い方	32	習い事	10
性格・習慣	23		

問14(3)【悩みを感じている方限定】 悩みを軽減するために必要なサポート(複数回答)

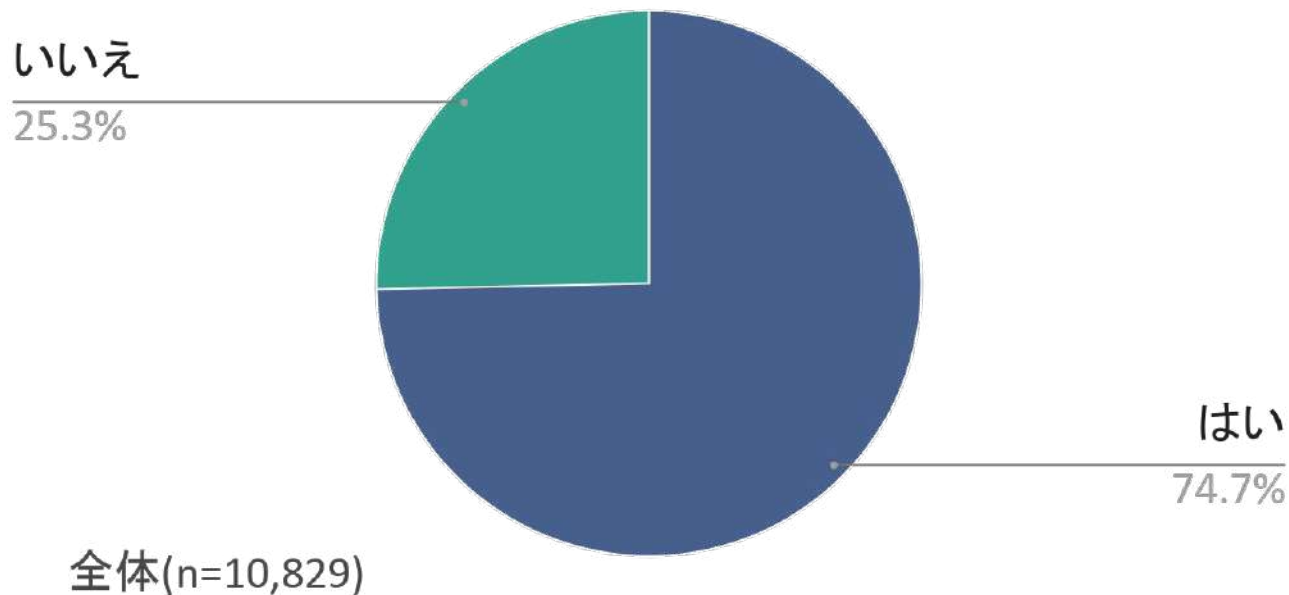


悩みを軽減するためにあればよいと思うサポートについては、「配偶者(パートナー)の協力」が53.1%と最も多く、次いで「残業時間の短縮や休暇の取得のしやすさなど、勤務先が子育てに理解があること」が37.7%、「子どもの祖父母や親せきの協力」が26.5%となっている。

【その他の回答】

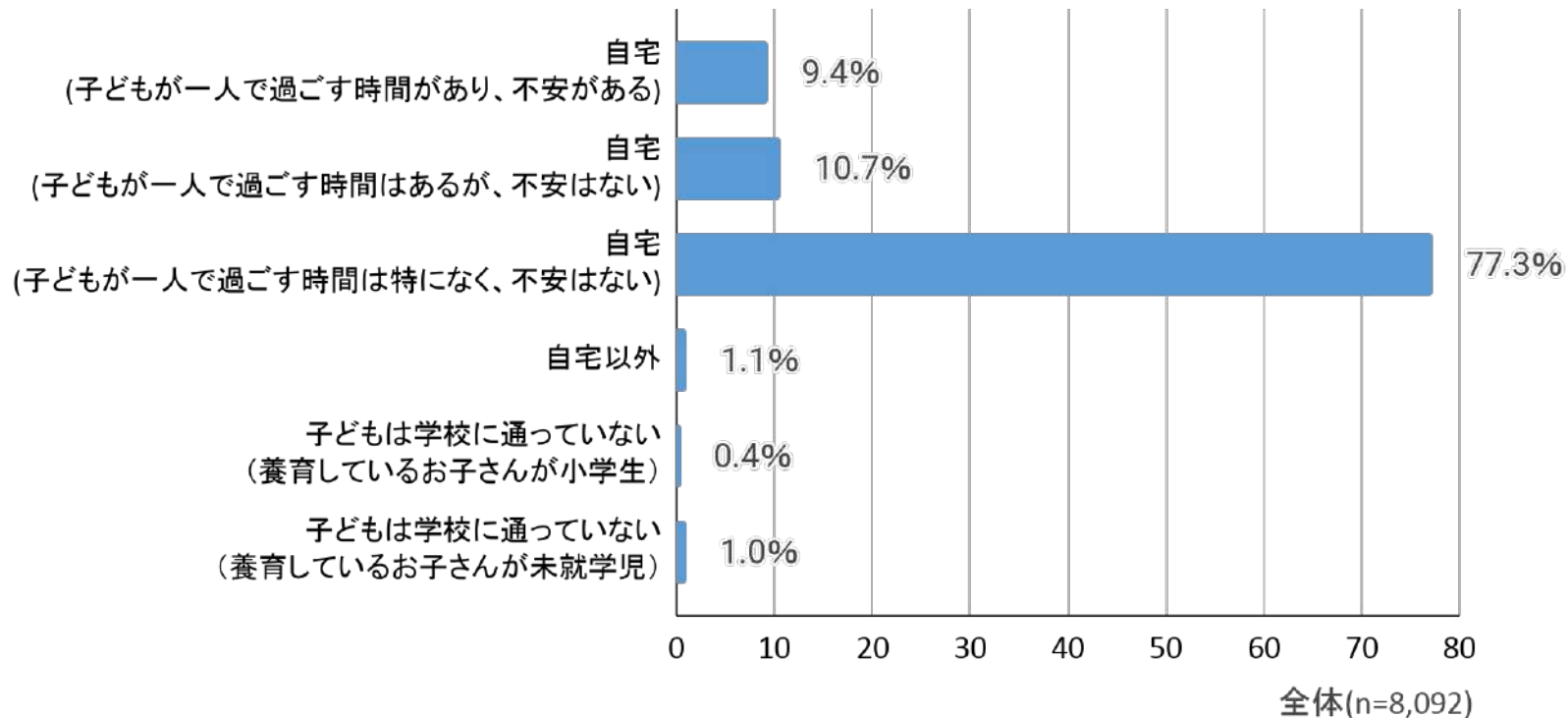
回答内容	回答数(人)	回答内容	回答数
金銭面	216	行政	21
相談機関	68	啓蒙	14
施設の拡充	47	医療	13
学校・学習面	43	不登校	8
職場環境	39	送迎	7
預け先	34	地域	6
人とのつながり	24		

問15(1) 年長～小学6年生のお子さんを養育しているか(単一回答)



生年月日が平成25年4月2日～令和2年4月1日(年長～小学6年生)のお子さんを養育しているかについては、「はい」が74.7%、「いいえ」が25.3%となっている。

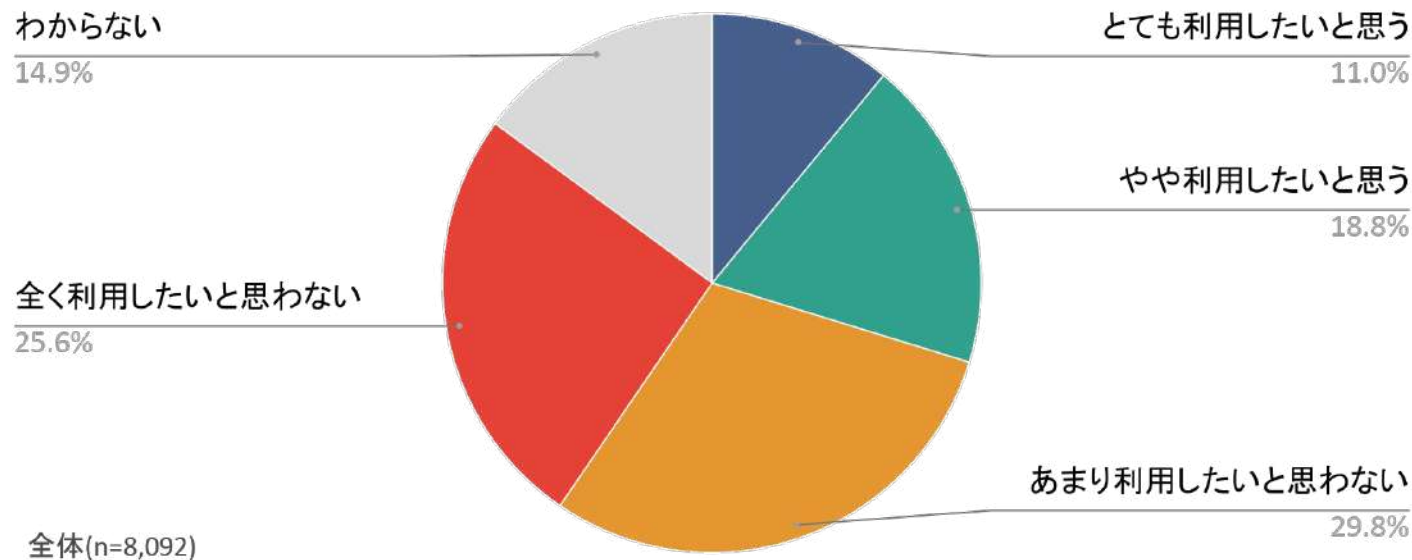
問15(2)【年長～小学6年生を養育している方限定】 学校がある日の朝のお子さんの主な居場所(単一回答)



学校がある日の朝のお子さんの主な居場所については、「自宅」と回答した合計が97.4%となっている。

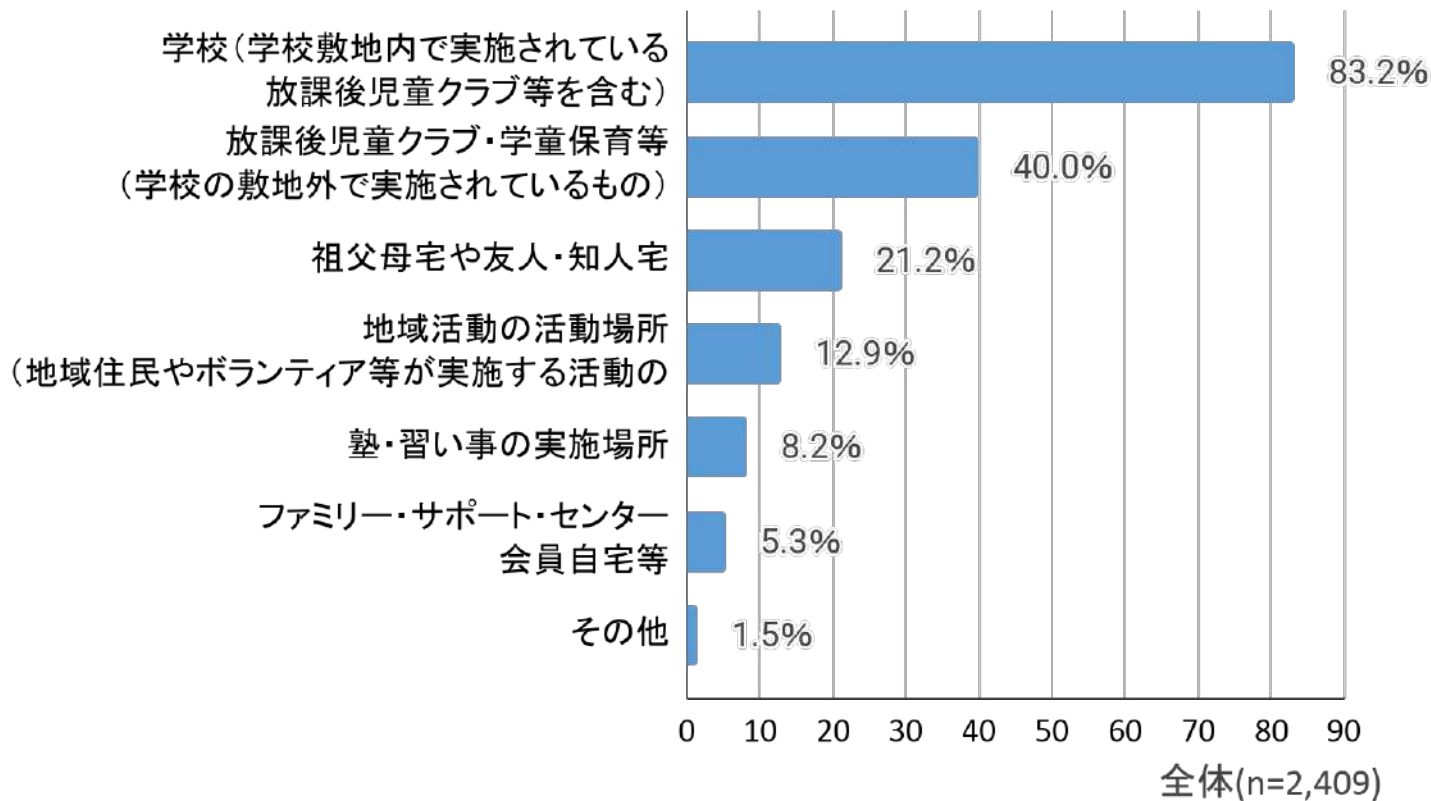
その内訳をみると、「子どもが一人で過ごす時間は特になく、不安はない」が77.3%、次いで「子どもが一人で過ごす時間はあるが、不安はない」が10.7%となっており、これら「不安はない」の合計が88.0%、「子どもが一人で過ごす時間があり、不安がある」が9.4%となっている。

問15(3)【年長～小学6年生を養育している方限定】 学校がある日の朝、
お子さんが自宅以外で過ごす場所があれば利用したいか(単一回答)



学校がある日の朝、お子さんが自宅以外で過ごす場所があれば利用したいかについては、「とても利用したいと思う」「やや利用したいと思う」の合計が29.8%、「あまり利用したいと思わない」「全く利用したいと思わない」の合計が55.4%となっている。

問15(4)【学校始業前にお子さんが過ごす場所があれば利用したいと思う方限定】
利用させたい場所(複数回答)



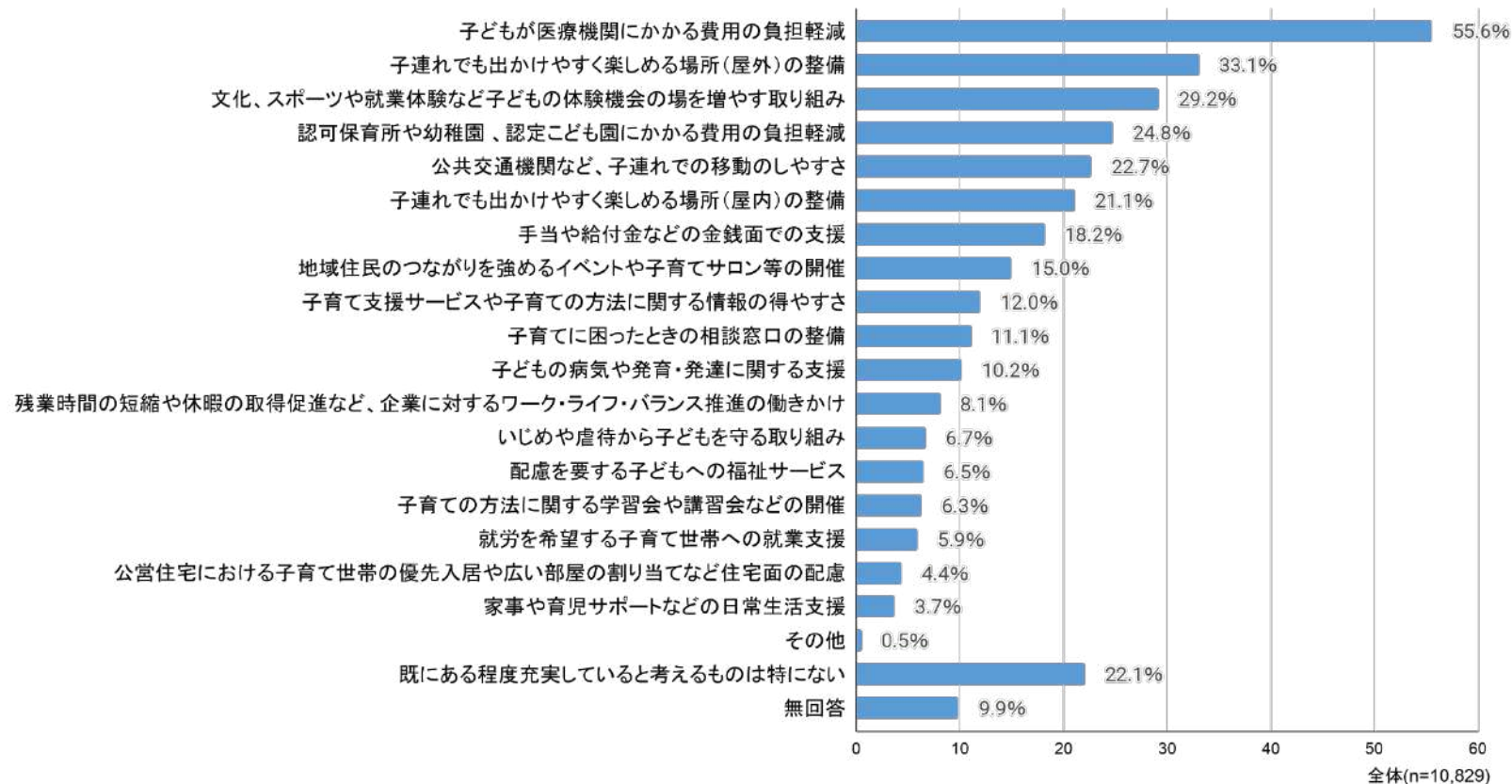
学校始業前にお子さんが過ごす場所があれば利用したいと思う方が、利用させたいと思う場所については、「学校(学校敷地内で実施されている放課後児童クラブ等を含む)」が83.2%と最も多く、次いで「放課後児童クラブ・学童保育等(学校の敷地外で実施されているもの)」が40.0%となっている。

【その他の回答】

回答内容	回答数
なし	10
デイサービス	6
どこでも	3
発達障がい児対応可能	2
行政機関	1
フリースクール	1
職場環境を変化	1

問16 札幌市の子育て支援策・子育て環境について(複数回答)

(1) 既に充実していると考えているもの



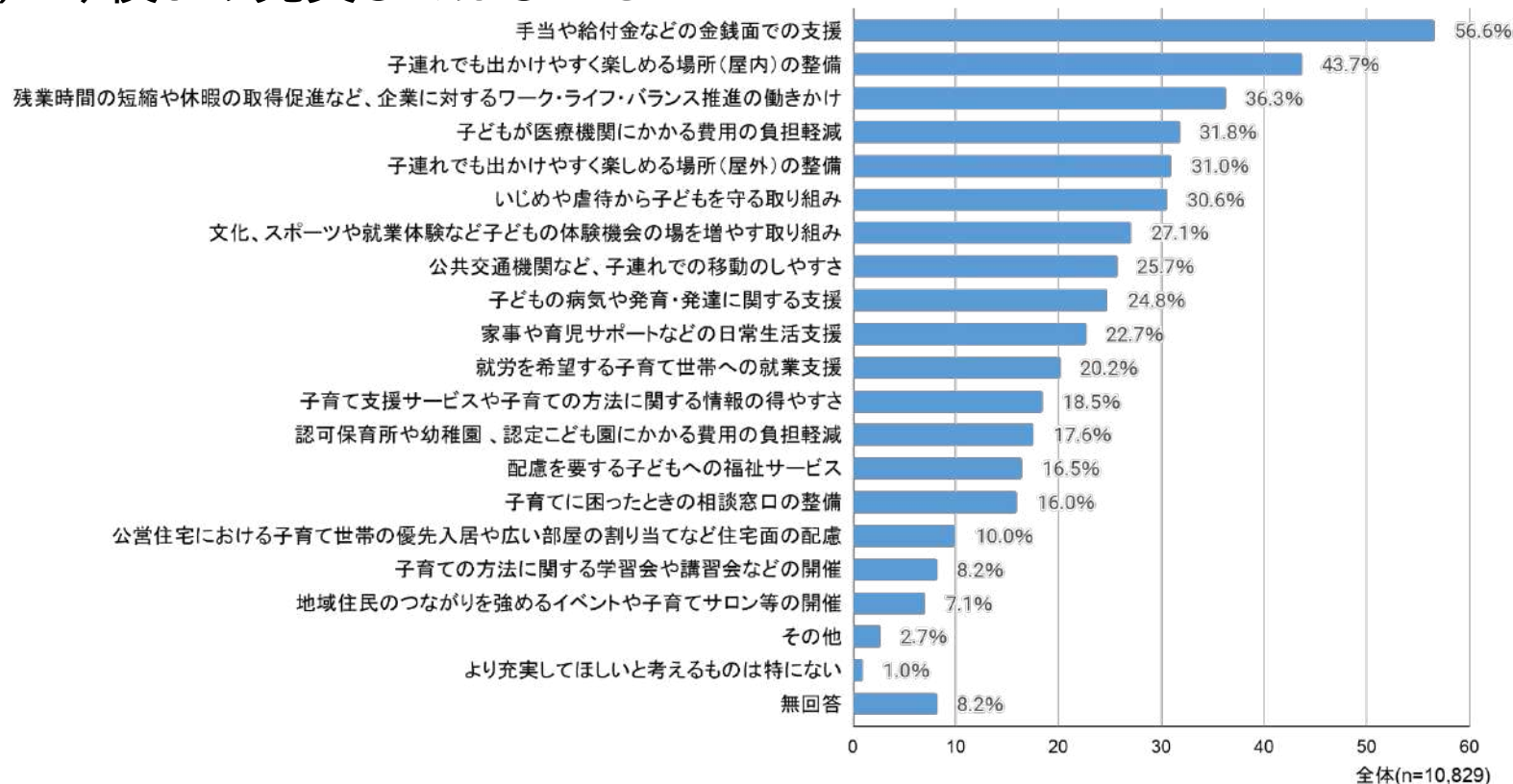
札幌市の子育て支援策・子育て環境について、既に充実していると考えているものについては、「子どもが医療機関にかかる費用の負担軽減」が55.6%と最も多く、次いで「子連れでも出かけやすく楽しめる場所(屋外)の整備」が33.1%となっている。

【その他の回答】

回答内容	回答数(人)
わからない	21
学童・児童会館など	5
施設	4
制度	3
地域	2
思わない	2

問16 札幌市の子育て支援策・子育て環境について(複数回答)

(2) 今後より充実してほしいもの

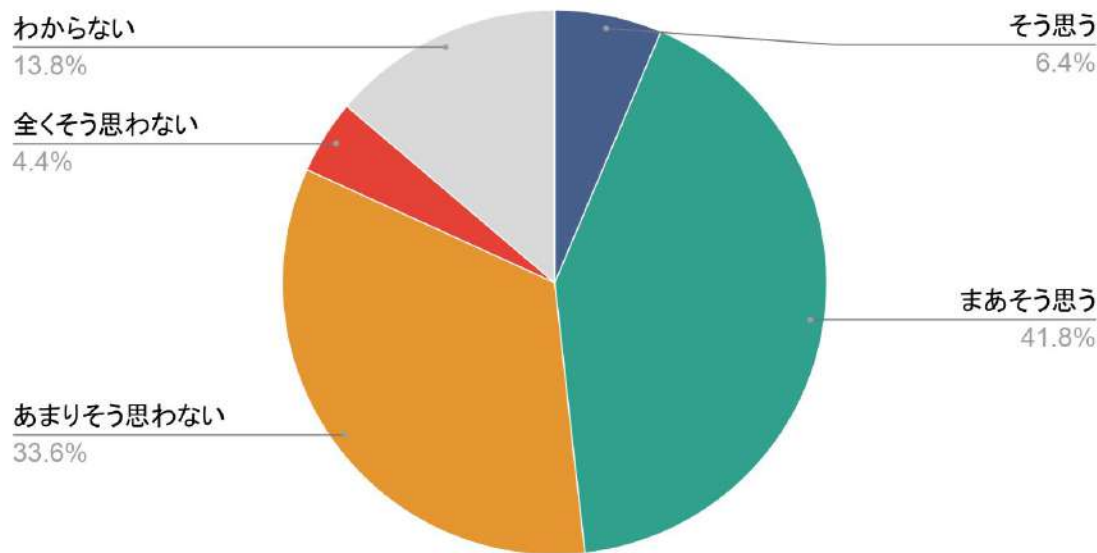


札幌市の子育て支援策・子育て環境について、今後より充実してほしいものについては、「手当や給付金などの金銭面での支援」が56.6%と最も多く、次いで「子連れでも出かけやすく楽しめる場所(屋内)の整備」が43.7%となっている。

【その他の回答】

回答内容	回答数	回答内容	回答数	回答内容	回答数
施設	52	相談機関	16	防犯対策	6
教育・医療費	49	学校設備拡充	16	イベント	5
教育	31	子育て支援	13	虐待対策	2
所得制限撤廃	28	制度の推進	12	サービスの質の向上	2
経済的支援	25	親へのサポート	10		
不登校	25	啓蒙活動	9		

問17(1) あなたは、札幌市は、子どもが大切にされているまちだと思うか(単一回答)



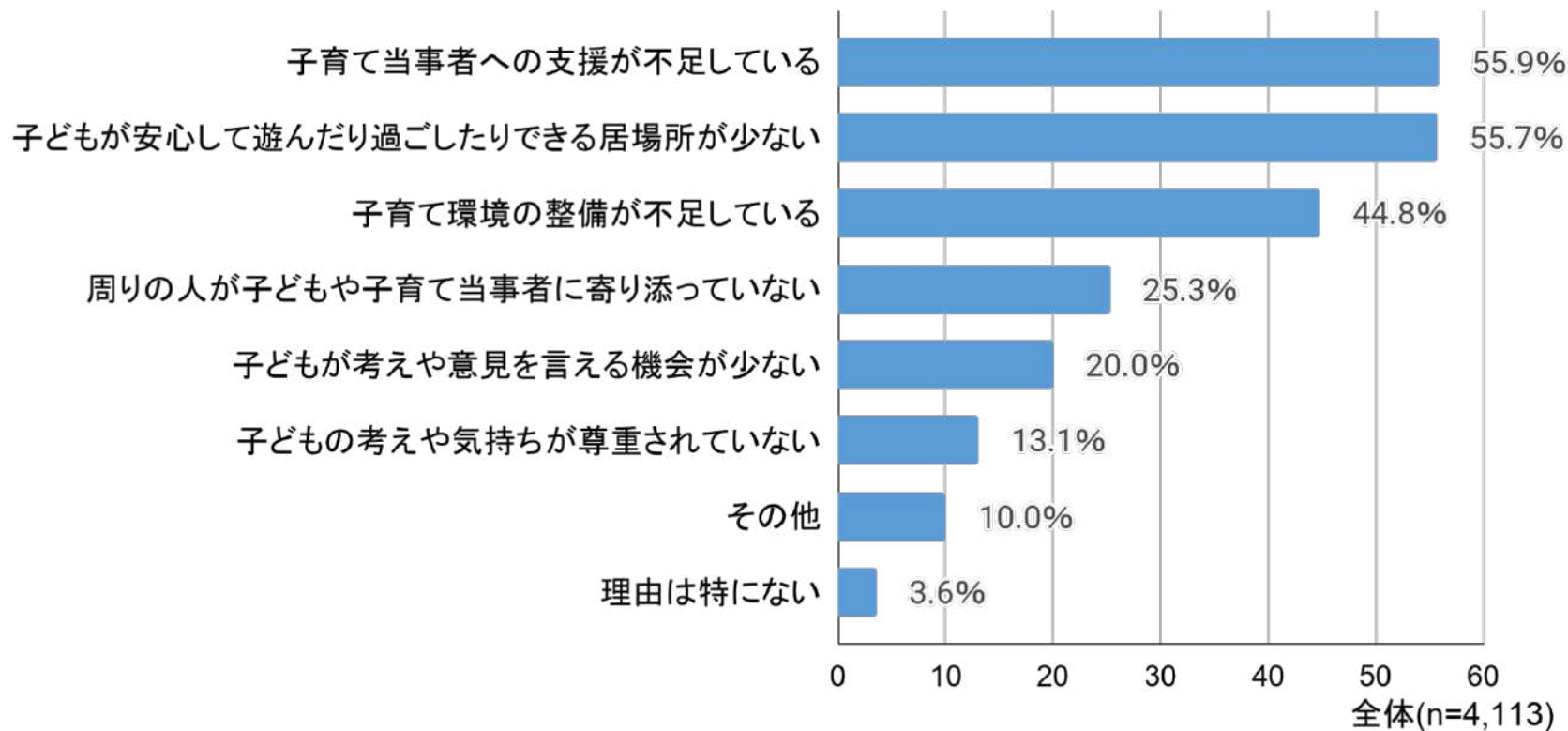
札幌市は子どもが大切にされているまちだと思うかについて、「まあそう思う」が41.8%と最も多く、次いで「あまりそう思わない」が33.6%となっている。また、「そう思う」「まあそう思う」の合計は48.2%、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の合計は38.0%となっている。

問17(2) 【札幌市は子どもが大切にされているまちだと思う方限定】 子どもが大切にされているまちだと思う理由(自由記述回答)

延べ591件の意見があり、主な意見の種類と件数は以下のとおり。

回答内容	回答数	回答内容	回答数
子どもの医療費助成がある	158	行政の取組	24
子育て支援や子育て環境が充実	99	経済支援	18
子ども向けのイベントが多い	75	児童会館が整備されている	18
各施設が充実している	61	子育てに関する情報が得やすい	12
地域の人々が子ども・子育てに理解がある	47	相談窓口が充実している	10
教育環境が充実している	34		

問17(3) 【札幌市は子どもが大切にされているまちだと思わない方限定】 大切にされていると思わない理由(複数回答)

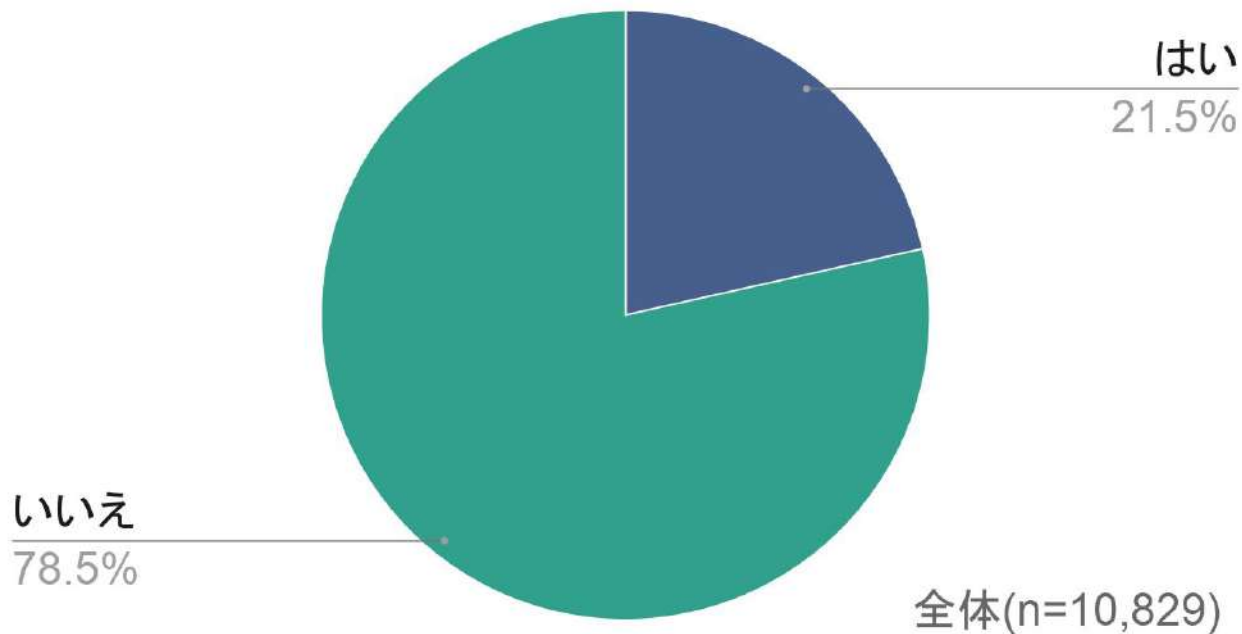


札幌市は子どもが大切にされているまちだと思わない理由について、「子育て当事者への支援が不足している」が55.9%と最も多く、次いで「子どもが安心して遊んだり過ごしたりできる居場所が少ない」が55.7%、「子育て環境の整備が不足している」が44.8%となっている。

【その他の回答】

回答内容	回答数	回答内容	回答数
教育環境の整備が不十分	153	不登校への支援不足	14
各制度に所得制限があるから	103	高齢者優遇	11
経済的支援の不足	21	相談機関の不足	8
医療体制の整備不足	20	情報発信	8
治安への不安	18		

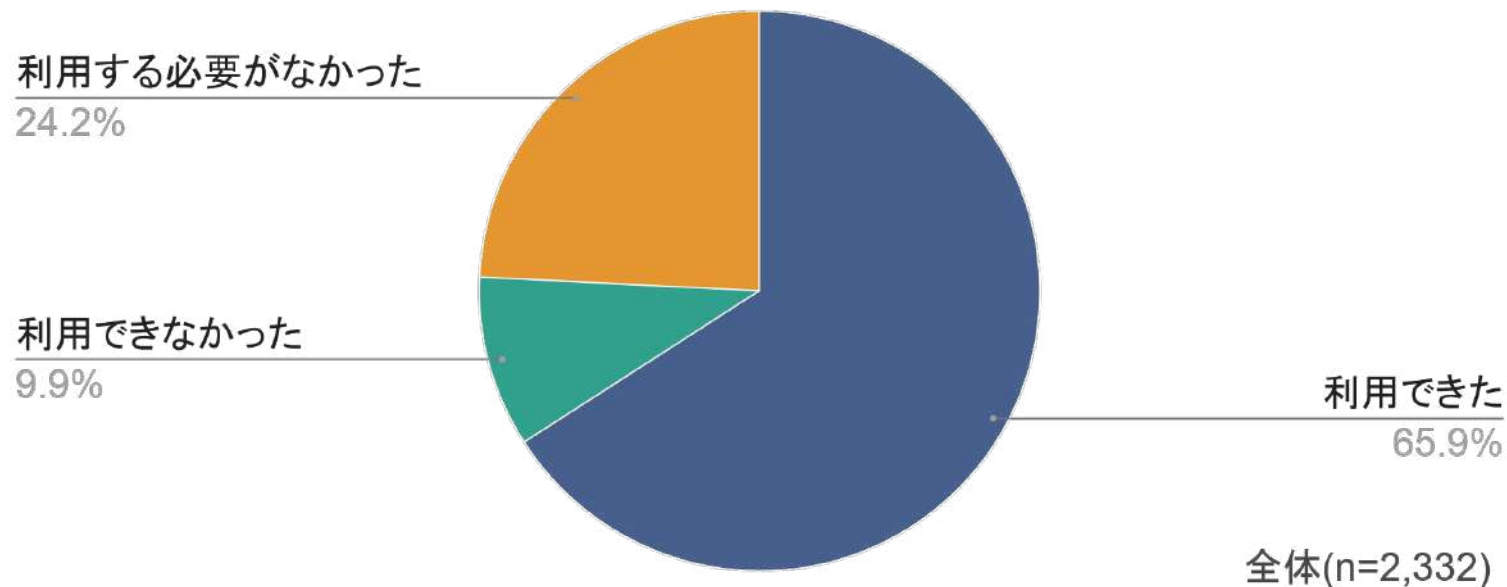
問18(1) 未就学の子どもを養育しているか(単一回答)



未就学の子どもを養育しているかについて、「はい」が21.5%、「いいえ」が78.5%となっている。

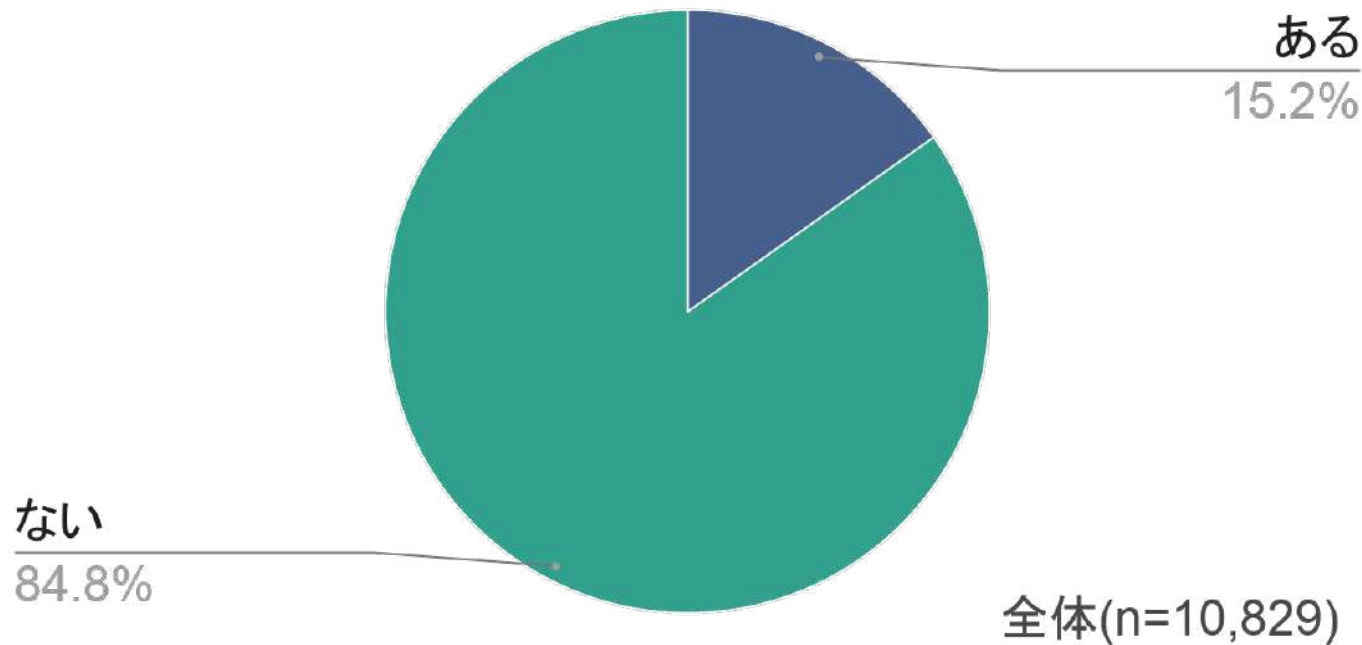
問18(2)【未就学児を養育している方限定】

この1年間に希望に応じた保育サービスを利用できたか(単一回答)



この1年間に希望に応じた保育サービスを利用できたかについて、「利用できた」が65.9%と最も多く、次いで「利用する必要がなかった」が24.2%、「利用できなかった」が9.9%となっている。

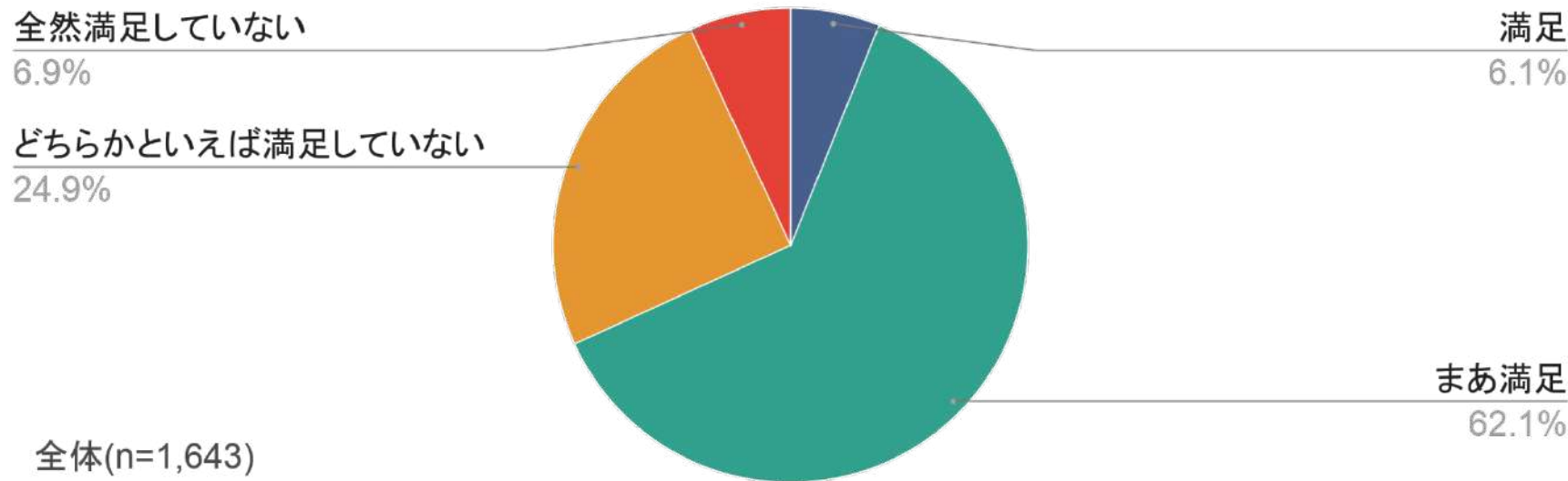
問19(1) さっぽろ子育て情報サイトを利用したことがあるか(単一回答)



さっぽろ子育て情報サイトを利用したことがあるかについて、「ある」が15.2%、「ない」が84.8%となっている。

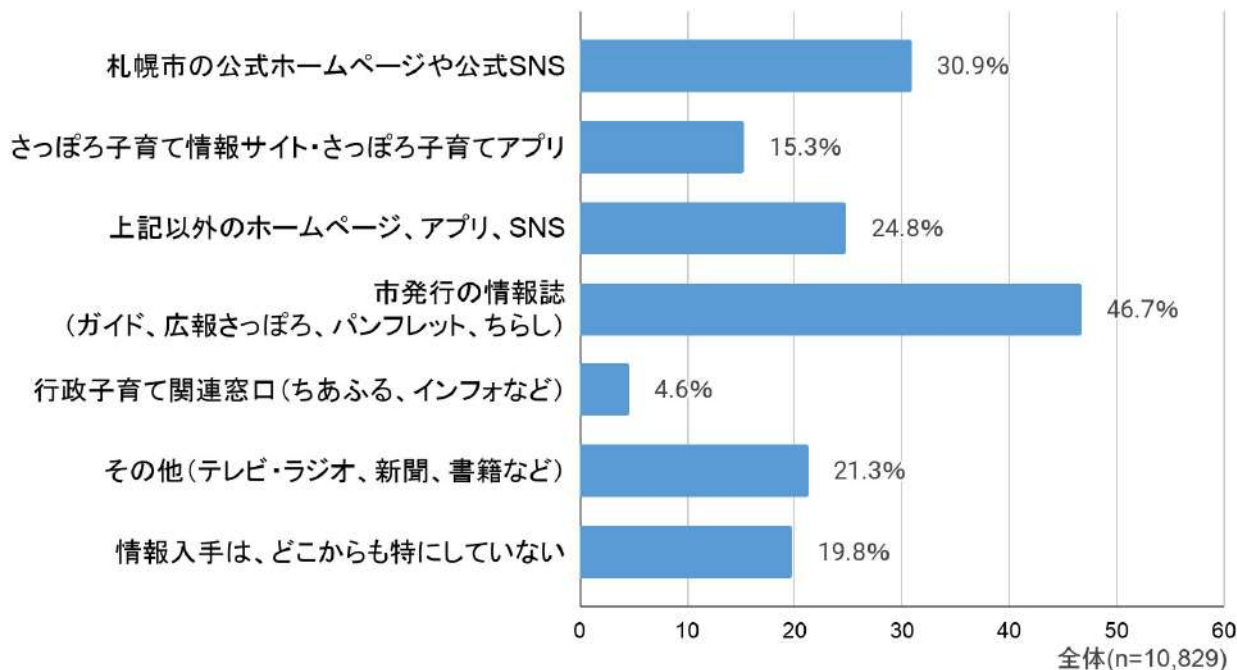
問19(2)【利用したことがある方限定】

さっぽろ子育て情報サイトの内容に満足しているか(単一回答)



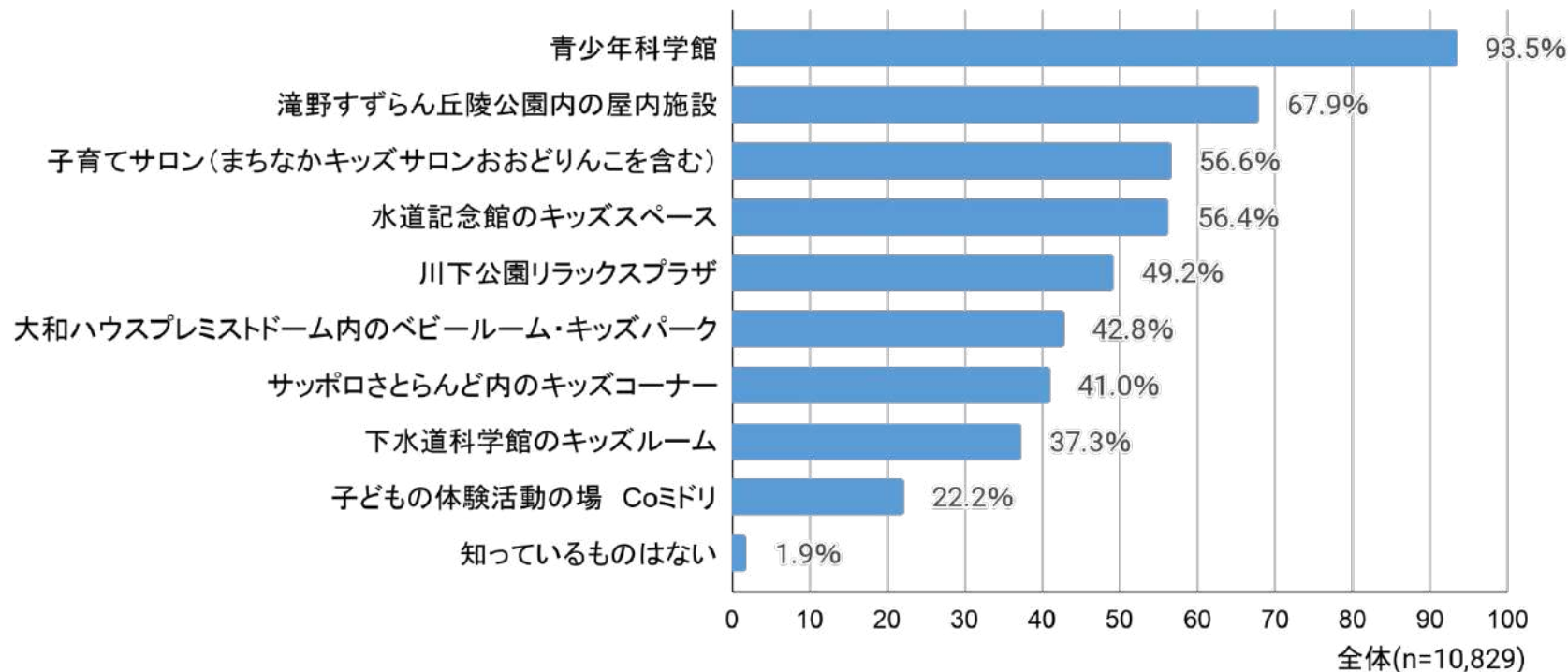
さっぽろ子育て情報サイトの内容に満足しているかについて、「まあ満足」が62.1%と最も多く、次いで「どちらかといえば満足していない」が24.9%、「全然満足していない」が6.9%となっている。また、「満足」「まあ満足」の合計は68.2%、「どちらかといえば満足していない」「全然満足していない」の合計は31.8%となっている。

問19(3) 子育てや子育て支援に関する情報の入手方法(複数回答)



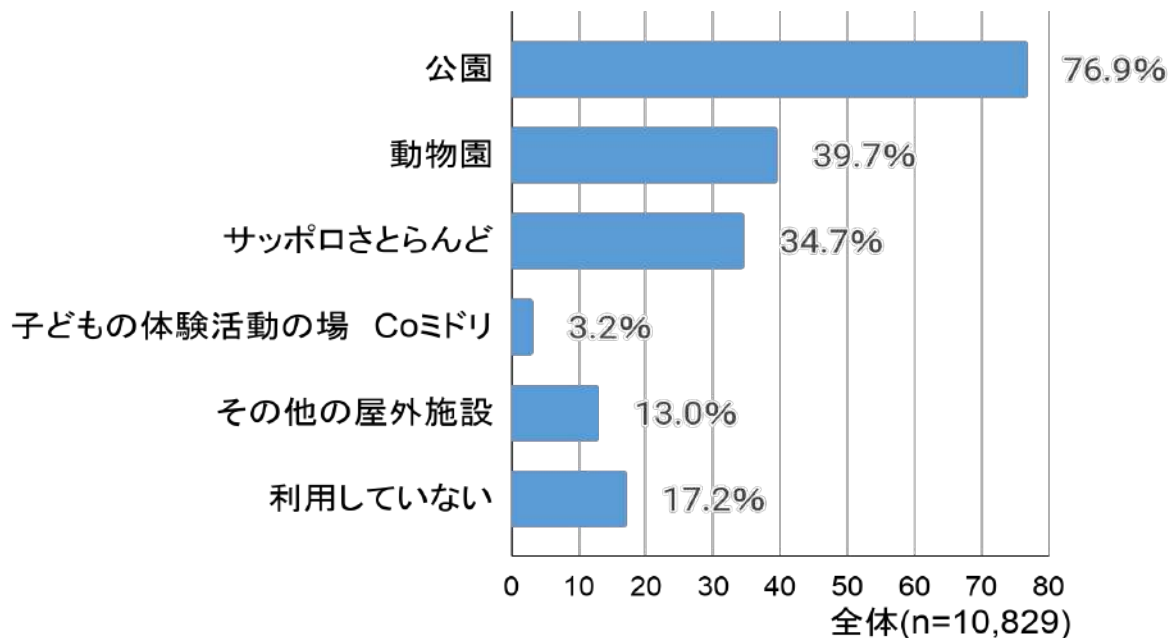
子育てや子育て支援に関する情報の入手方法について、「市発行の情報誌(ガイド、広報さっぽろ、パンフレット、ちらし)」が46.7%と最も多く、次いで「札幌市の公式ホームページや公式SNS」が30.9%となっている。

問20 札幌市内の子ども向け屋内施設の認知度(複数回答)



知っている市内屋内施設について、「青少年科学館」が93.5%と最も多く、次いで「滝野すすらん丘陵公園内の屋内施設」が67.9%、「子育てサロン」が56.6%となっている。

問21(1) 過去1年間に子どもと一緒に利用した子ども向け施設(複数回答)
【積雪のない時期(春～秋) 屋外施設】

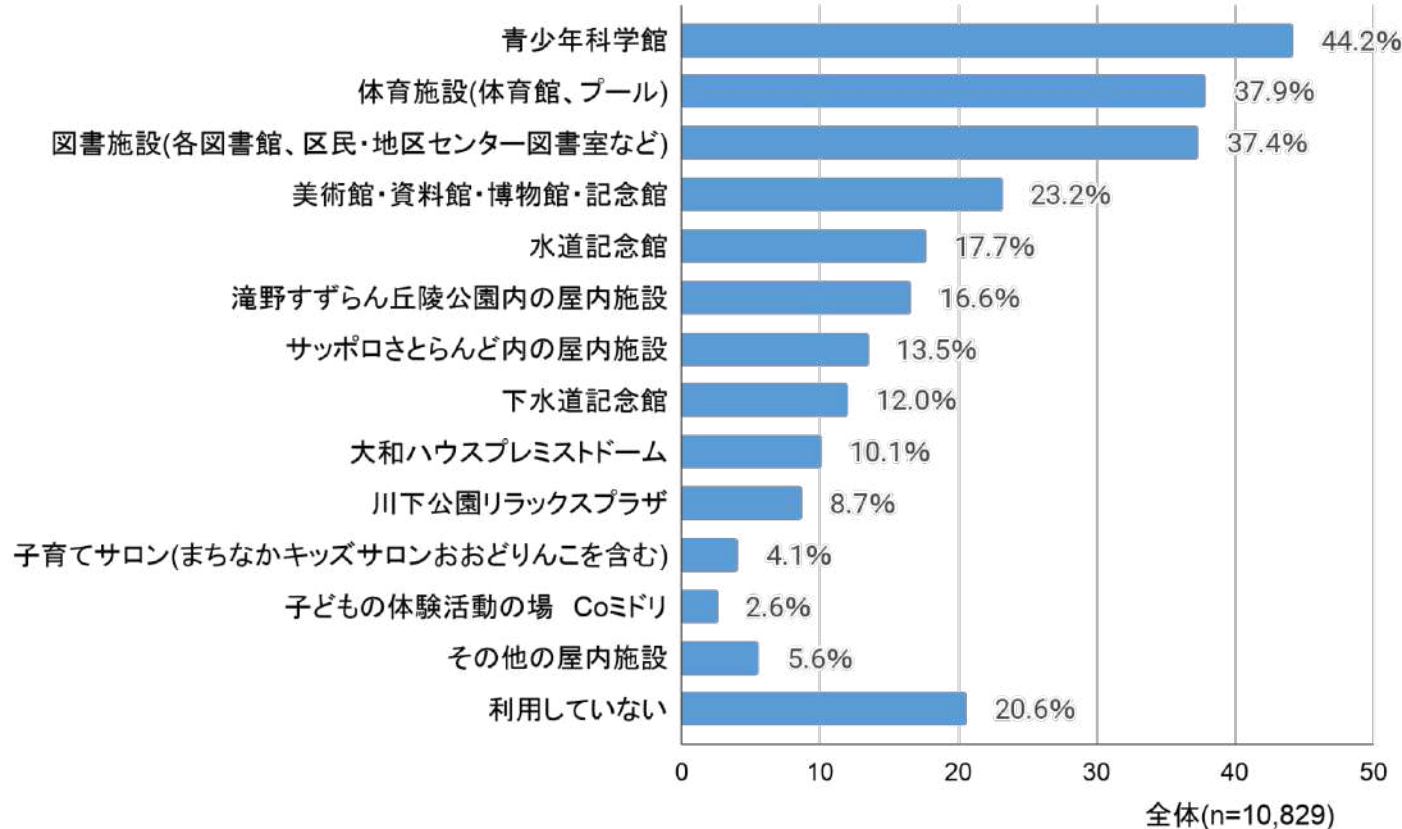


過去1年間、積雪のない時期に利用した子ども向け屋外施設について、「公園」が76.9%と最も多く、次いで「動物園」が39.7%、「サッポロさとらんど」が34.7%となっている。

【その他の回答】

回答内容	回答数	回答内容	回答数
プール	193	テニスコート	17
キャンプ場	70	北海道開拓の村	16
遊園地	60	エスコンフィールド	16
水族館	41	青少年科学館	14
札幌競馬場	34	山	13
河川敷	29	大和ハウスプレミストドーム	10
商業施設	24	羊ヶ丘展望台	6
水道記念館	20	パークゴルフ	4
美術館	19		

問21(2) 過去1年間に子どもと一緒に利用した子ども向け施設(複数回答) 【積雪のない時期(春～秋) 屋内施設】

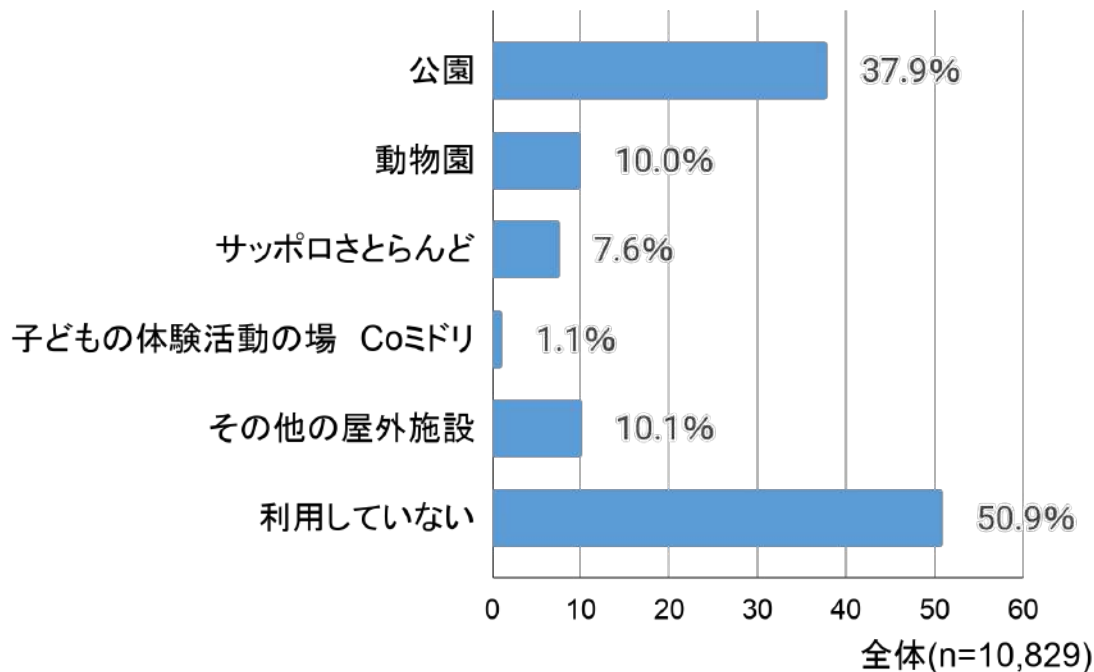


過去1年間、積雪のない時期に利用した子ども向け屋内施設について、「青少年科学館」が44.2%と最も多く、次いで「体育施設(体育館・プール)」が37.9%、「図書施設(各図書館、区民・地区センター図書室など)」が37.4%となっている。

【その他の回答】

回答内容	回答数	回答内容	回答数
水族館	78	地区センター・体育館	10
商業施設	64	コンサート	7
屋内有料施設	47	白い恋人パーク	7
ゲームセンター、ボーリング場、カラオケ等	37	江別市子育て広場ぽこあぼこ	6
映画館	26	札幌市民防災センター	6
エスコンフィールド	20	つどーむ	4
屋内プール	14	空港	4
南幌町子ども室内遊戯施設はれっぱ	11		

問21(3) 過去1年間に子どもと一緒に利用した子ども向け施設(複数回答) 【積雪時期(冬) 屋外施設】

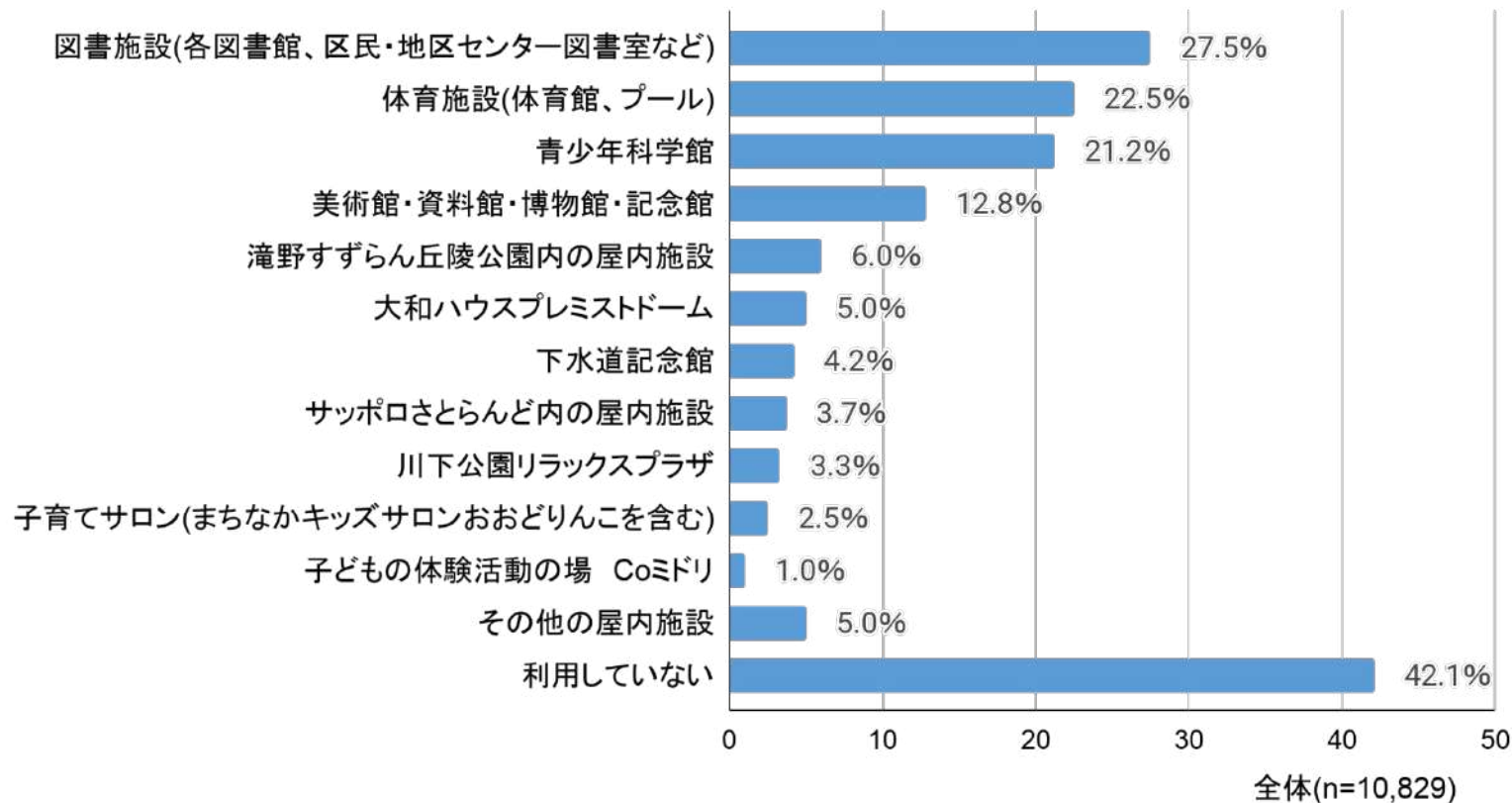


【その他の回答】

回答内容	回答数
スキー場	576
滝野すずらん丘陵公園	91
スケートリンク	24
雪まつり	15
大和ハウスプレミストドーム	12
定山溪自然の村	6
エスコンフィールド	4

過去1年間、積雪時期に利用した子ども向け屋外施設について、「利用していない」が50.9%と最も多く、次いで「公園」が37.9%、「動物園」が10.0%となっている。

問21(4) 過去1年間に子どもと一緒に利用した子ども向け施設(複数回答) 【積雪時期(冬) 屋内施設】

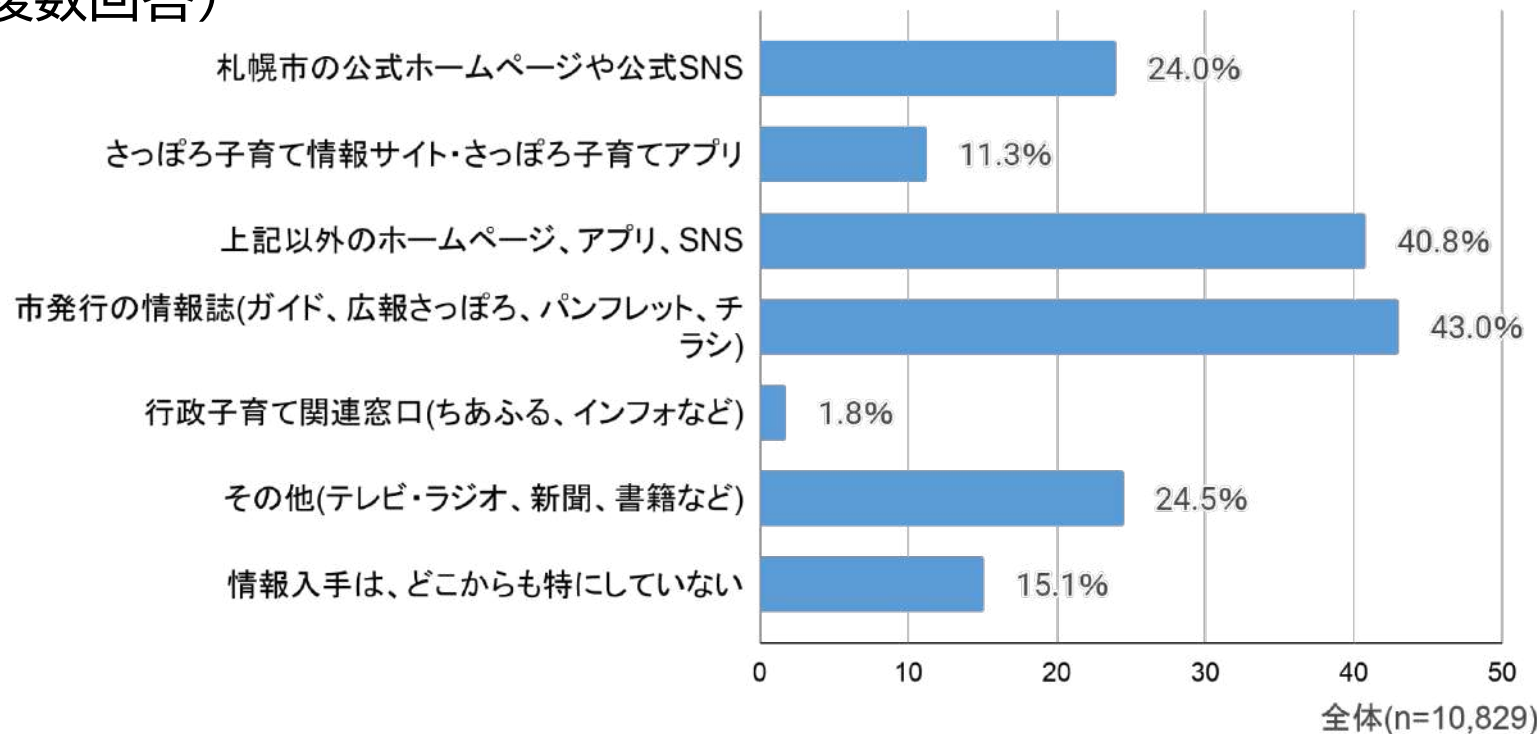


過去1年間、積雪時期に利用した子ども向け屋内施設について、「利用していない」が42.1%と最も多く、次いで「図書施設(各図書館、区民・地区センター図書室など)」が27.5%、「体育施設(体育館・プール)」が22.5%となっている。

【その他の回答】

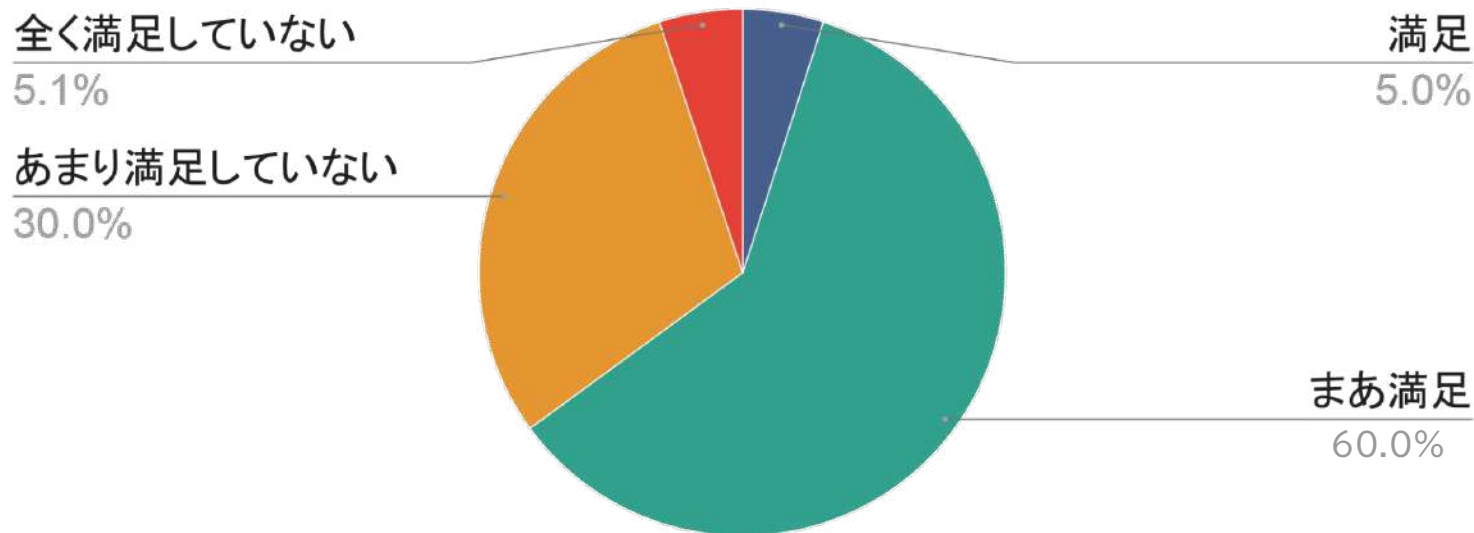
回答内容	回答数	回答内容	回答数
商業施設	69	映画館	23
スケートリンク	61	江別市子育て広場ぽこあぽこ	9
ゲームセンター、ボーリング場、カラオケ等	42	エスコンフィールド	3
屋内有料施設	40	空港	2
水族館	29		

問22(1) 札幌市内の子ども向けの遊びや体験に関する情報の入手方法 (複数回答)



札幌市内の子ども向けの遊びや体験に関する情報の入手方法について、「市発行の情報誌」が43.0%と最も多く、次いで「上記以外のホームページ、アプリ、SNS」が40.8%となっている。

問22(2) 札幌市内の子ども向けの遊びや体験に関する情報の内容に満足しているか(単一回答)



札幌市内の子ども向けの遊びや体験に関する情報の満足度について、「まあ満足」が60.0%と最も多く、次いで「あまり満足していない」が30.0%となっている。また、「満足」「まあ満足」の合計は65.0%、「あまり満足していない」「全く満足していない」の合計は35.1%となっている。

問22(3) 札幌市内の子ども向けの遊びや体験に関するどのような情報が必要か (自由記載回答)

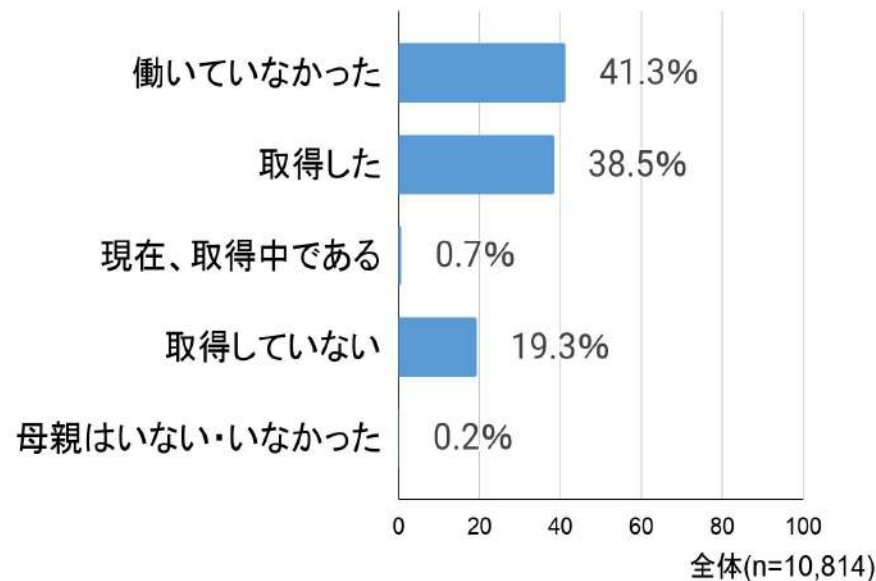
延べ1,399件の意見があり、主な意見の種類と件数は以下のとおり。

回答内容	回答数	回答内容	回答数
わかりやすくアクセスしやすい 情報サイトやSNS	303	混雑状況	22
屋外・屋内の遊び場	259	口コミ	15
年齢ごとの施設やイベントの紹介	183	学び場所	14
イベント	133	地域別の施設やイベントの紹介	14
施設詳細	114	子連れで行ける飲食店	6
駐車場	64	行政の取組	2
料金	52		
公園	28		

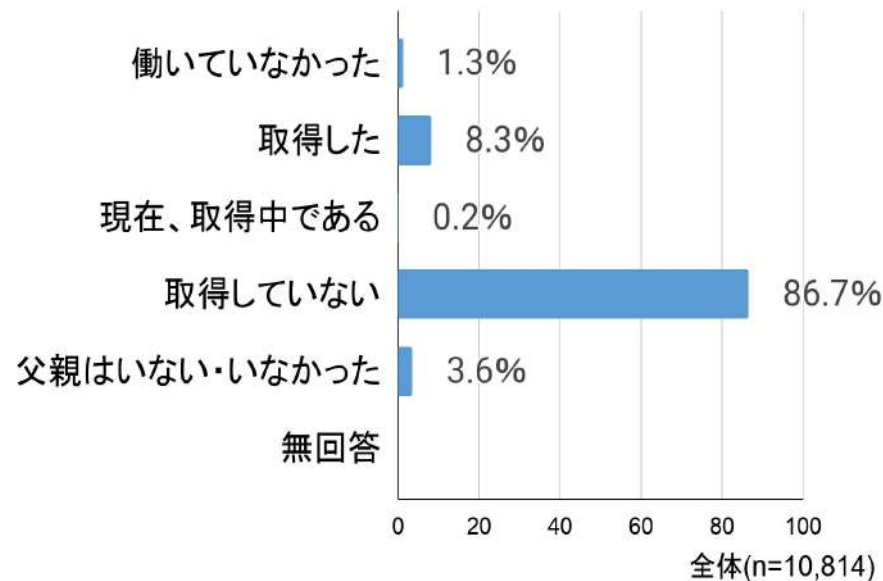
問23(1) 育児休業取得の有無(単一回答)

※子どもが複数いる場合は一番下の子どもの出生時

【母親】



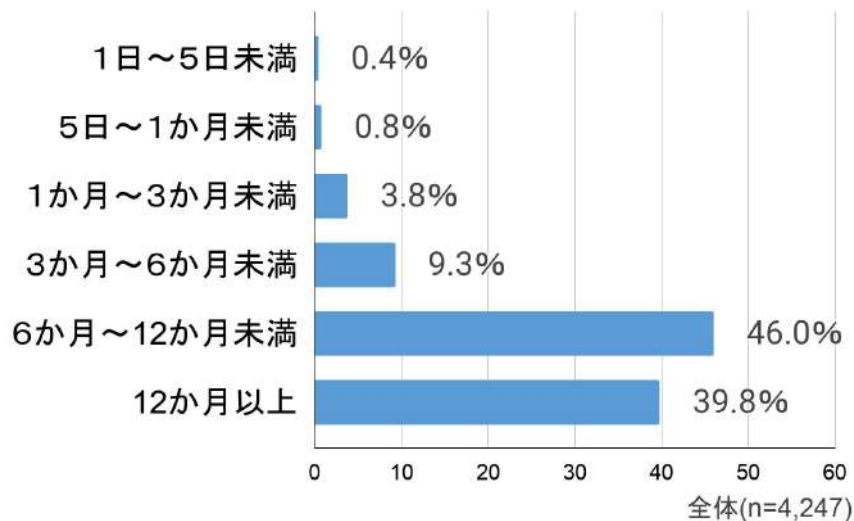
【父親】



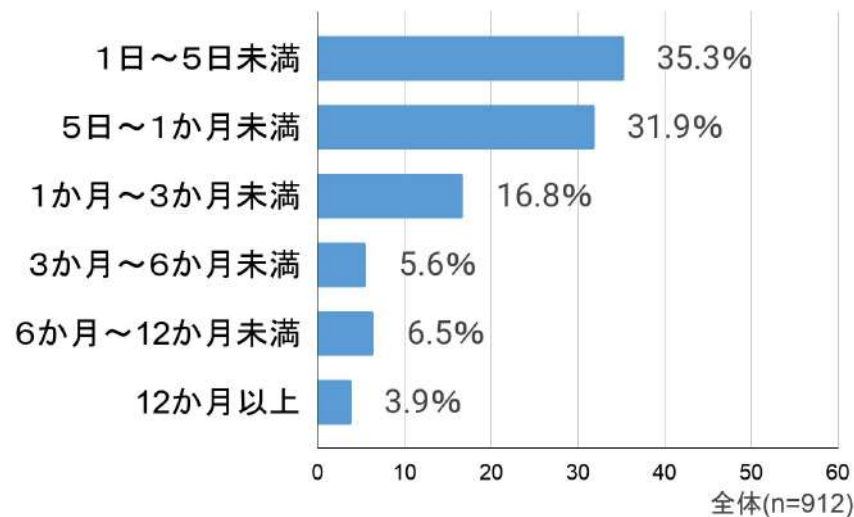
育児休業取得の有無について、母親は「取得した」「現在、取得中である」の合計が39.2%、父親は8.5%となっている。

問23(2)(3) 【取得した方・現在、取得中である方限定】 育児休業の取得期間(単一回答)

【母親】



【父親】

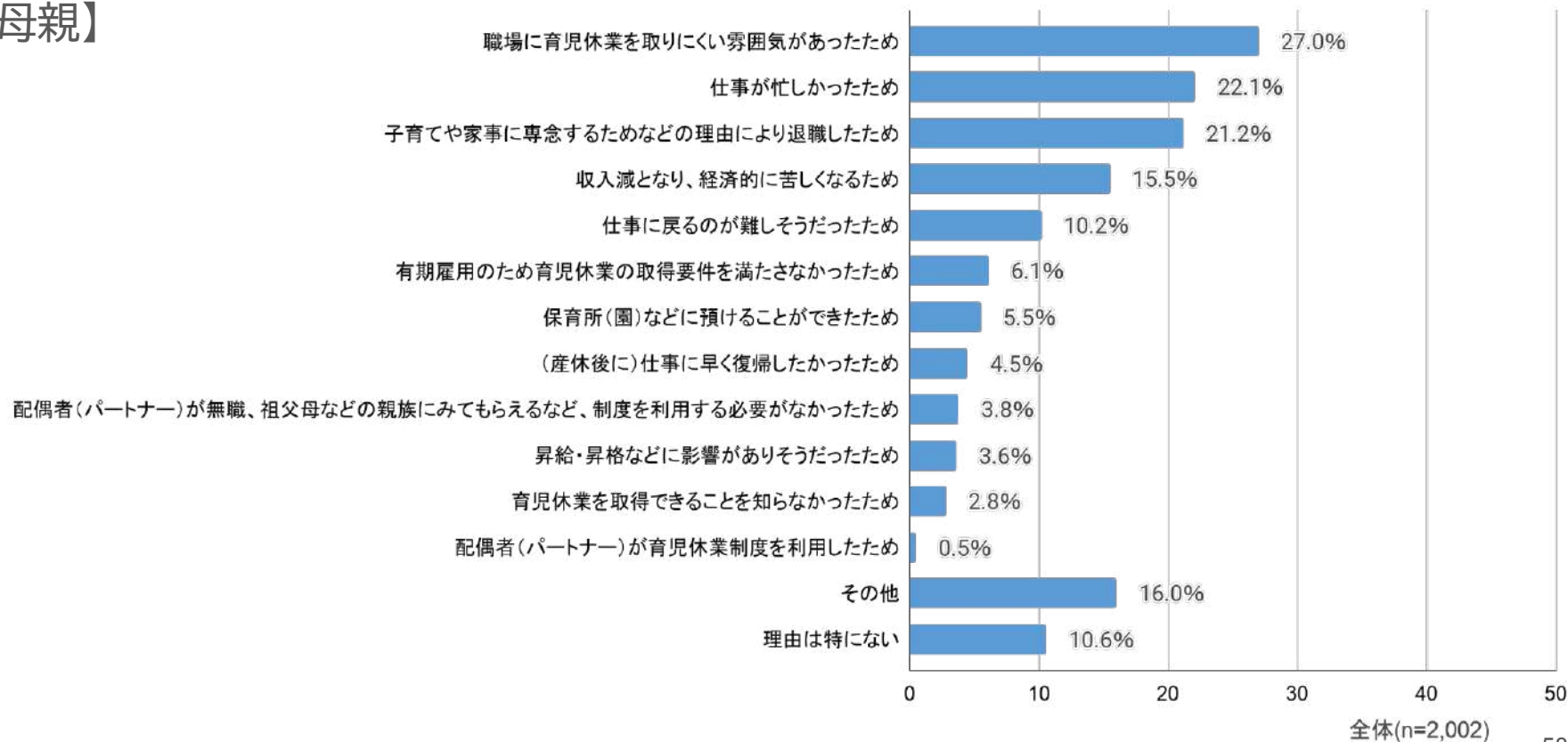


育児休業の取得期間について、母親は「6か月～12か月未満」が46.0%と最も多く、次いで「12か月以上」が39.8%となっている。一方、父親は「1日～5日未満」が35.3%と最も多く、次いで「5日～1か月未満」が31.9%となっている。

問23(4) 【取得していない方限定】

育児休業を取得していない理由(複数回答)

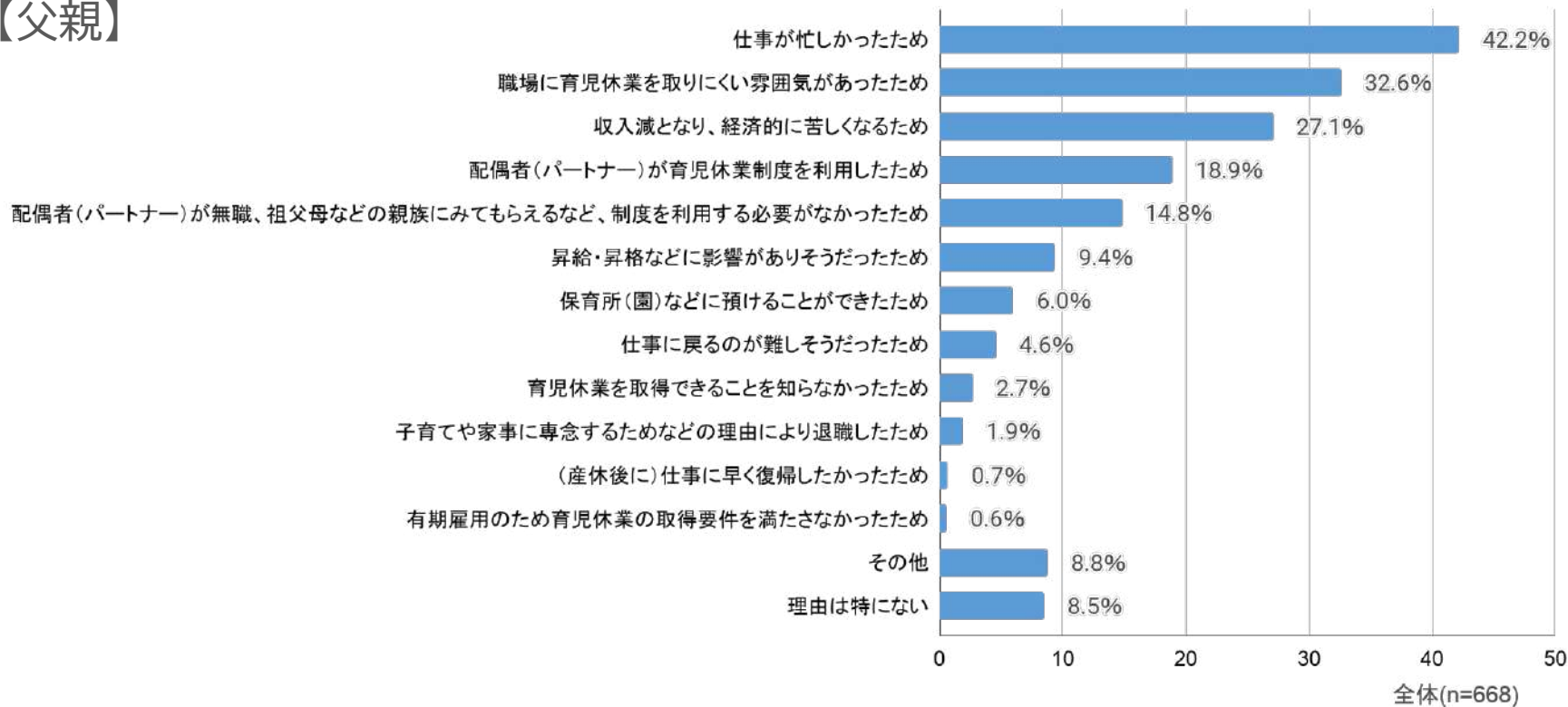
【母親】



問23(4) 【取得していない方限定】

育児休業を取得していない理由(複数回答)

【父親】



育児休業を取得していない理由について、母親は「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったため」が27.0%と最も多く、次いで「仕事が忙しかったため」が22.1%となっている。一方、父親は「仕事が忙しかったため」が42.2%と最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったため」が32.6%となっている。

【その他の回答】

【母親】

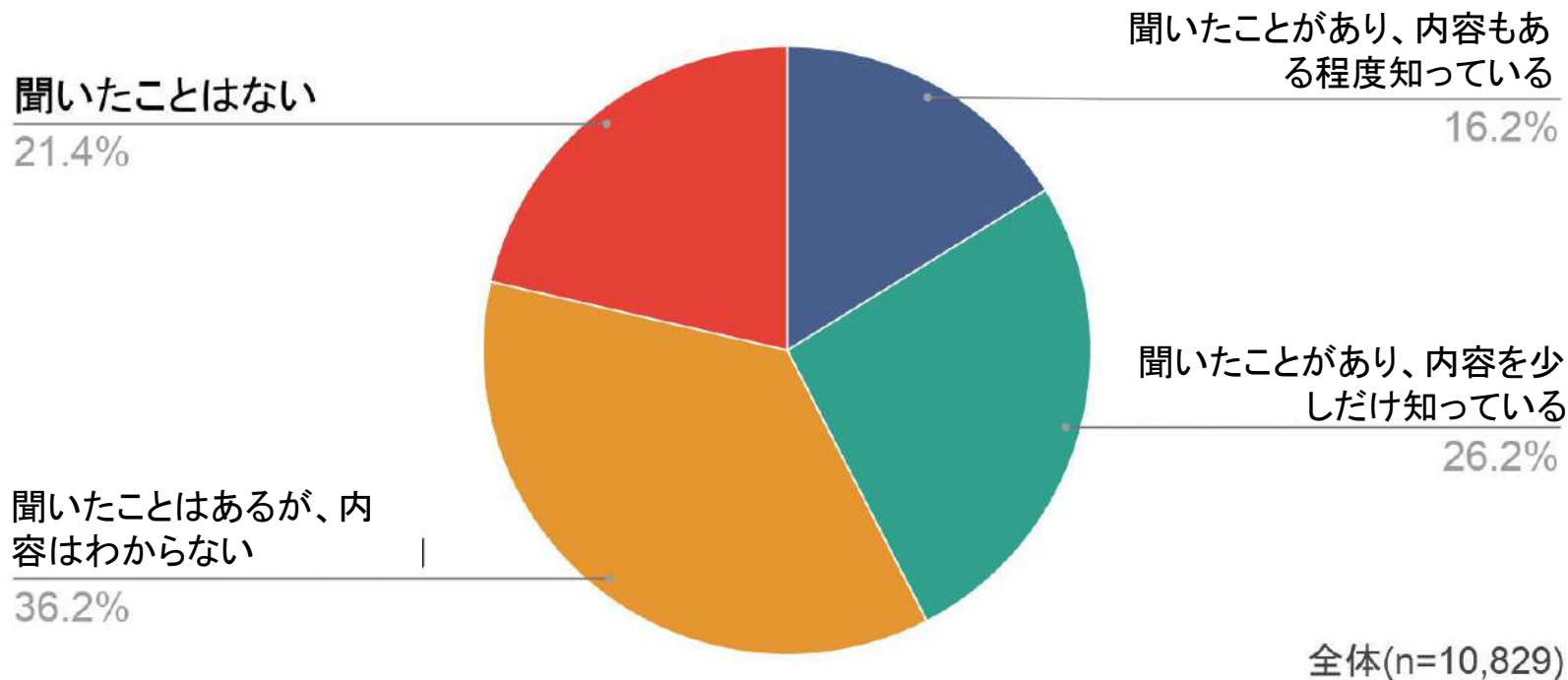
回答内容	回答数	回答内容	回答数
自営業	48	仕事を辞めたため	15
(意に添わず)退職したため	45	取得できなかったため	14
取得資格なし	30	在宅勤務のため	8
育児休暇制度がなかったため	23	必要無し	4
フリーランス	17		

【その他の回答】

【父親】

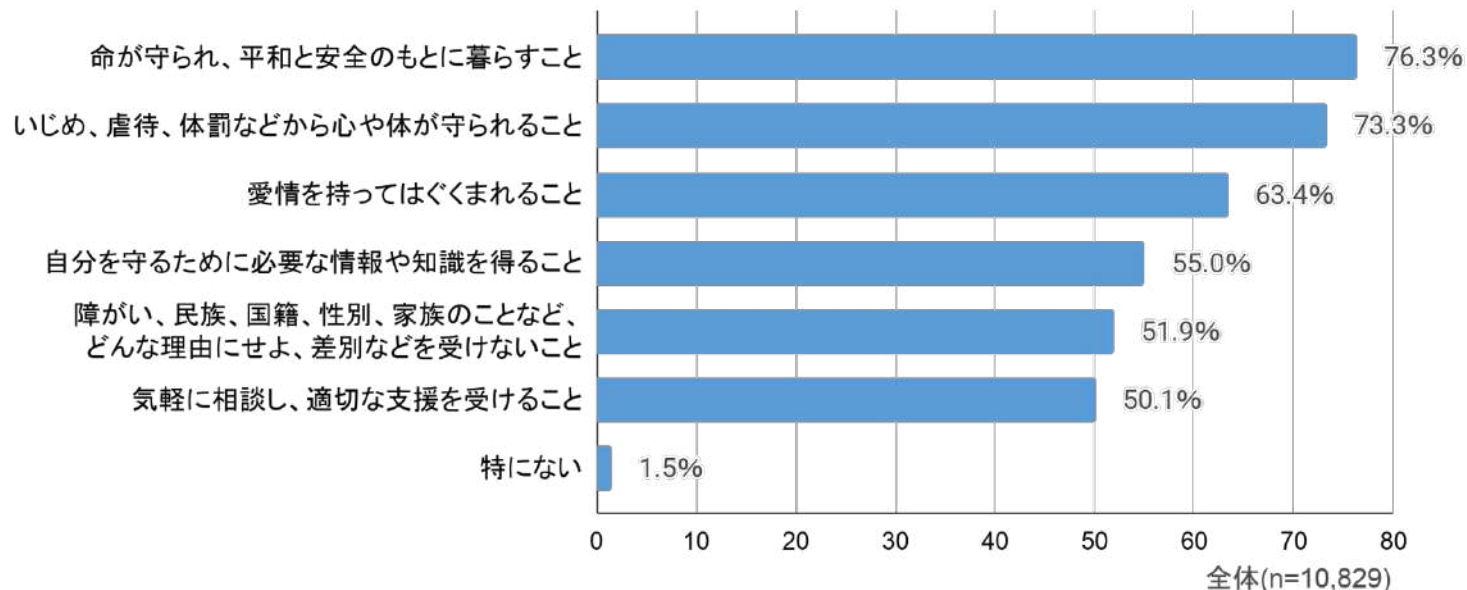
回答内容	回答数	回答内容	回答数
自営業	10	在宅勤務のため	3
育児休暇制度がなかったため	10	仕事を辞めたため	1
男性の実績なし	6	必要無し	1
取得資格なし	5	(意に添わず)退職したため	1
フリーランス	4		
取得できなかったため	3		

問24 「子どもの権利」の認知度(単一回答)



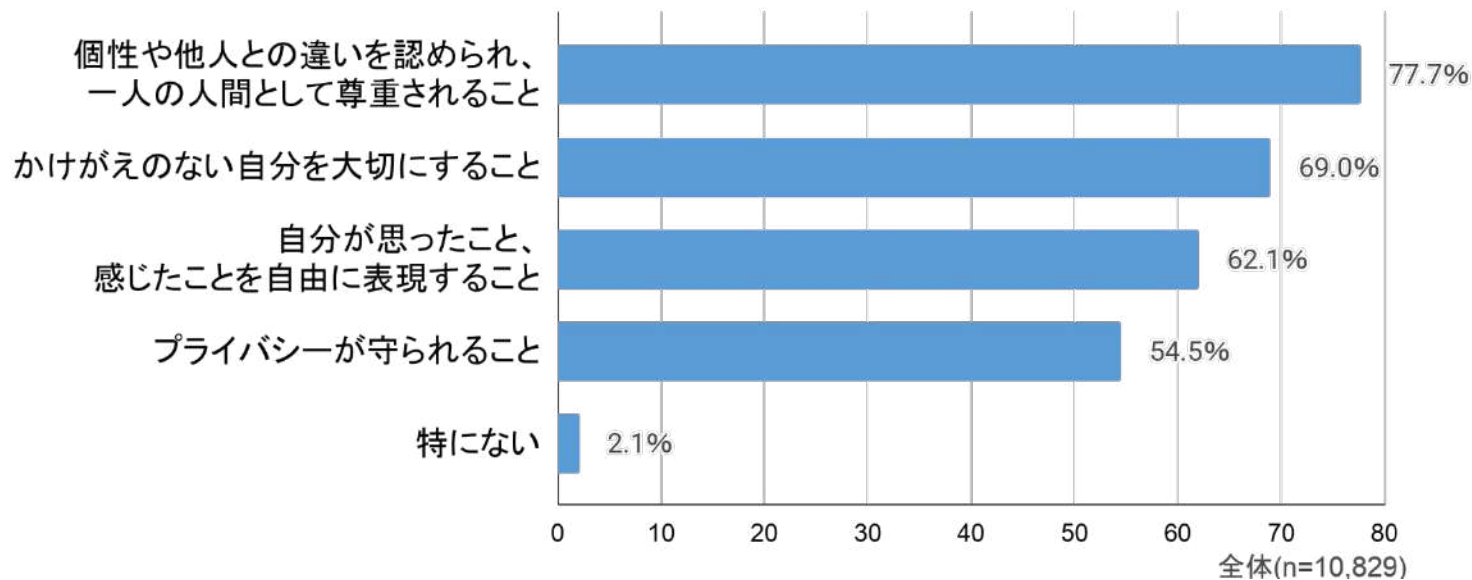
「子どもの権利」の認知度について、『聞いたことはある』(「聞いたことはない」以外の選択肢の合計)が78.6%となっている。

問25(1) 「子どもの権利(安心して生きる権利)」の中で、今よりもっと大切にしていく必要があると思うもの(複数回答)



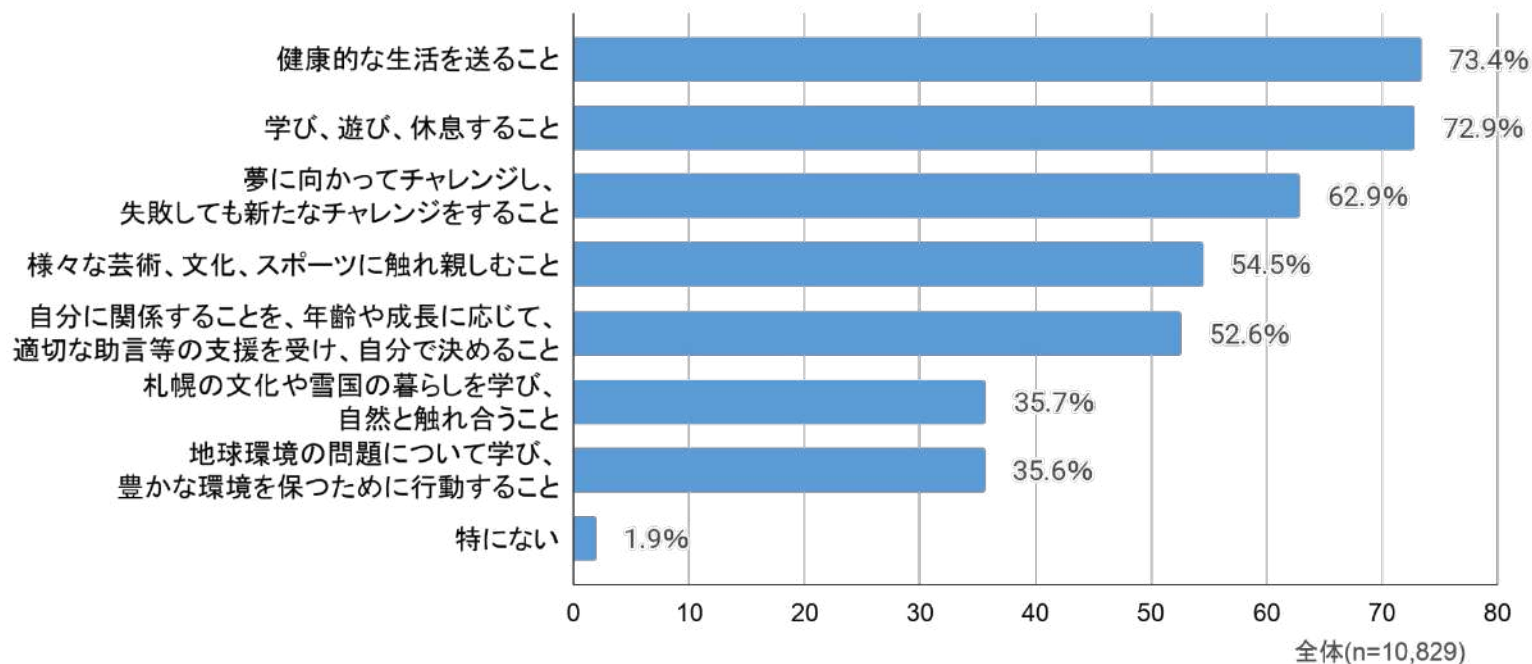
「安心して生きる権利」で大切と思う項目について、「命が守られ、平和と安全のもとに暮らすこと」が76.3%と最も多く、次いで「いじめ、虐待、体罰などから心や体が守られること」が73.3%となっている。

問25(2)「子どもの権利(自分らしく生きる権利)」の中で、今よりもっと大切にしていく必要があると思うもの(複数回答)



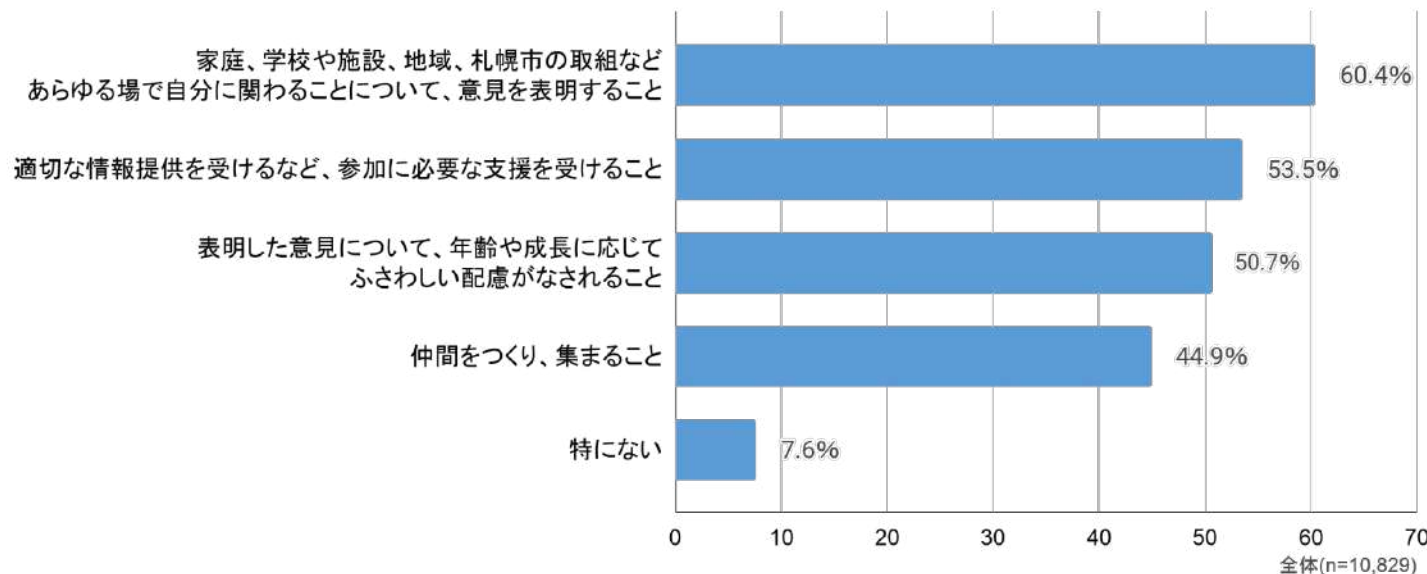
「自分らしく生きる権利」で大切と思う項目について、「個性や他人との違いを認められ、一人の人間として尊重されること」が77.7%と最も多く、次いで「かけがえのない自分を大切にすること」が69.0%となっている。

問25(3)「子どもの権利(豊かに育つ権利)」の中で、今よりもっと大切にしていく必要があると思うもの(複数回答)



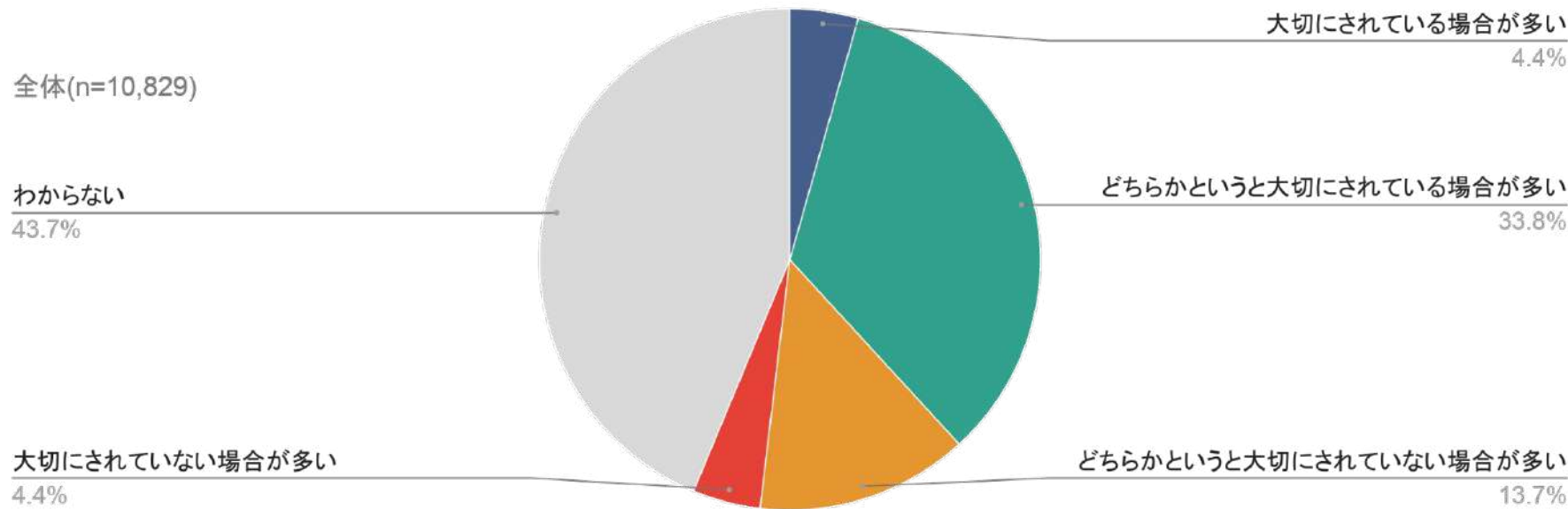
「豊かに育つ権利」で大切と思う項目について、「健康的な生活を送ること」が73.4%と最も多く、次いで「学び、遊び、休息すること」が72.9%となっている。

問25(4)「子どもの権利(参加する権利)」の中で、今よりもっと大切にしていく必要があると思うもの(複数回答)



「参加する権利」で大切と思う項目について、「家庭、学校や施設、地域、札幌市の取組などあらゆる場で自分に関わることについて、意見を表明すること」が60.4%と最も多く、次いで「適切な情報提供を受けるなど、参加に必要な支援を受けること」が53.5%となっている。

問26(1) あなたは、札幌市では「子どもの権利」が大切にされていると思うか(単一回答)



札幌市では「子どもの権利」が大切にされていると思うかについて、『大切にされている』(「大切にされている場合が多い」「どちらかという大切にされている場合が多い」の合計)が38.2%となっている。

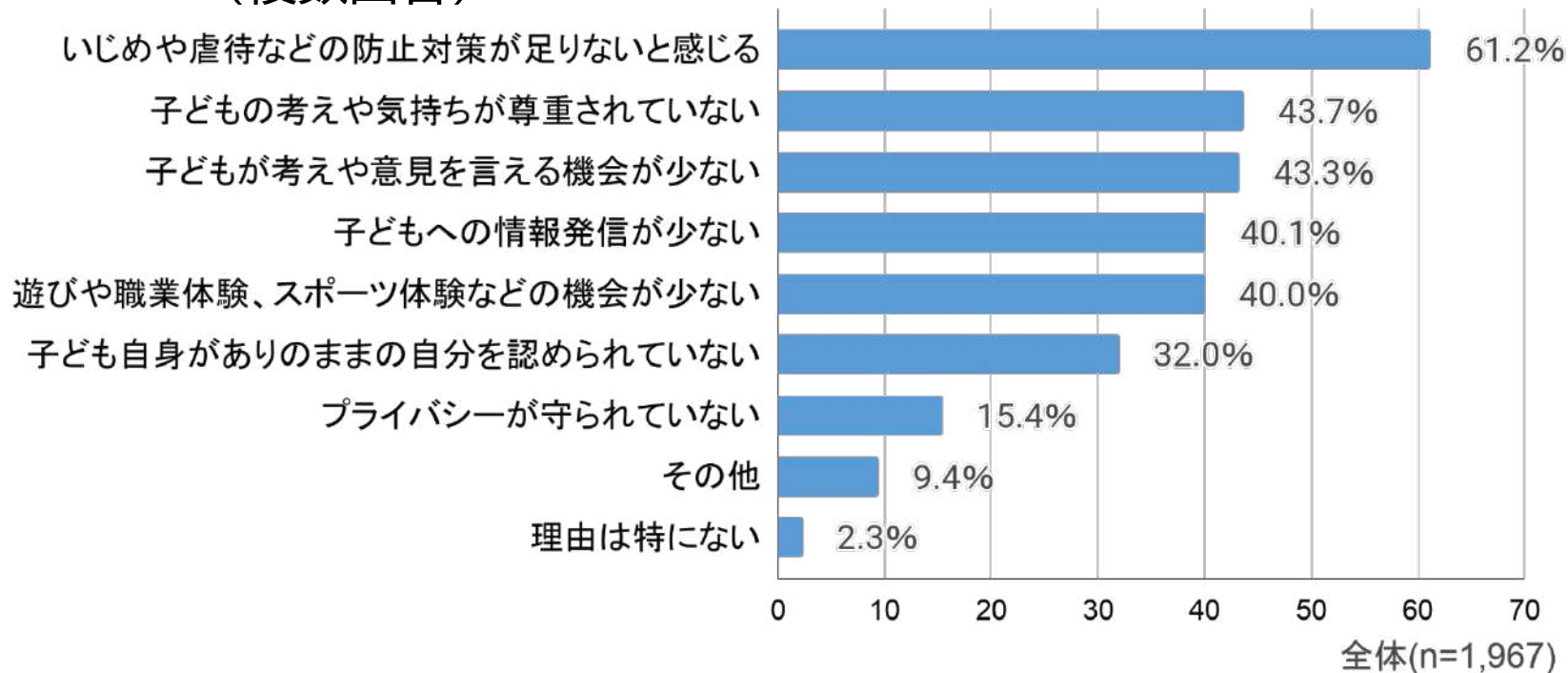
問26(2)【大切にされている場合が多いと回答した方限定】

「子どもの権利」が大切にされていると思う理由(自由記載回答)

延べ925件の意見があり、主な意見の種類と件数は以下のとおり。

回答内容	回答数	回答内容	回答数
教育環境が充実している	295	行政の取組	37
子ども向けのイベントが多い	82	各施設が充実している	22
子どもに関する情報が得やすい	77	地域の人々が子ども・子育てに理解がある	19
子どもの意見が尊重されている	62	経済的支援	15
安心して過ごせる生活環境	58	子どもの居場所がある	13
子育て支援が充実	55		
相談窓口が充実している	37		

問26(3) 【大切にされていない場合が多いと回答した方限定】
「子どもの権利」が大切にされていないと思う理由
(複数回答)



「子どもの権利」が大切にされていないと思う理由について、「いじめや虐待などの防止対策が足りないと感じる」が61.2%と最も多く、次いで「子どもの考えや気持ちが尊重されていない」が43.7%となっている。

【その他の回答】

回答内容	回答数	回答内容	回答数
教育環境の整備が不十分	83	周囲の人々の子ども・子育てへの理解不足	9
経済的支援の不足	18	子ども向けの施設が不十分	7
行政の取組	10	治安への不安	7
障がいへの対応	10	いじめ対応	6
不登校への支援不足	9	相談機関の不足	6
家庭環境	9		

問27 札幌市の子育て支援の取組へのご意見(自由記載)

延べ4,391件の意見があり、主な意見の種類と件数は以下のとおり。

意見の種類・分野	回答数	意見の種類・分野	回答数
教育	656	情報発信	110
医療費・保育料等経済的支援	479	児童館・学童	101
遊び場所・施設	448	公共施設の整備	100
子育て支援	435	保育園・幼稚園	73
所得制限の撤廃	419	物価高対策	67
配慮を要する子供・家庭の対応	299	安全	65
相談機関	178	いじめ	63
市の取組	157	交通費・交通機関	60
職場や地域の支援	130	子連れで行ける場所の普及	15
イベント	121	医療体制	36
不登校	111		

主な分野の代表的な意見(抜粋)

【教育について】

意見内容
何よりも学校へのクーラー設置を急いでほしい。
公立中学校の部活動の種類が少なく感じる。野球サッカーテニスなどは割とあるが、挑戦したことのないスポーツや文化系の部活動を外部委託で費用がかかってもいいので放課後学校のスペースで出来るようにしてほしい。
専門家の方を招いて踏み込んだ性教育を教えてくれる場を設けてほしいです。
小学校の先生の負担軽減ばかりに力を入れてるようで子どもへの学習面のサポートが兄達の時より劣っていて全体的に学力が下がっている。
学習におけるタブレット端末の利用のあり方見直しが必要かと思います。思考力低下、書く力の低下、視力低下など、心配なことが多く、年齢が低いほど心配です。
スキー学習について、雪の季節ならではの行事で素晴らしいですが、毎年数回しか履かない板と靴のために出費があり、金銭的にきついなと思います。
学校は先生の負担を減らす方向に進んでいるのは良いと思いますが、それはITの積極的な導入や地域の教育経験者などの協力を仰ぐなど、効率化や手数を増やすことによって成されるべきで、現状は学校活動が希薄化しただけと感じます。

【経済的支援について(医療費・保育料・給食費など)】

意見内容
給食費無償化に取り組んで欲しい。
医療以外も手当てや補助が受けられると助かる。
多子世帯に対する経済的支援を増やしてほしい。
医療費の無償化にど、年々充実していると思います。福祉にお世話になることが多い娘の育児も、札幌市だから救われた部分もたくさんあります。子育ては大変だけど楽しい、という情報が多く広まって、若い世代が子どもを待つことをワクワクできる札幌市になればいいなと思っています。
子育て＝未来の生産年齢人口を育てています。産み育てなかった人もリタイア後はその時代の若者に支えられて生きていくことを考えると、子育てしている人への経済的な支援はもっと多くすべきです。
給食費無償化のほか、授業で使用する学用品などの諸経費も無償化にしてほしい。
子どもをもつ家庭に対して金銭的な支援を充実させてほしい。子どもが多い家庭ほどメリットが多い仕組みを作ること少子化対策を行う必要があると思う。

【遊び場所・施設について】

意見内容
室内遊び施設を増やしてほしいです。特に高学年でも遊べる施設を作ってもらいたいです。未就学児や低学年向けはたくさんありますが、高学年には物足りず、近くの区民センターで運動をしようとしても、中学生やお年寄りで人が溢れていて、運動することもできず、行き場がないです。
児童館のような中高生が利用出来る施設を増やして欲しいです。現状の児童館では小学生以下の利用が多く中高生は行きづらい。家庭や学校以外の安心安全な居場所があるのも良いかと思います。
目一杯遊べる公園が少ない。ボールの使用が禁止されたり、遊具が新調されてもおもしろみがなかったり。外で子どもたちが体を動かせる場所の工夫をしてほしい。
屋内・屋外施設利用時、子ども料金は無料でも保護者に利用料金がかかってしまうため市民割などがあればうれしいです。
昨今の夏場の高気温により外遊びが難しくなっています。札幌市は屋内で遊べる施設が少ないので、熱中症の心配なく遊べる施設がもっとあったら良いなと思います。思い切り体を動かせる屋内施設は冬の運動不足解消にも繋がると思います。
気軽にお茶菓子を嗜みながら過ごすことの出来る場所があると子ども同士のコミュニティ場としていいなと思いました。また、学生達のフリー勉強スペースがもっとあると望ましいです。塾に通えない子や、エアコンのないお家の子等の勉強場の確保として、喫茶店で注意を受ける事のないスペースがあればと思いました。

【子育て支援について】

意見内容

出産直後の支援を充実させてほしい。里帰りしないお母さんが増えているので、お母さんの負担が少なくなるよう、母子で泊まれる施設を増やしたり、料金を負担してほしい。新生児のオムツを支給したりしてほしい。

子どもを安心して産み育てられる世の中にする為には、子育て支援や子どものために税金を使う事は大いに賛成だが、その支援の仕方に関しては慎重に検討してもらいたい。個人的には、子育て世帯に対してただお金を給付するのではなく、給食費を無償化にしたり、安全に遊べる施設の充実など、全部の子どもを対象にした公平な支援を求めたい。

子育てには、お金がかかるので、子ども手当の金額をあげてほしい。

子どもが風邪をひいたときの預かり先やベビーシッターがとにかく少ない。経済的にも高すぎる。突然の体調不良が子どもは多い。

働く親に向けた、家事代行サービスやお弁当の配食など、助成を受けながら子育てができれば、女性の社会進出もしながら、精神の安定やこどもや親の健康維持などに役立つなど思う。

出産前後の母親父親への教室などはあるけれど、2～3歳頃のイヤイヤ期・第一次反抗期で大変な時に、もっと気軽に子育てについて学べる機会がほしい。特にそのくらいの年齢の親御さんは育休が終わり働いている方が多いので、土日開催してほしい。叱り方や褒め方、子どもとの適切な接し方、声のかけ方、子どもから離れられない状況下(1人で子どもをみているなど)で親自身の心が辛い時、どのようにすればよいのかなど、専門家から学ぶ機会があると助かります。

【所得制限の撤廃について】

意見内容
子ども4人いるので風邪をひいて受診し、投薬だけで1万円超えます。病院受診すると、受給者証あるなしで、子どもへの不公平感をすごく感じます。親の収入で子どもが何も支援を受けられないのはどうかと思います。親は親、子どもは子ども。親とセットで支援や取り組みなど考えないでほしい。
子ども医療費助成金の資格者の所得制限をなくしてほしい。所得が多くても、結局、累進課税で社会保険料や税金を多く支払うため、手取りが少なくなっている。しっかり税金等払っているのだから、他の世帯と同様に、医療費助成金を受けられるようにしてほしい。
子ども医療費助成への所得制限を撤廃して下さい。所得制限世帯の子ども達は兄弟の人数に関係なく、定期通院が必要な持病があっても、大人と同じ医療費3割負担を強いられています。多子世帯にとっては、小児歯科での予防処置すら厳しい状態です。
現在の年収が上限をほんの少し超えたばかりに、子どもの医療費助成や子ども手当、昨年であれば高校授業料支援など、なくなったり、減額されたりに納得いきません。年収的に税金額も高いにもかかわらず支援が受けられないこと、同じ子どもを育てているのに、支援に差があることに納得いかないうえ、少し越えたばかりに助成ゼロでは上限を超えた収入額では賄えない負担が生じています。
デイサービスがたくさんあり、利用しやすいのはすごくいい。でも、利用料が小学生になるとかかってしまう。そして、所得制限が一気に3万円程度上がってしまうのがかなり厳しい。所得制限ギリギリの世帯なので、年間だと40万近くかかるので辛い。

【配慮を要する子どもや家庭への対応について】

意見内容
学校に関しては、障害のある子、発達障害の子ども達を隔離するのではなく、ボランティアやサポーターを教室に入れて同じ環境で学べるようにして欲しいです。支援サポーター、先生、カウンセラーとチームを作り、支援の継続により特性のある子どもへの正しい対応や行動を目の当たりにする事で他の子ども達の理解の促進になり共生が可能になる。
放置子の子が安心して受け入れてもらえる場所ができたらいいなと思います。話を聞いてみると、お母さんに言われて外に出されているようです。そんな子が安心して過ごせる、大人の目がある施設があったらいいなと思います。
軽度発達障害の場合、高校生以降通える場所がなくなります。安心して社会へ出られるようなサポートが充実して欲しいです。
性別についての悩みをもっています。環境としての配慮が増えていくといいなと思っています。温泉施設、プールでの着替えができず行けなくて子どもががっかりしているので。
発達障害、グレーゾーン、境界知能児童への支援の強化をお願いいたします。相談から医療機関の受診や療育までの時間や手間等がかかりすぎます。その後の通院も検査も時間がかかりすぎて親は仕事に行けません。
学校が苦手な子や、人との関わりが不得意な子に対して、もっと理解や配慮のある環境づくりがあると良いと思う。
子どもが病気で肢体不自由なのでそういう子でも遊べる場所があったり、土日も預けれるところが増えるとありがたいと思います。肢体不自由で医療ケアも必要なので私が知ってる限り二つしか施設を知りません。

【相談機関について】

意見内容

ちえりあの教育相談が混みすぎて何か月待ちにもなるので、改善していただけたらありがたいです。

教育に熱心な部分はあると思いますが、時間が限られている場所が多い気がします。実際に不登校になっても情報は個人でさがす必要があり、こちらから働きかければ情報はくれるかもしれませんが、忙しそうな先生には話づらいし、市のサイトをみたが、その通りに学校側は取り組まれていないと感じたことがあり、悩みや問題を相談する場所は限られていると感じる。

子どもの発達について悩んでいた時、相談先がわからず、区役所などに電話をしたが、満足した回答を得られなかった。紹介してもらった窓口で電話をかけても、なかなか電話が繋がらず予約が取れない、翌月また電話をかけて予約を取り、実際相談できるのはまたさらに1か月先という状態で、すぐにでも助けてほしいのにどこにも繋がることができず苦しかった。もっと早く、まず話を聞いてくれる場がほしい。

子どもが小さい頃、成長にあわせての離乳食に不安がありちえりあで保母さんに相談したりしてたくさん解消することができた。

困ったときの窓口案内が分野ごとに分かれているのはいいのですが、行きたい窓口をピンポイントで案内してくれる係の方がいらっしやるとありがたいです。困りごとの内容が複雑になればなるほど相談先に辿りつくまでいつも時間がかかります。

スクールカウンセラーを利用したいけど、1人体制だと合わないカウンセラーの場合、利用自体したくないので、複数名の体制があるといいです。

【市の取り組みについて】

意見内容

このようなアンケートを実施してくださりありがとうございます。親の目線で子どもたちを見ていると、躰をされていない子、生活や心が乱れている子が増えてきているように感じます。特に、スマートフォンやタブレット端末、動画やSNSとの付き合い方については大きな問題であり、公的な教育や啓蒙等が確実に必要になってきていると思います。各家庭で対応できるレベルはとうに超えておえり、学校と自治体で連携して具体的な枠組みをもって取り組みを始めて頂けるように希望します。

収入など家庭の事情による差の無い、体験への接触機会が益々増えることを期待しております。市全体としての取り組みは機会に限られるかと思います。リスクが伴うことかと思いますが、市民レベルでの活動への助成、サポートをお願いしたいです。

私はホームページやLINEで札幌市の取り組みを見るようにしていますが、学校のすぐえるアプリなどを通して保護者に札幌市の子育て支援が伝わるよう積極的に活用してほしいです。

一人目の子どもの時から予防接種の問診票や、保育所等の様々な申請についてデジタル化をしてほしいと毎度毎度懇願していますが、改善されず十年が経過しました。手書きで紙片の書類に書いて、それを職員の方がPCに手入力をしているという非合理的な手間を省けるシステムに、しっかり予算を投入してほしいです。

札幌市が多様な子育て支援策を推進している点は高く評価できます。特に、保育料の軽減や医療費助成の対象拡大といった経済的支援の拡充は、子育て世帯の負担を直接的に和らげる重要な取り組みです。一方で、課題と感じるのは、豊富な支援メニューとそれを必要とする家庭との間の情報格差です。支援制度は多岐にわたるものの、その情報が十分に届いておらず、申請しなければ利用できないサービスも少なくありません。出産や転入といった機会に、個々の状況に合わせて利用可能な支援をプッシュ型で通知するスマートフォンアプリの開発など、より積極的な情報提供が求められます。

【職場環境や地域の支援について】

意見内容
公園で遊んでいても、近隣住民からのクレーム(うるさいなど)があり、市民がもっと子ども達の遊び場に関心を持ち、理解をもってもらふ必要があると思います
休んでも企業に不具合が出ないような、むしろ休ませた方が企業にプラスになるような職場への公的支援があると、とても良いなと思います。
現在、育休中ですがやはり札幌市だけに限らず、中小企業の子どもの持つことへの理解、そして産休育休取得、職場復帰後の時短勤務や突然の子どもの病気等で休むことへの理解が足りない部分が多いと感じました。できればある程度大きくなるまでは働かず子育てに集中したい気持ちがあるのですが、物価高、経済状況の悪化で子育てに集中したくてもできないお母さんがたくさんいることが悲しいです。
子どもたちが、保育施設や学童などに長時間預けられるよりも、家庭生活をゆったりと送れるように、正社員の時短勤務が広がるように働き掛けがあるといいなと思います。
企業の子育て支援策も、子どものいる世帯だけに支援をすると、一歩間違えば子持ち様を産むばかり。子どものいる人もいない人も休暇が取りやすく、休んだ人のカバーをする人も得する制度を行政で推奨してもっと温かい雰囲気になるのに、と思います。
子どもの心身の健康を守るためには土台となる家庭生活が大切だと思います。保護者が就労等により自宅を不在にする場合の子どもの預け先を充実させたり、病児保育を充実させたりすることよりも、大人の勤務形態を子どもの都合に寄り添ったものにするのが大切ではないでしょうか。

【イベントについて】

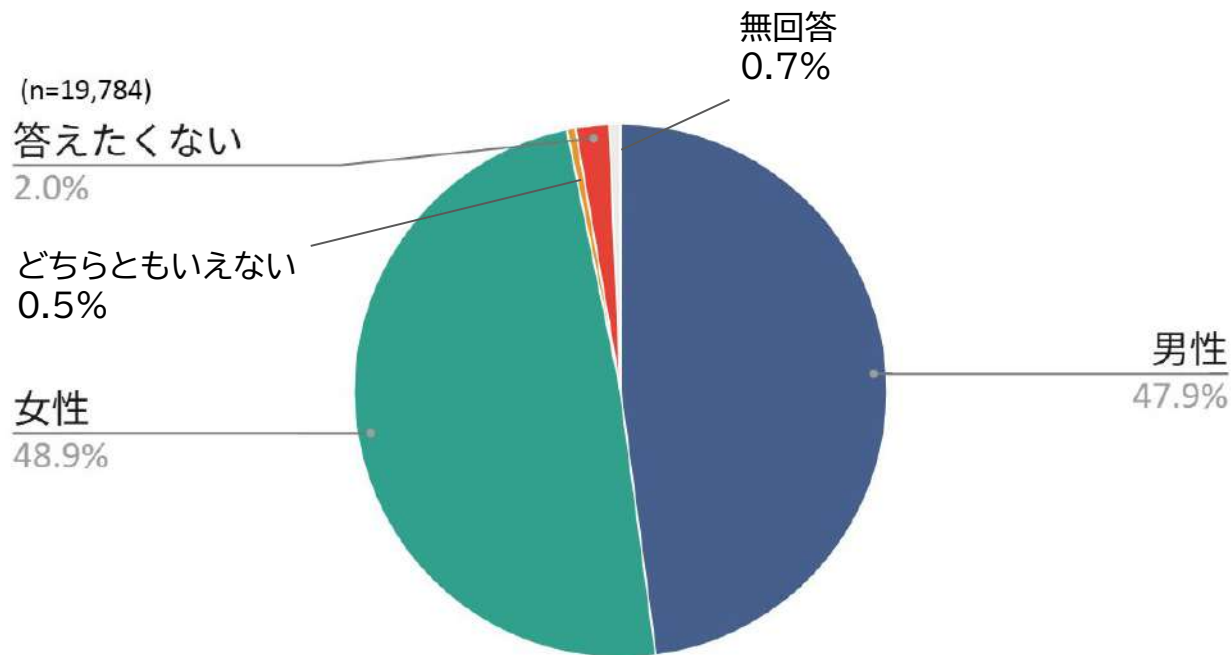
意見内容
小学生が参加するミニさっぽろ、ウィンタースポーツ塾など面白い企画で子どもが毎年楽しみにしています。市内の文化施設をまわるスタンプラリーがあったらいいね、と子どもたちと話すことができました。中高生になると子育て支援の枠から外れてしまう感覚がありますが、職業体験や留学生など、親以外の大人と関われる機会があると嬉しいです。
中学生にも、様々な業界を知る(特に人手不足の業界)、体験するなどの、将来の職業選択を考えるきっかけになる札幌市としてのイベントがもっとあっても良いのでは？
運動も手先が器用じゃない子でも楽しめる、仲良くなりやすいイベントを増やしてもらえると、劣等感を持つ子供も参加しやすくなると思います。
札幌は自然豊かでその自然と親しむことと体を動かすことをコンバインしたプログラムで子ども達がもっと健康になれると思う。たとえば、キッズのためのヨガ、自然の中でのトレジャーハンティングなど。
体験イベントなど参加したいが、小学生と親1人などのイベントが多いため、小学生、中学生がいる我が家はなかなか参加できない。小学生+中学生とその親も参加できるイベントがほしい。
冬の間に体を動かせる取組、イベントがもっとあればいいなと感じます。また、市全体でもっと図書館を活用して本に親しみをもてるような活動があればいいなと感じます。
農業や漁業など子どもの時に体験させてほしい。他にも担い手不足な仕事にも触れる事で興味を持つ子どもが増えると思う。今の若い子達は大学に進学しその後東京など都市に出てしまうので北海道だからできる仕事にも興味をもってほしい。

調 査 結 果

【子どもに関する意識調査】

【全体】

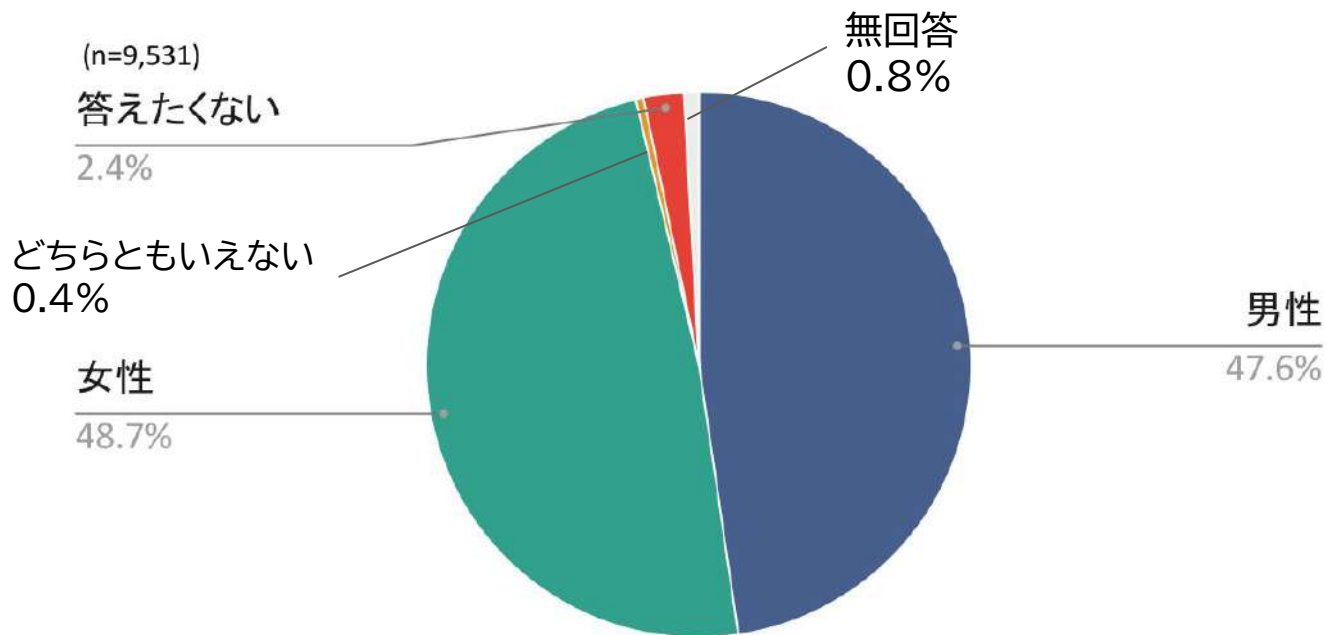
問1 回答者の性別(単一回答)



性別については、「男性」が47.9%、「女性」が48.9%となっている。

【小学生】

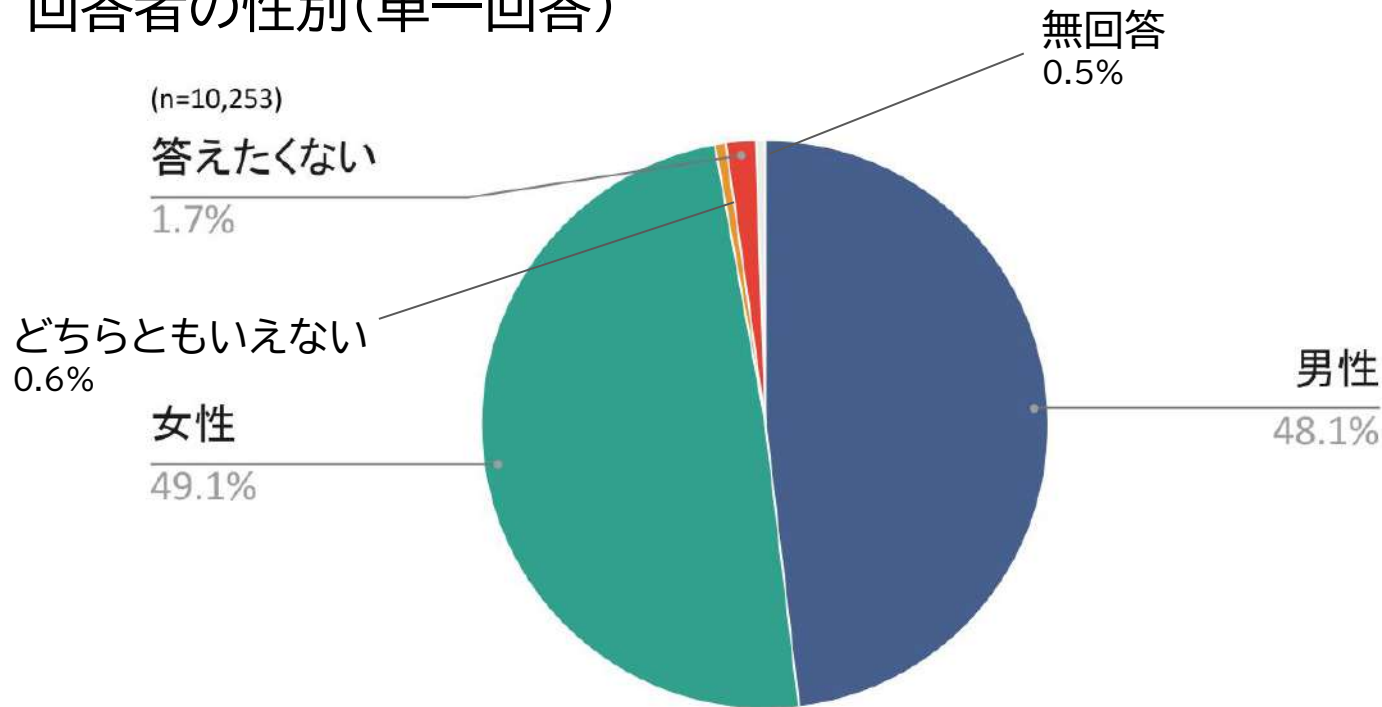
問1 回答者の性別(単一回答)



性別については、「男性」が47.6%、「女性」が48.7%となっている。

【中学生以上】

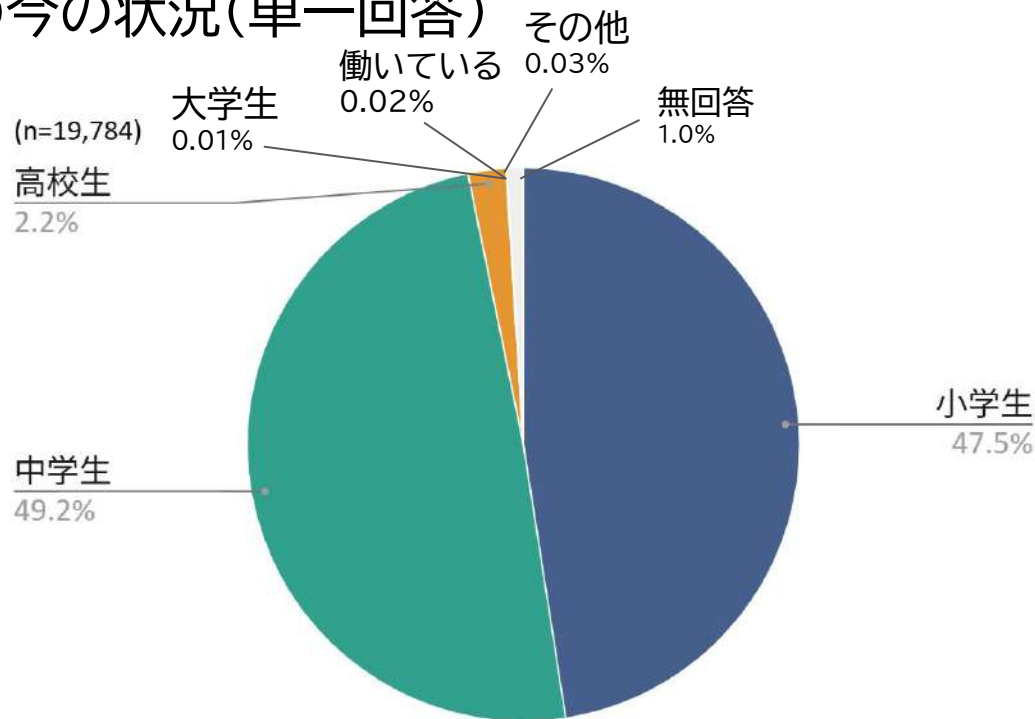
問1 回答者の性別(単一回答)



性別については、「男性」が48.1%、「女性」が49.1%となっている。

【全体】

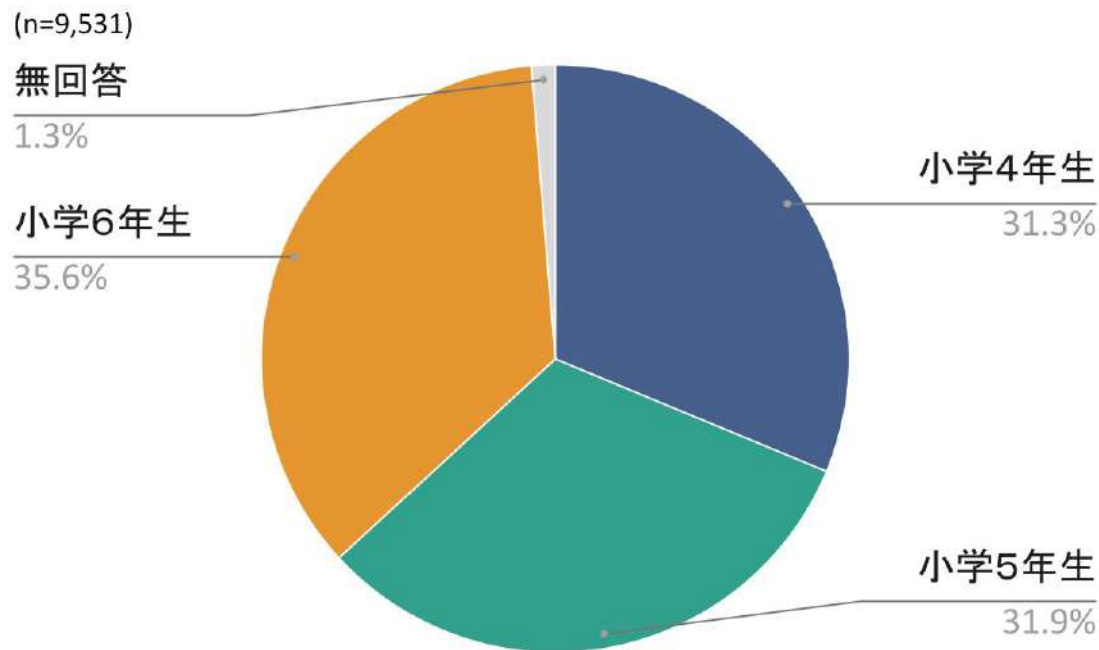
問2 回答者の今の状況(単一回答)



回答者の年代については、「中学生」が49.2%と最も多く、次いで「小学生」が47.5%、「高校生」が2.2%となっている。

【小学生】

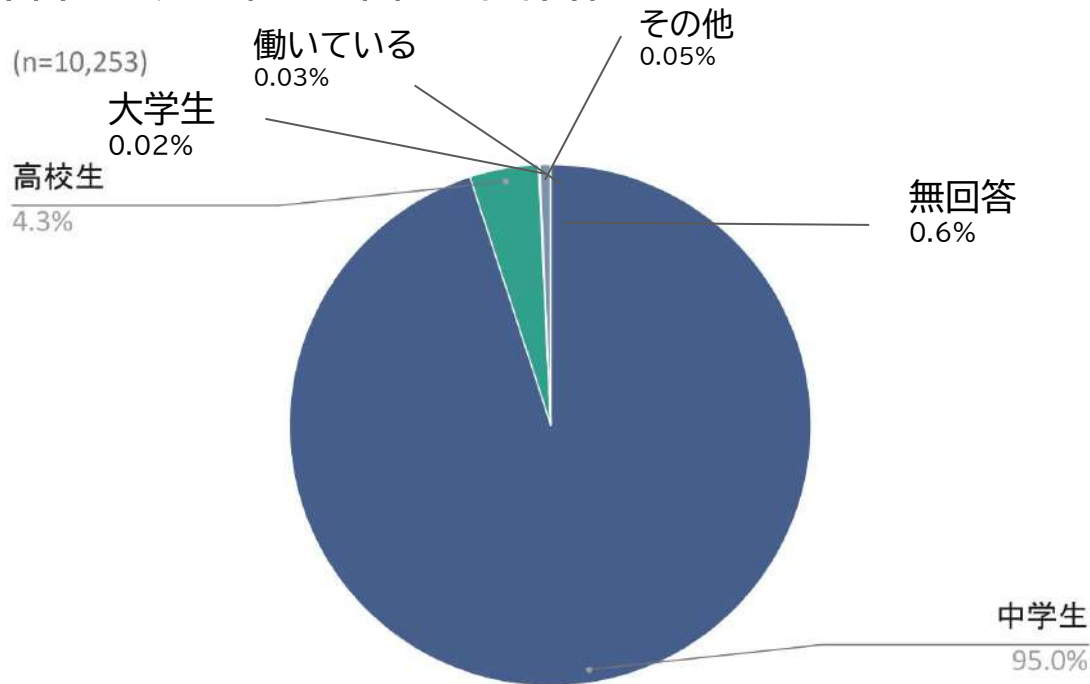
問2 回答者の今の状況(単一回答)



回答者の年代については、「小学6年生」が35.6%と最も多く、次いで「小学5年生」が31.9%、「小学4年生」が31.3%となっている。

【中学生以上】

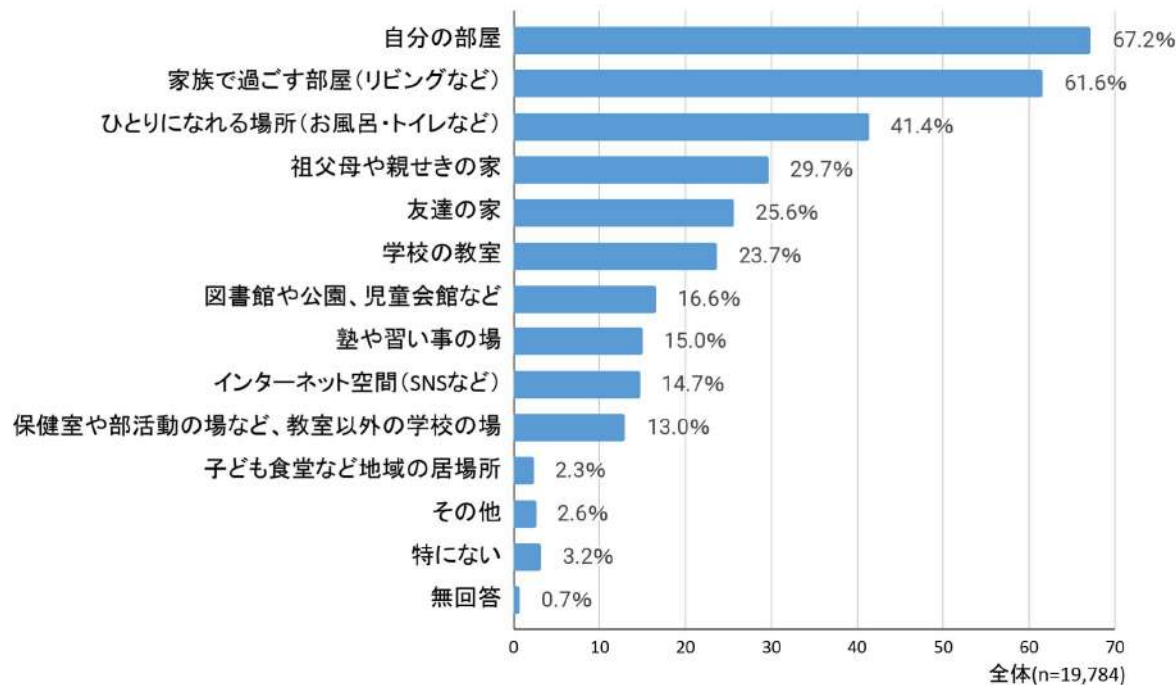
問2 回答者の今の状況(単一回答)



回答者の年代については、「中学生」が95.0%と最も多く、次いで「高校生」が4.3%となっている。

【全体】

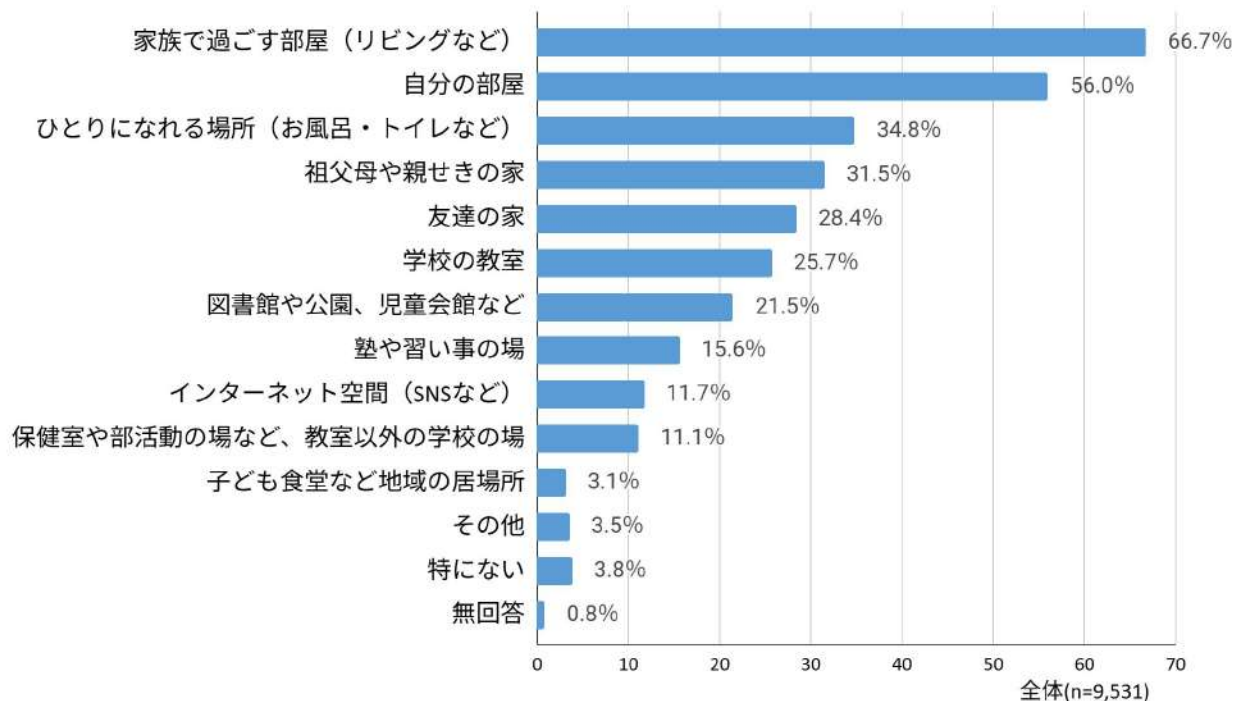
問3 ホッとでき、安心していられる居場所(複数回答)



安心していられる居場所については、「自分の部屋」が67.2%と最も多く、次いで「家族で過ごす部屋(リビングなど)」が61.6%、「ひとりになれる場所(お風呂・トイレなど)」が41.4%となっている。

【小学生】

問3 ホットとでき、安心していられる居場所(複数回答)



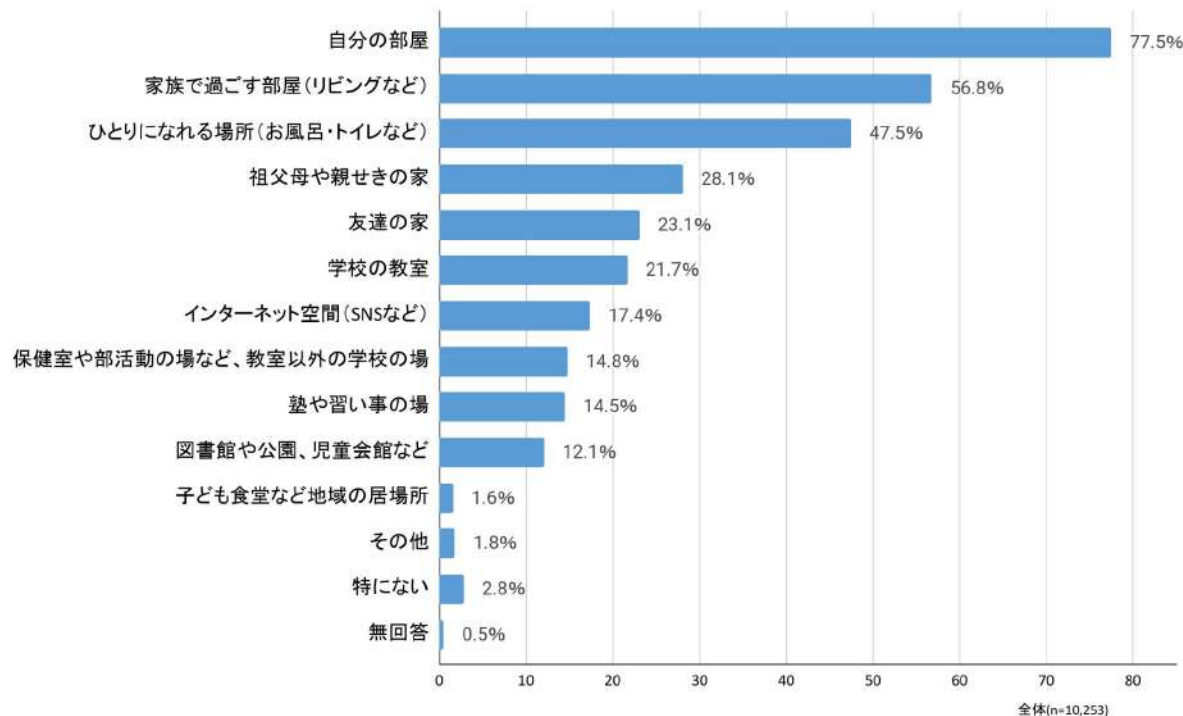
安心していられる居場所については、「家族で過ごす部屋(リビングなど)」が66.7%と最も多く、次いで「自分の部屋」が56.0%、「ひとりになれる場所(お風呂・トイレなど)」が34.8%となっている。

【その他の回答】

その他の意見	回答数
寝室・ベッド・布団	61
ゲーム・インターネット	38
自然・公園	38
家(自宅・実家など)	29
家族や友達と過ごす時間	26
お店・商業施設	18
学校関係	17
誰もいない空間	16
スポーツ関連	14
デイサービス・学童	12
車の中	8

【中学生以上】

問3 ホットでき、安心していられる居場所(複数回答)



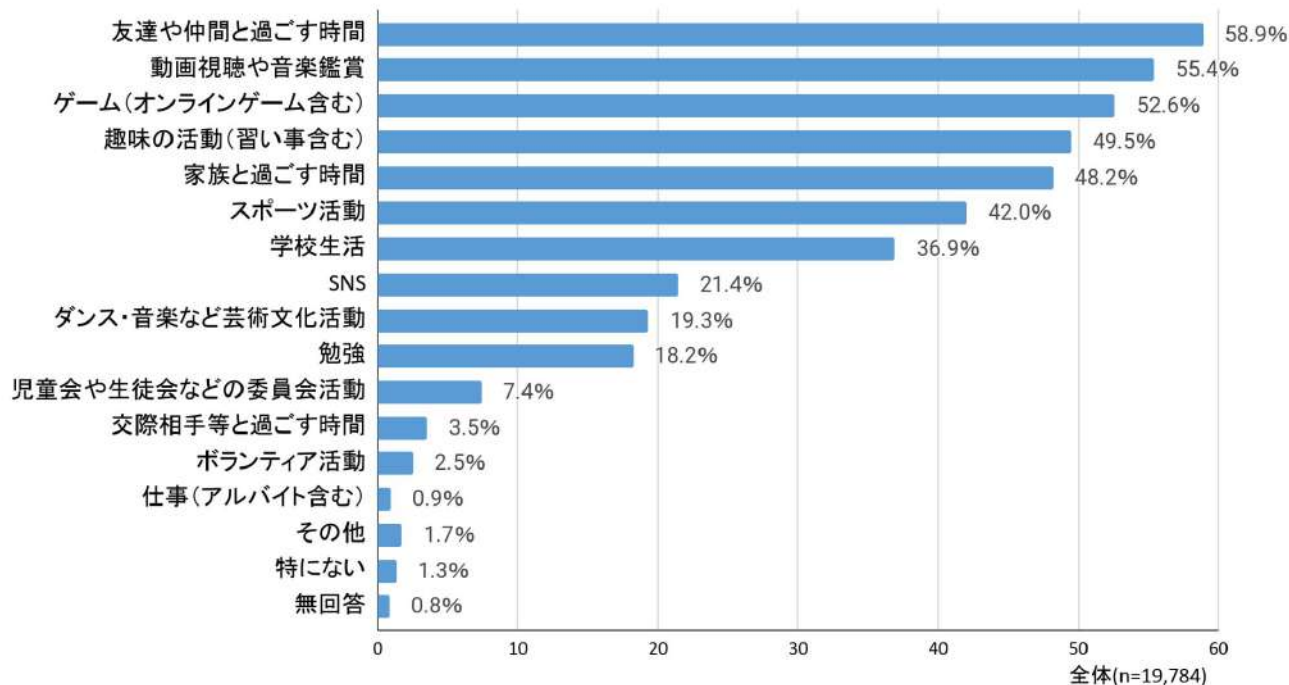
安心していられる居場所については、「自分の部屋」が77.5%と最も多く、次いで「家族で過ごす部屋(リビングなど)」が56.8%、「ひとりにになれる場所(お風呂・トイレなど)」が47.5%となっている。

【その他の回答】

その他の意見	回答数
自然・公園	26
家族や友達と過ごす時間	21
公共施設	16
お店・商業施設	15
部活・習い事等	11
ゲーム・インターネット	11
デイサービスやフリースクール	11
寝室・ベッド・布団	11
誰もいない空間	8
地元	4

【全体】

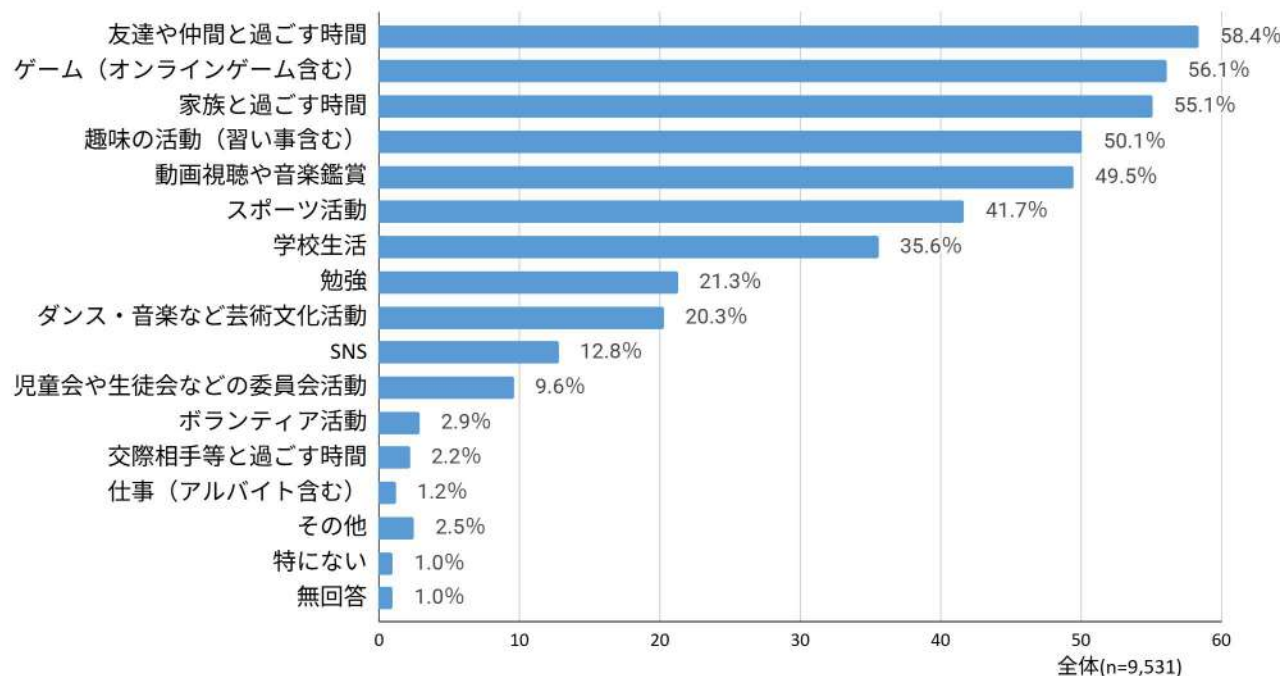
問4 夢中になれること、充実していると感じること(複数回答)



夢中になれることについては、「友達や仲間と過ごす時間」が58.9%と最も多く、次いで「動画視聴や音楽鑑賞」が55.4%、「ゲーム(オンラインゲーム含む)」52.6%となっている。

【小学生】

問4 夢中になれること、充実していると感じること(複数回答)



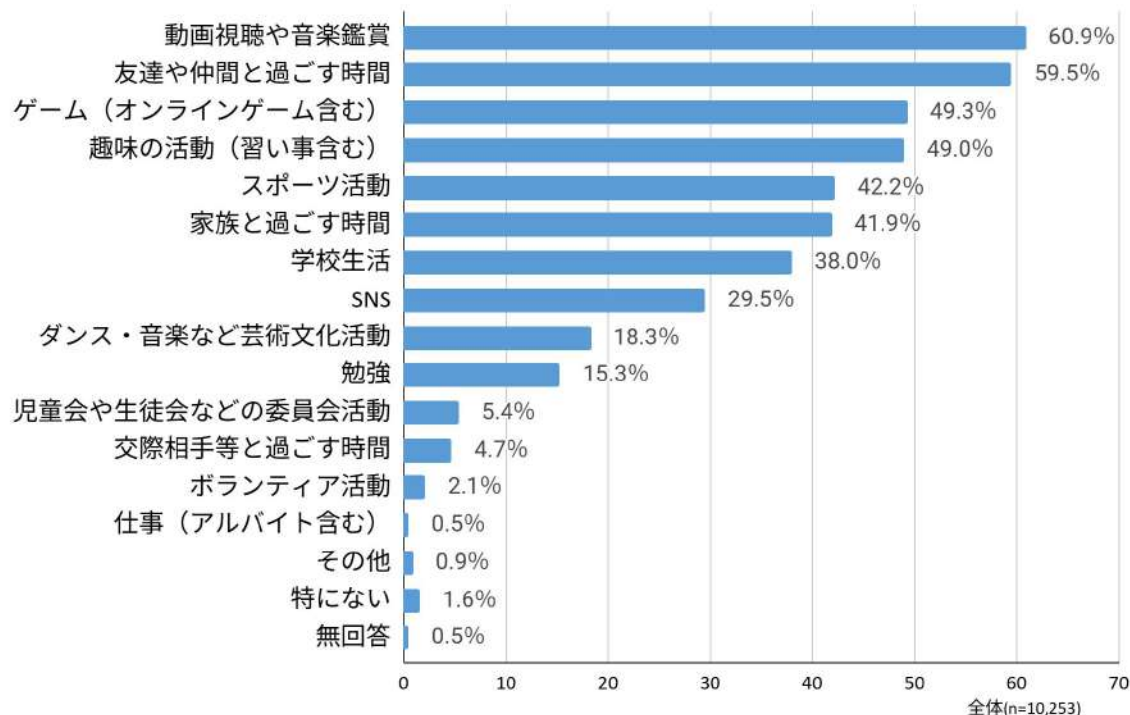
夢中になれることについては、「友達や仲間と過ごす時間」が58.4%と最も多く、次いで「ゲーム(オンラインゲーム含む)」が56.1%、「家族と過ごす時間」55.1%となっている。

【その他の回答】

その他の意見	回答数
創作	44
読書	42
プログラミング・ゲーム・動画編集・テレビ	26
推し活	25
スポーツ系	17
学校での時間/勉強	14
家族/友達	13
睡眠	7
ペット	6
アニメ	4
料理を食べる・作る	4
習い事	4
昆虫	3

【中学生以上】

問4 夢中になれること、充実していると感じること(複数回答)



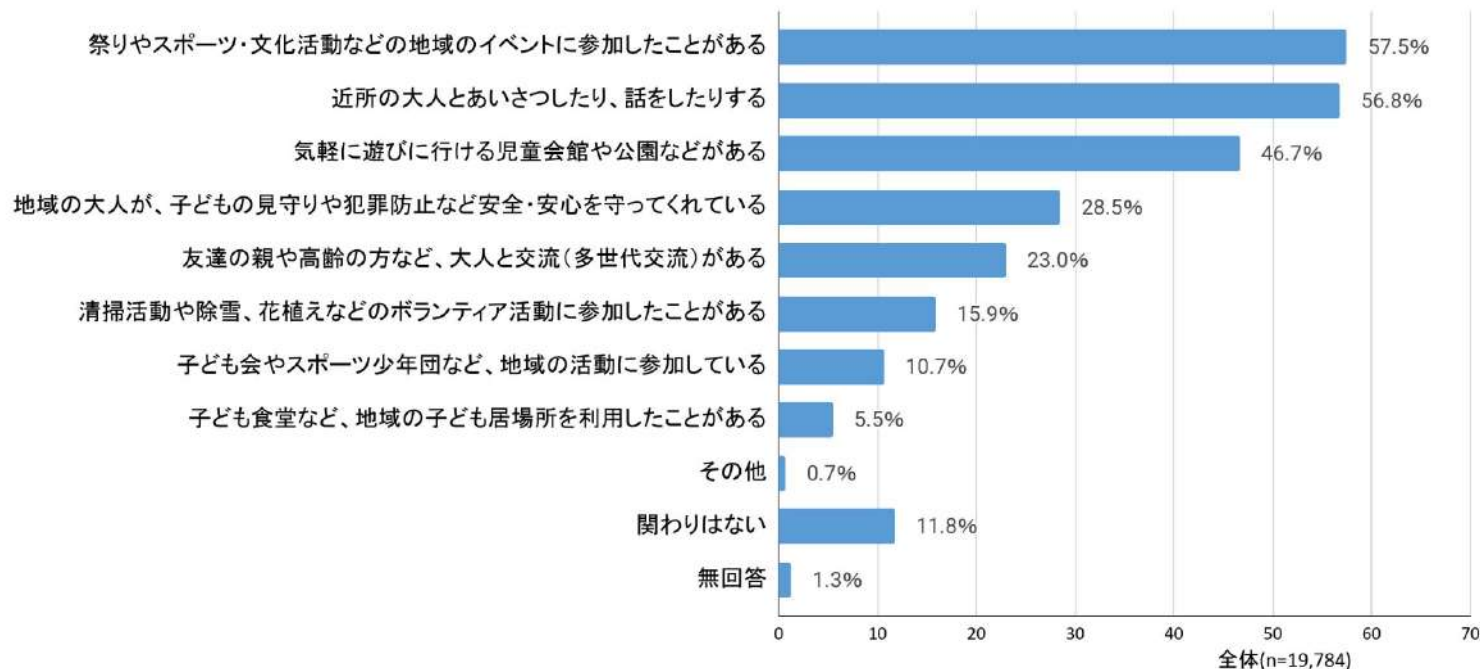
夢中になれることについては、「動画視聴や音楽鑑賞」が60.9%と最も多く、次いで「友達や仲間と過ごす時間」が59.5%、「ゲーム(オンラインゲーム含む)」49.3%となっている。

【その他の回答】

その他の意見	回答数
読書	17
押し活	15
創作	15
プログラミング・ゲーム・動画編集・テレビ	6
スポーツ系	5
部活	3
アニメ	3
ペット	3
学校での時間	2
睡眠	2

【全体】

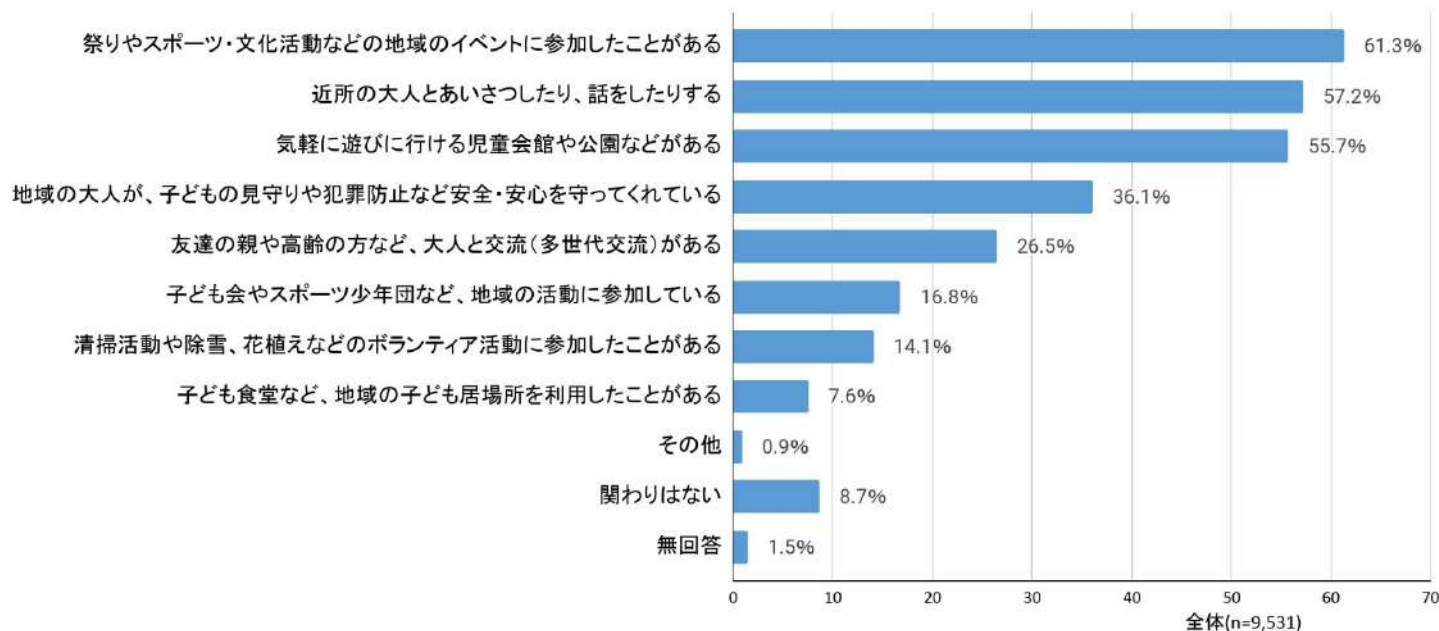
問5 地域の人たちとの関わり(複数回答)



地域の人たちとの関わりについては、「祭りやスポーツ・文化活動などの地域のイベントに参加したことがある」が57.5%と最も多く、次いで「近所の大人とあいさつしたり、話をしたりする」が56.8%、「気軽に遊びに行ける児童会館や公園などがある」が46.7%となっている。

【小学生】

問5 地域の人たちとの関わり(複数回答)



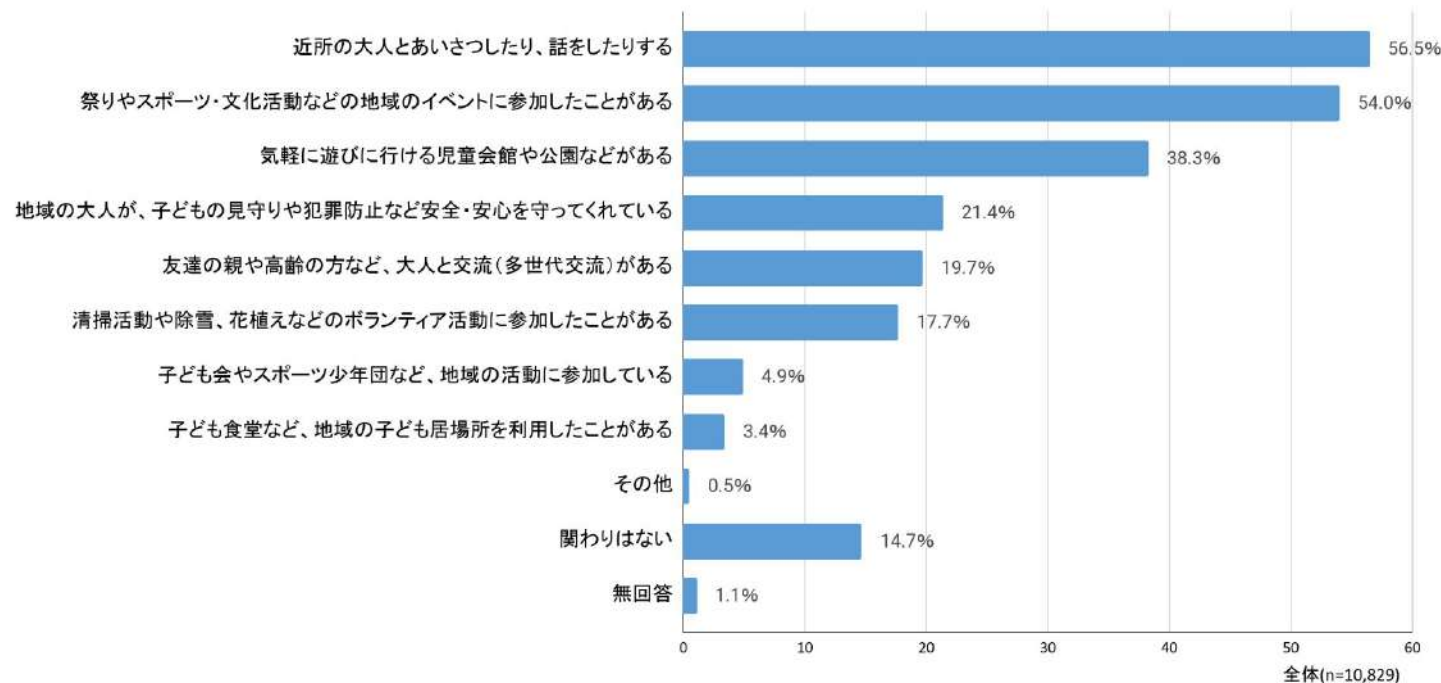
地域の人たちとの関わりについては、「祭りやスポーツ・文化活動などの地域のイベントに参加したことがある」が61.3%と最も多く、次いで「近所の大人とあいさつしたり、話をしたりする」が57.2%、「気軽に遊びに行ける児童会館や公園などがある」が55.7%となっている。

【その他の回答】

その他の意見	回答数
家族・知人	18
挨拶	13
学校・習い事	10
地域行事	9

【中学生以上】

問5 地域の人たちとの関わり(複数回答)



地域の人たちとの関わりについては、「近所の大人とあいさつしたり、話をしたりする」が56.5%と最も多く、次いで「祭りやスポーツ・文化活動などの地域のイベントに参加したことがある」が54.0%、「気軽に遊びに行ける児童会館や公園などがある」が38.3%となっている。

【その他の回答】

その他の意見	回答数
挨拶	9
家族・知人	5
学校・習い事関係	6
地域行事	7

【全体】

問6 札幌市での、子どもを対象とした参加の取組や環境(単一回答)

n=19,784

	十分に ある (a)	少し ある (b)	十分 でない	特 に 必要 ない	わ か ら ない	無 回 答	(再 掲) (a + b) あ る
自然と触れ合う体験	31.1%	39.3%	9.2%	3.5%	12.7%	4.1%	70.4%
文化・芸術に触れる機会	25.6%	36.7%	13.9%	5.7%	13.8%	4.3%	62.3%
スポーツをしたり、観戦したりする機会	44.8%	27.6%	9.6%	4.6%	9.2%	4.2%	72.4%
地域の行事・イベントに参加する機会	35.6%	35.6%	9.8%	5.8%	8.8%	4.4%	71.2%
職業体験や社会のしくみを学ぶ体験	22.5%	34.6%	18.2%	5.3%	14.5%	4.9%	57.1%
まちづくりやボランティア活動に参加する 機会(ゴミ拾いや除雪など)	22.1%	32.2%	18.1%	7.6%	15.1%	4.8%	54.4%
地域や近所とのつながり	27.6%	36.7%	13.0%	5.7%	12.2%	4.8%	64.3%
家庭や学校以外で気軽に過ごせる地域の 居場所	39.0%	27.2%	11.4%	5.0%	12.6%	4.7%	66.3%

札幌市で、子どもを対象とした参加の取組や環境については、いずれの項目でも、ある(「十分に
ある」「少しある」の合計)が最も多くなっている。「職業体験や社会のしくみを学ぶ体験」、「ま
ちづくりやボランティア活動に参加する機会」は他の項目よりも「十分でない」の割合が高くなっ
ている。

【小学生】

問6 札幌市での、子どもを対象とした参加の取組や環境(単一回答)

n=9,531

	十分にある (a)	少しある (b)	十分でない	特に必要ない	わからない	無回答	(a+b) (再掲) あり
自然と触れ合う体験	37.4%	38.2%	6.4%	3.0%	10.7%	4.3%	75.6%
文化・芸術に触れる機会	27.2%	37.7%	12.7%	4.9%	12.7%	4.7%	64.9%
スポーツをしたり、観戦したりする機会	46.5%	26.4%	8.9%	4.9%	8.8%	4.4%	72.9%
地域の行事・イベントに参加する機会	39.7%	35.0%	8.6%	4.9%	7.3%	4.5%	74.7%
職業体験や社会のしくみを学ぶ体験	24.0%	35.0%	17.4%	5.0%	13.4%	5.2%	59.0%
まちづくりやボランティア活動に参加する機会(ゴミ拾いや除雪など)	18.4%	30.5%	21.5%	8.2%	16.3%	5.2%	48.9%
地域や近所とのつながり	33.0%	35.4%	10.7%	4.8%	11.0%	5.1%	68.4%
家庭や学校以外で気軽に過ごせる地域の居場所	45.1%	26.5%	8.8%	3.8%	10.7%	5.0%	71.6%

札幌市で、子どもを対象とした参加の取組や環境については、ほとんどの項目で、ある(「十分にある」「少しある」の合計)が最も多くなっている。「まちづくりやボランティア活動に参加する機会」では、「十分でない」が21.5%と割合が高くなっている。

【中学生以上】

問6 札幌市での、子どもを対象とした参加の取組や環境(単一回答)

n=10,253

	十分にある (a)	少しある (b)	十分でない	特に必要ない	わからない	無回答	(再掲) (a + b) ある
自然と触れ合う体験	25.2%	40.4%	11.8%	4.1%	14.7%	3.9%	65.6%
文化・芸術に触れる機会	24.0%	35.8%	14.9%	6.5%	14.8%	4.0%	59.8%
スポーツをしたり、観戦したりする機会	43.3%	28.7%	10.2%	4.4%	9.5%	4.0%	71.9%
地域の行事・イベントに参加する機会	43.3%	28.7%	10.2%	4.4%	9.5%	4.0%	71.9%
職業体験や社会のしくみを学ぶ体験	21.0%	34.3%	19.0%	5.6%	15.5%	4.6%	55.3%
まちづくりやボランティア活動に参加する機会(ゴミ拾いや除雪など)	25.6%	33.8%	15.0%	7.1%	14.1%	4.4%	59.5%
地域や近所とのつながり	22.6%	37.9%	15.2%	6.6%	13.3%	4.4%	60.5%
家庭や学校以外で気軽に過ごせる地域の居場所	33.3%	28.0%	13.8%	6.2%	14.3%	4.4%	61.3%

札幌市で、子どもを対象とした参加の取組や環境については、いずれの項目でも、ある(「十分にある」「少しある」の合計)が最も多くなっている。「職業体験や社会のしくみを学ぶ体験」では、「十分でない」が19.0%と他の項目よりも割合が高くなっている。

【全体】

問7 自分の考えや思いがあるときにそれを伝える機会(単一回答)

n=19,784

	十分にある (a)	少しある (b)	機会はない	特に言いたい ことはない	わからない	無回答	(再掲) (a + b) ある
家庭で大事な物事やルールについて	44.1%	31.0%	6.1%	10.6%	4.4%	3.9%	75.0%
学校の校則などの決まりごとについて	40.1%	25.6%	9.6%	14.6%	5.9%	4.2%	65.6%
学校行事やイベントなどの企画や運営について	35.6%	29.5%	8.3%	14.2%	7.9%	4.5%	65.1%
地域で行われている行事などの取組について	16.8%	28.0%	17.4%	18.5%	14.2%	5.1%	44.8%
部活動や子ども会など、放課後や休日に参加する活動について	28.7%	22.9%	14.0%	16.3%	13.0%	5.1%	51.6%
札幌市のまちづくりなど、札幌市政について	13.8%	18.5%	18.7%	18.9%	24.6%	5.5%	32.3%

自分の考えや思いがあるときそれを伝える機会があるかについては、家庭や学校などの身近な事柄に関してはある(「十分にある」「少しある」の合計)が多くなっている。一方地域行事や市政など直接的な関りがないことに関しては「特に言いたいことはない」の割合が高くなっている。

【小学生】

問7 自分の考えや思いがあるときにそれを伝える機会(単一回答)

n=9,531

	十分にある (a)	少しある (b)	機会はない	特に言いたい ことはない	わからない	無回答	(a + b) (得点) ある
家庭で大事な物事やルールについて	44.3%	31.2%	5.6%	9.5%	5.3%	4.0%	75.5%
学校の校則などの決まりごとについて	42.3%	25.7%	7.4%	12.8%	7.4%	4.4%	68.0%
学校行事やイベントなどの企画や運営について	34.0%	30.0%	8.5%	12.2%	10.5%	4.8%	64.0%
地域で行われている行事などの取組について	18.9%	30.7%	15.1%	14.6%	15.2%	5.4%	49.6%
部活動や子ども会など、放課後や休日に参加する活動について	19.9%	25.4%	17.6%	14.4%	17.2%	5.5%	45.3%
札幌市のまちづくりなど、札幌市政について	17.7%	20.6%	16.1%	15.3%	24.5%	5.9%	38.3%

自分の考えや思いがあるときそれを伝える機会があるかについては、家庭や学校などの身近な事柄に関してはある(「十分にある」「少しある」の合計)が多くなっている。市政に関しては「わからない」の割合が最も高くなっている。

【中学生以上】

問7 自分の考えや思いがあるときにそれを伝える機会(単一回答)

n=10,253

	十分にある (a)	少しある (b)	機会はない	特に言いたい ことはない	わからない	無回答	(再掲) (a + b) ある
家庭で大事な物事やルールについて	43.8%	30.7%	6.5%	11.6%	3.5%	3.8%	74.6%
学校の校則などの決まりごとについて	38.0%	25.4%	11.8%	16.2%	4.6%	4.1%	63.4%
学校行事やイベントなどの企画や運営について	37.1%	29.1%	8.0%	16.1%	5.4%	4.3%	66.1%
地域で行われている行事などの取組について	14.9%	25.4%	19.5%	22.1%	13.4%	4.7%	40.3%
部活動や子ども会など、放課後や休日に参加する活動について	36.9%	20.6%	10.6%	18.1%	9.1%	4.7%	57.4%
札幌市のまちづくりなど、札幌市政について	10.3%	16.5%	21.2%	22.3%	24.7%	5.1%	26.8%

自分の考えや思いがあるときそれを伝える機会があるかについては、家庭や学校などの身近な事柄に関してはある(「十分にある」「少しある」の合計)が多くなっている。市政に関しては「わからない」の割合が最も高くなっている。

【全体】

問8(1) 自分自身のことについて(単一回答)

n=19,784

	そう 思う (a)	ど ち ら か と い え ば (b)	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答	(再掲) (a + b) 思う
ア 毎日が充実している	51.3%	32.0%	6.5%	3.6%	3.6%	3.0%	83.3%
イ 自分のことを理解してくれる人がある	56.8%	25.5%	5.4%	3.5%	5.5%	3.2%	82.3%
ウ 今の自分のことが好きだ	27.6%	30.0%	13.1%	13.3%	12.6%	3.4%	57.6%
エ 自分という存在を大切に思える	39.7%	29.6%	8.6%	7.6%	11.1%	3.4%	69.3%

自分自身のことについては、いずれの項目でも思う(「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の合計)が最も高くなっている。

【小学生】

問8(1) 自分自身のことについて(単一回答)

n=9,531

	そう 思う (a)	ど ち ら か と い え ば (b)	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答	(再掲) (a + b) 思う
ア 毎日が充実している	54.6%	29.5%	5.7%	3.6%	3.5%	3.1%	84.1%
イ 自分のことを理解してくれる人がある	61.6%	22.2%	4.8%	3.1%	5.0%	3.3%	83.8%
ウ 今の自分のことが好きだ	30.8%	28.8%	11.8%	12.9%	12.2%	3.6%	59.6%
エ 自分という存在を大切に思える	44.5%	27.6%	7.1%	7.0%	10.3%	3.5%	72.1%

自分自身のことについては、いずれの項目でも思う(「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の合計)が最も高くなっている。

【中学生以上】

問8(1) 自分自身のことについて(単一回答)

n=10,253

	そう 思う (a)	ど ち ら か と い え ば そう 思う (b)	ど ち ら か と い え ば そう 思 わ ない	そう 思 わ ない	わ か ら ない	無 回 答	(再 掲) (a + b) 思 う
ア 毎日が充実している	48.1%	34.4%	7.2%	3.6%	3.7%	3.0%	82.5%
イ 自分を理解してくれる人がある	52.5%	28.6%	5.9%	3.8%	6.1%	3.1%	81.0%
ウ 今の自分のことが好きだ	24.6%	31.1%	14.2%	13.8%	13.0%	3.3%	55.7%
エ 自分という存在を大切に思える	35.2%	31.4%	10.1%	8.2%	11.7%	3.4%	66.6%

自分自身のことについては、いずれの項目でも思う(「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の合計)が最も高くなっている。

【全体】

問8(1) 自分自身のことについて(単一回答) オ 自分にはさまざまな可能性があると思う

(n=19,784)

無回答

3.7%

わからない

19.0%

そう思わない

6.8%

どちらかといえばそう思わない

8.1%

そう思う

33.2%

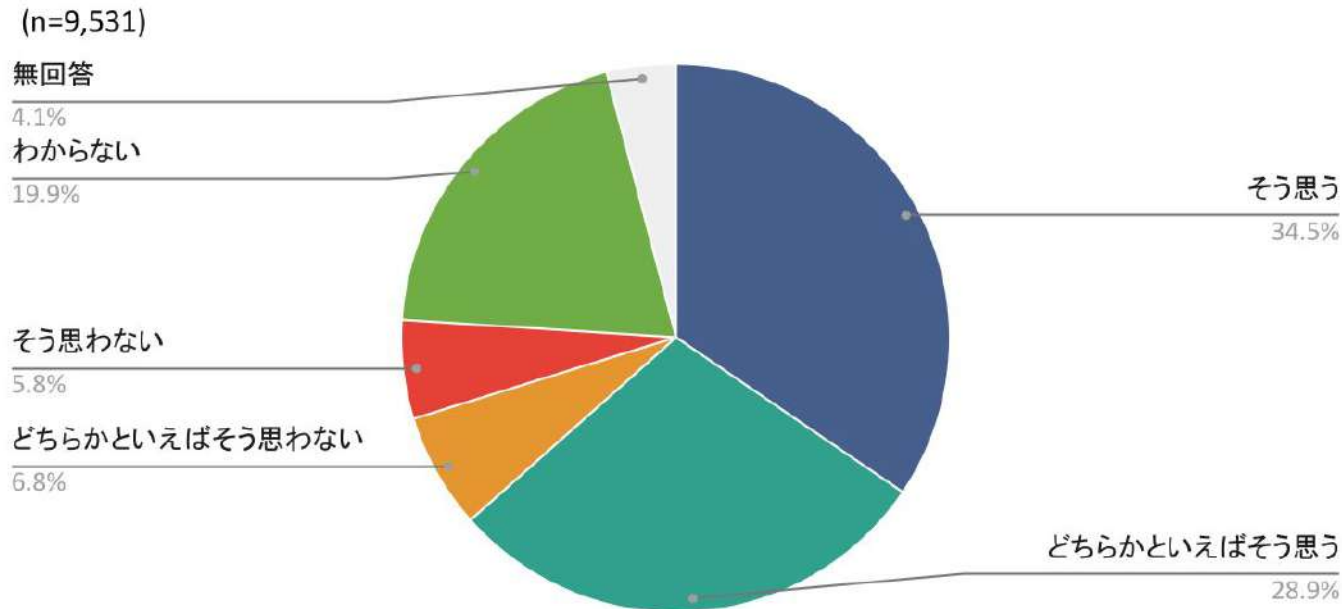
どちらかといえばそう思う

29.2%

自分にはさまざまな可能性があると思うと回答した割合(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計)は、62.4%となっている。

【小学生】

問8(1) 自分自身のことについて(単一回答)
オ 自分にはさまざまな可能性があると思う



自分にはさまざまな可能性があると思うと回答した割合(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計)は、63.4%となっている。

【中学生以上】

問8(1) 自分自身のことについて(単一回答)

オ 自分にはさまざまな可能性があると思う

(n=10,253)

無回答

3.4%

わからない

18.2%

そう思わない

7.7%

どちらかといえばそう思わない

9.3%

そう思う

32.0%

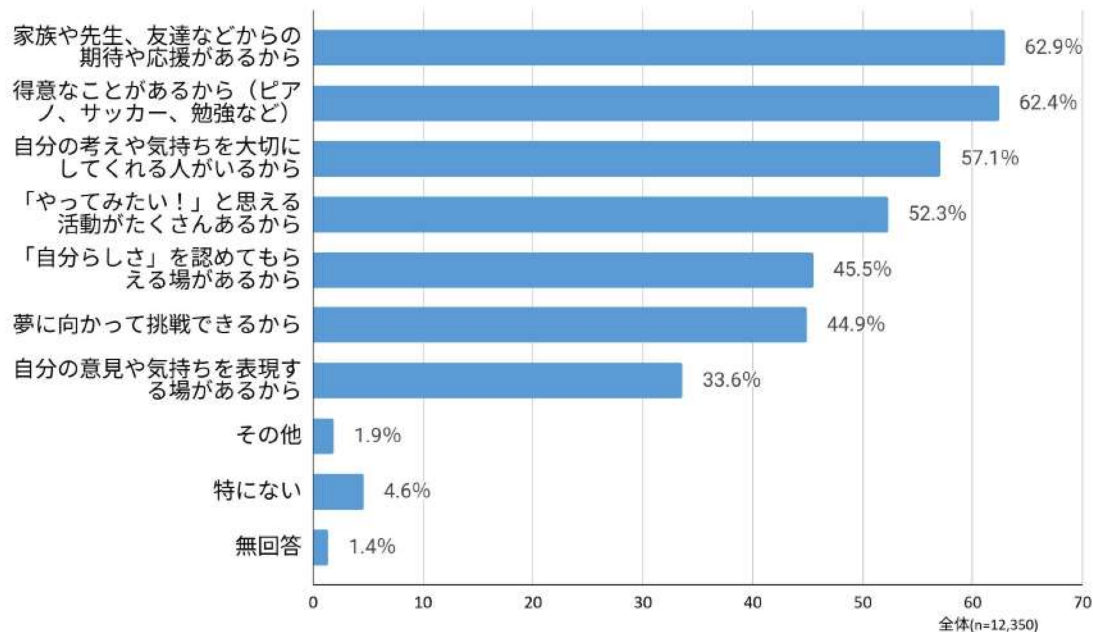
どちらかといえばそう思う

29.5%

自分にはさまざまな可能性があると思うと回答した割合(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計)は、61.5%となっている。

【全体】

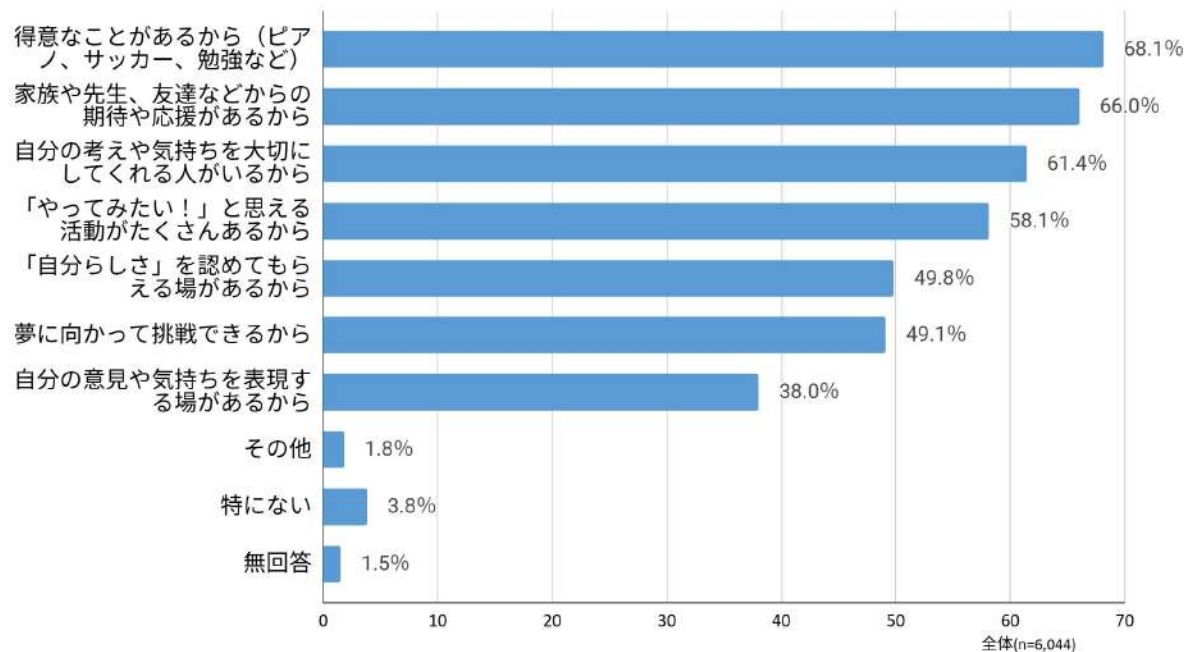
問8(2) (1)のオ「自分にはさまざまな可能性があると思う」の質問で「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を選んだ理由(複数回答)



理由については、「家族や先生、友達などからの期待や応援があるから」が62.9%と最も多く、次いで「得意なことがあるから(ピアノ、サッカー、勉強など)」が62.4%、「自分の考えや気持ちを大切にしてくれる人があるから」が57.1%となっている。

【小学生】

問8(2) (1)のオ「自分にはさまざまな可能性があると思う」の質問で「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を選んだ理由(複数回答)



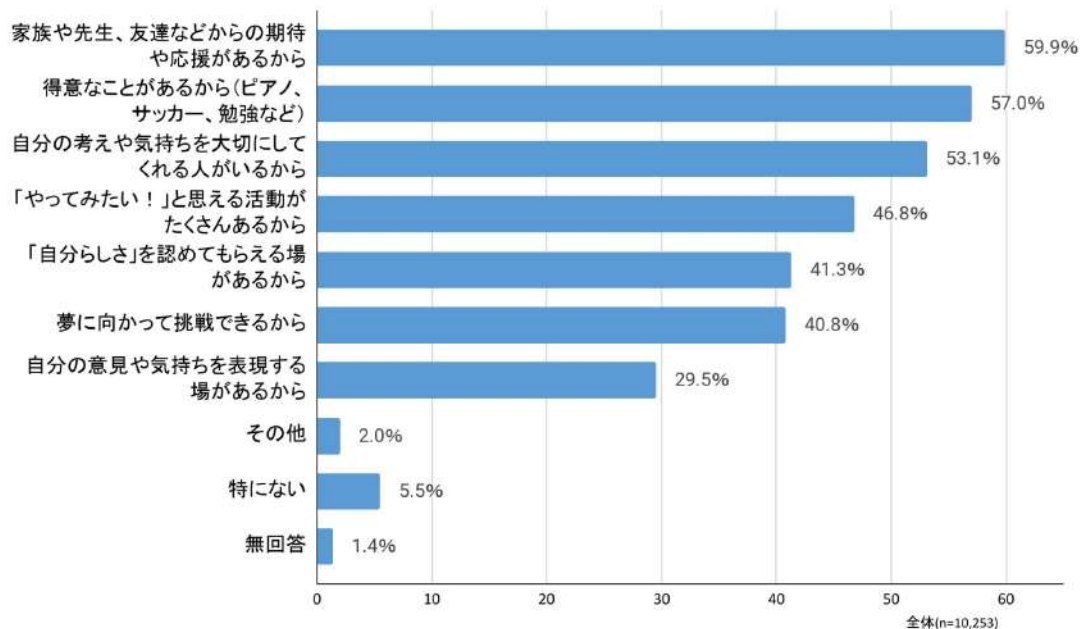
理由については、「得意なことがあるから(ピアノ、サッカー、勉強など)」が68.1%と最も多く、次いで「家族や先生、友達などからの期待や応援があるから」が66.0%、「自分の考えや気持ちを大切にしてくれる人がいるから」が61.4%となっている。

【その他の回答】

その他の意見	回答数
自己肯定感・自信	26
未来・可能性	19
周囲の支え	14
努力・挑戦	11
趣味・好きなこと	9
目標・夢	7

【中学生以上】

問8(2) (1)のオ「自分にはさまざまな可能性があると思う」の質問で「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を選んだ理由(複数回答)



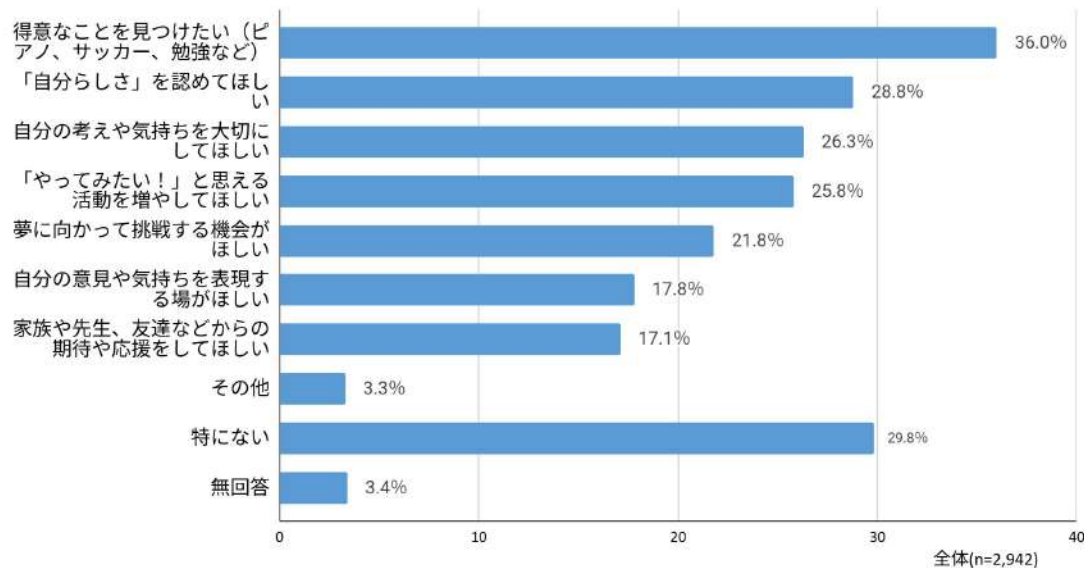
理由については、「家族や先生、友達などからの期待や応援があるから」が59.9%と最も多く、次いで「得意なことがあるから(ピアノ、サッカー、勉強など)」が57.0%、「自分の考えや気持ちを大切にしてくれる人があるから」が53.1%となっている。

【その他の回答】

その他の意見	回答数
自己肯定・自信	45
努力・継続力	17
年齢・時間の余裕	15
目標・夢	8
周囲の支え	5
趣味・好きなこと	4
個性・強み	3

【全体】

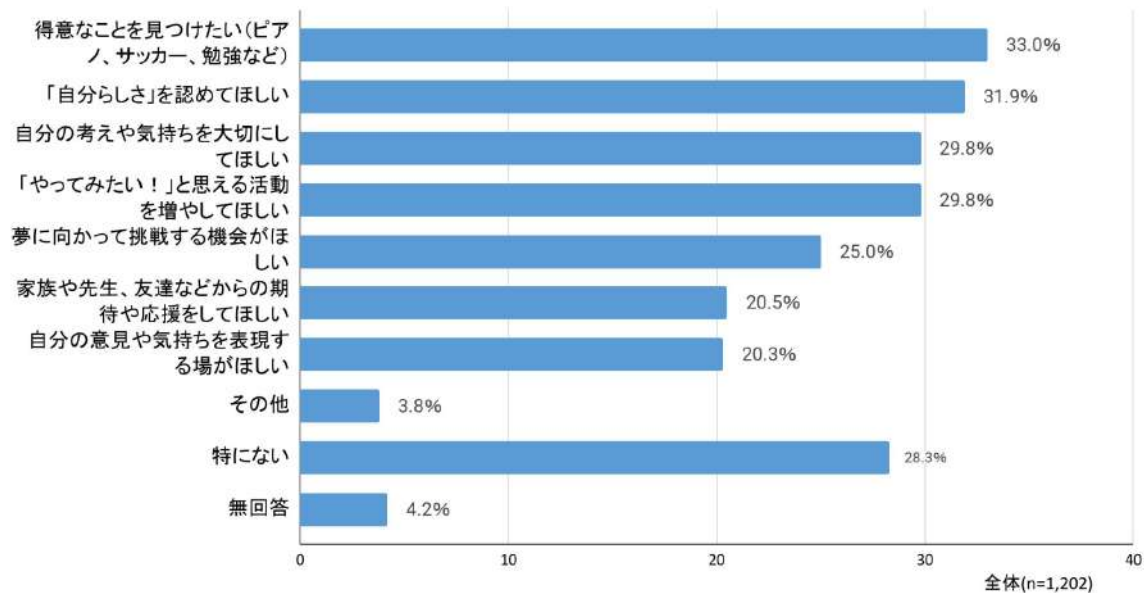
問8(3) (1)のオ「自分にはさまざまな可能性があると思う」の質問で「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」を選んだ方。可能性を広げていくための取組やサポートについて(複数回答)



可能性を広げる取組やサポートについては、「得意なことを見つけない(ピアノ、サッカー、勉強など)」が36.0%と最も多く、次いで「自分らしさ」を認めてほしい」が28.8%、「自分の考えや気持ちを大切にしたい」が26.3%となっている。

【小学生】

問8(3) (1)のオ「自分にはさまざまな可能性があると思う」の質問で「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」を選んだ方。可能性を広げていくための取組やサポートについて(複数回答)



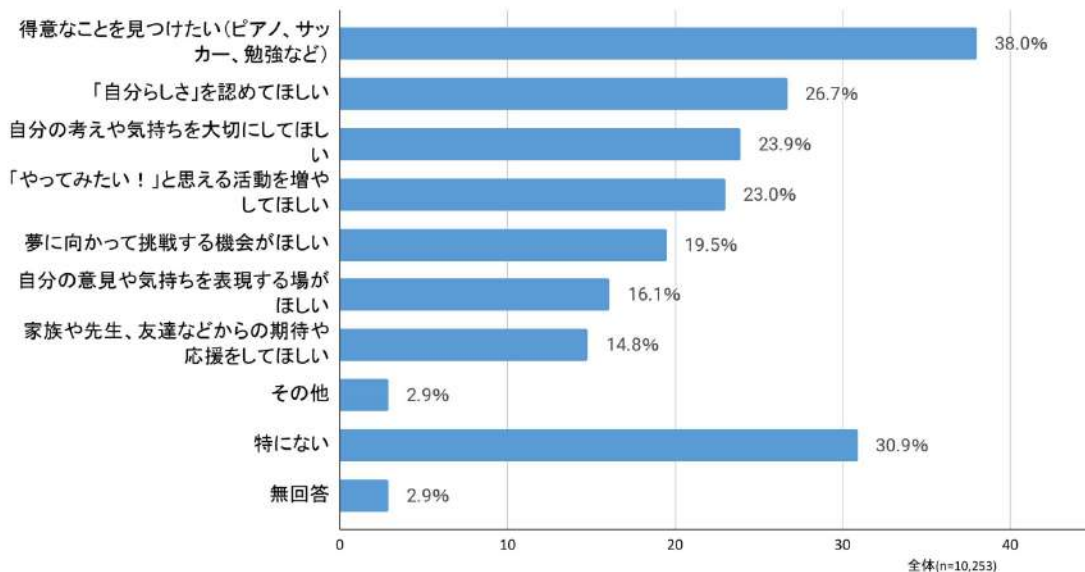
可能性を広げる取組やサポートについては、「得意なことを見つけない(ピアノ、サッカー、勉強など)」が33.0%と最も多く、次いで「自分らしさ」を認めてほしい」が31.9%、「自分の考えや気持ちを大切にしたい」が29.8%となっている。

【その他の回答】

その他の意見	回答数
自己否定・自信不足	11
自己実現・自分らしさ	9
理解・尊重してほしい	6
社会への要望	5

【中学生以上】

問8(3) (1)のオ「自分にはさまざまな可能性があると思う」の質問で「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」を選んだ方。可能性を広げていくための取組やサポートについて(複数回答)



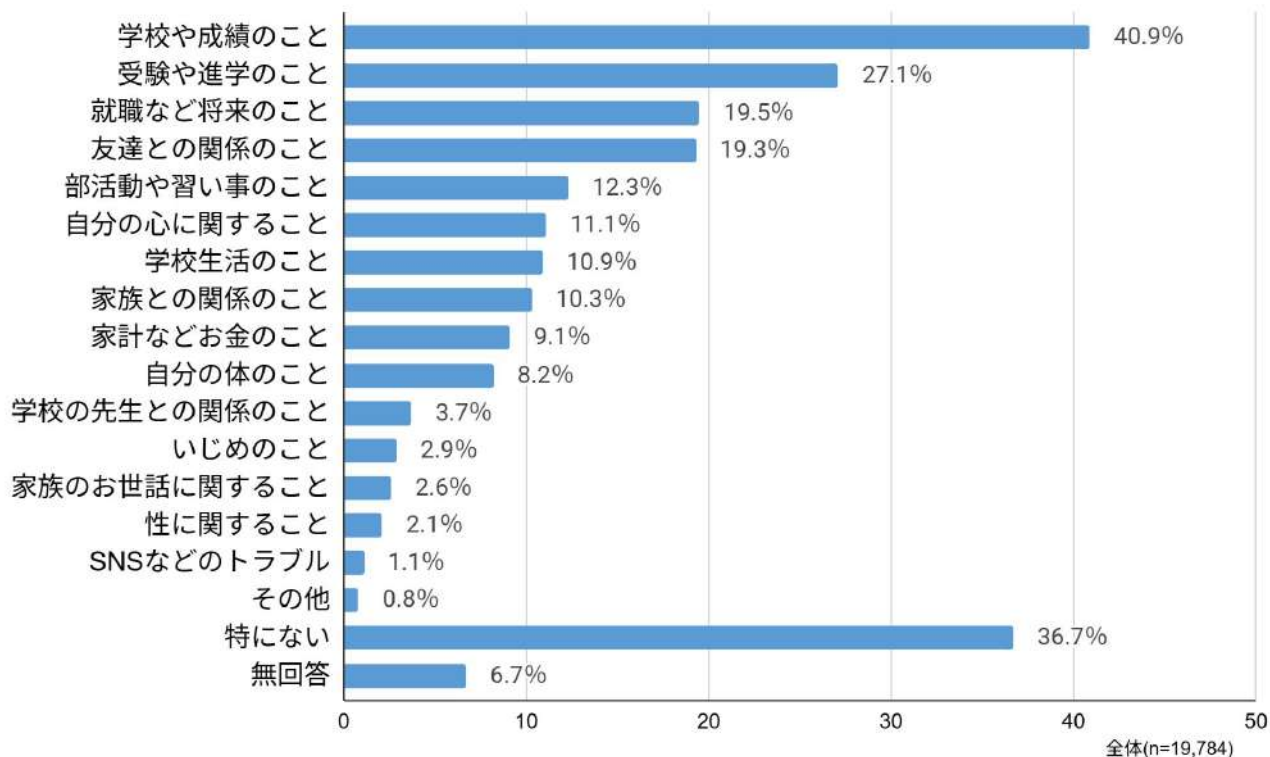
可能性を広げる取組やサポートについては、「得意なことを見つけたい(ピアノ、サッカー、勉強など)」が38.0%と最も多く、次いで「自分らしさ」を認めてほしい」が26.7%、「自分の考えや気持ちを大切にしてほしい」が23.9%となっている。

【その他の回答】

その他の意見	回答数
自己否定・自信不足	12
何もしてほしくない	9
理解・尊重してほしい	8
環境整備	4
学校・学習面でのサポート	3
対人関係	3

【全体】

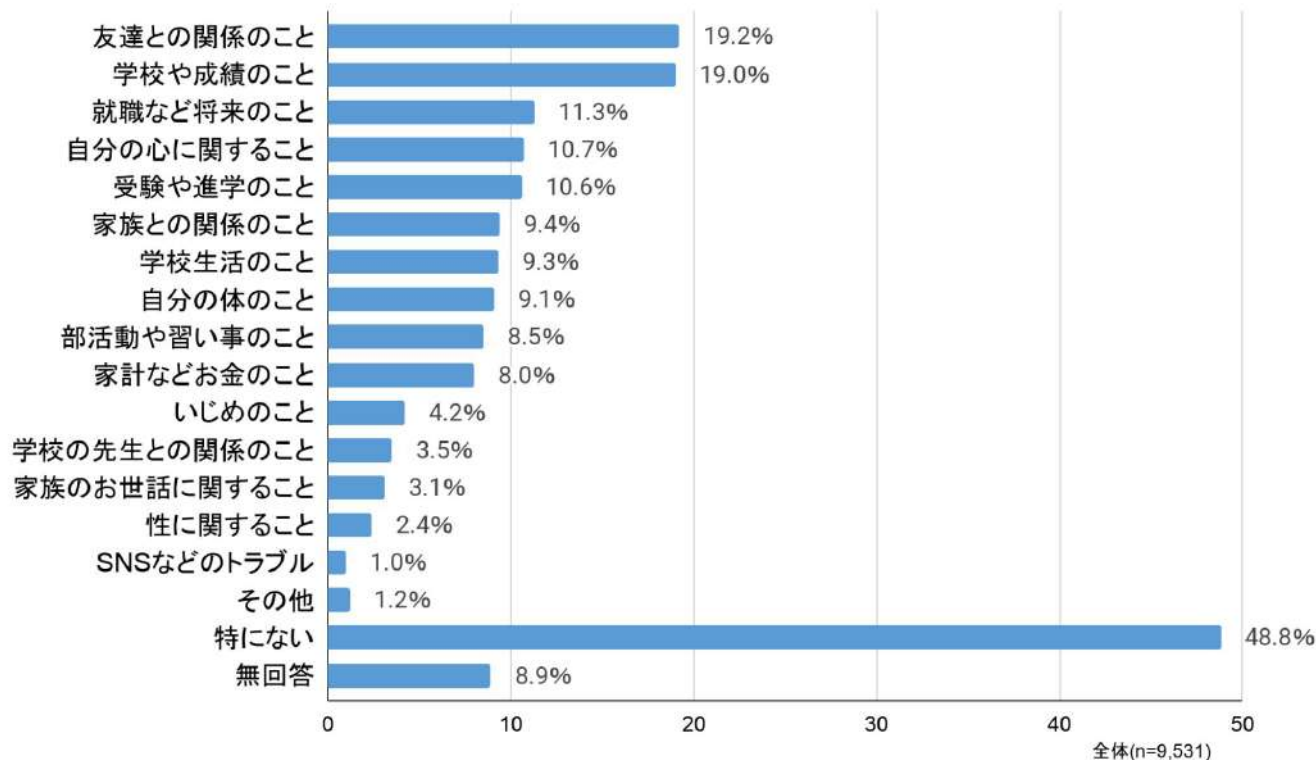
問9 今の悩みや困りごと(複数回答)



今の悩みや困りごとについては、「学校や成績のこと」が40.9%と最も多く、次いで「受験や進学のこと」が27.1%、「就職など将来のこと」が19.5%となっている。

【小学生】

問9 今の悩みや困りごと(複数回答)



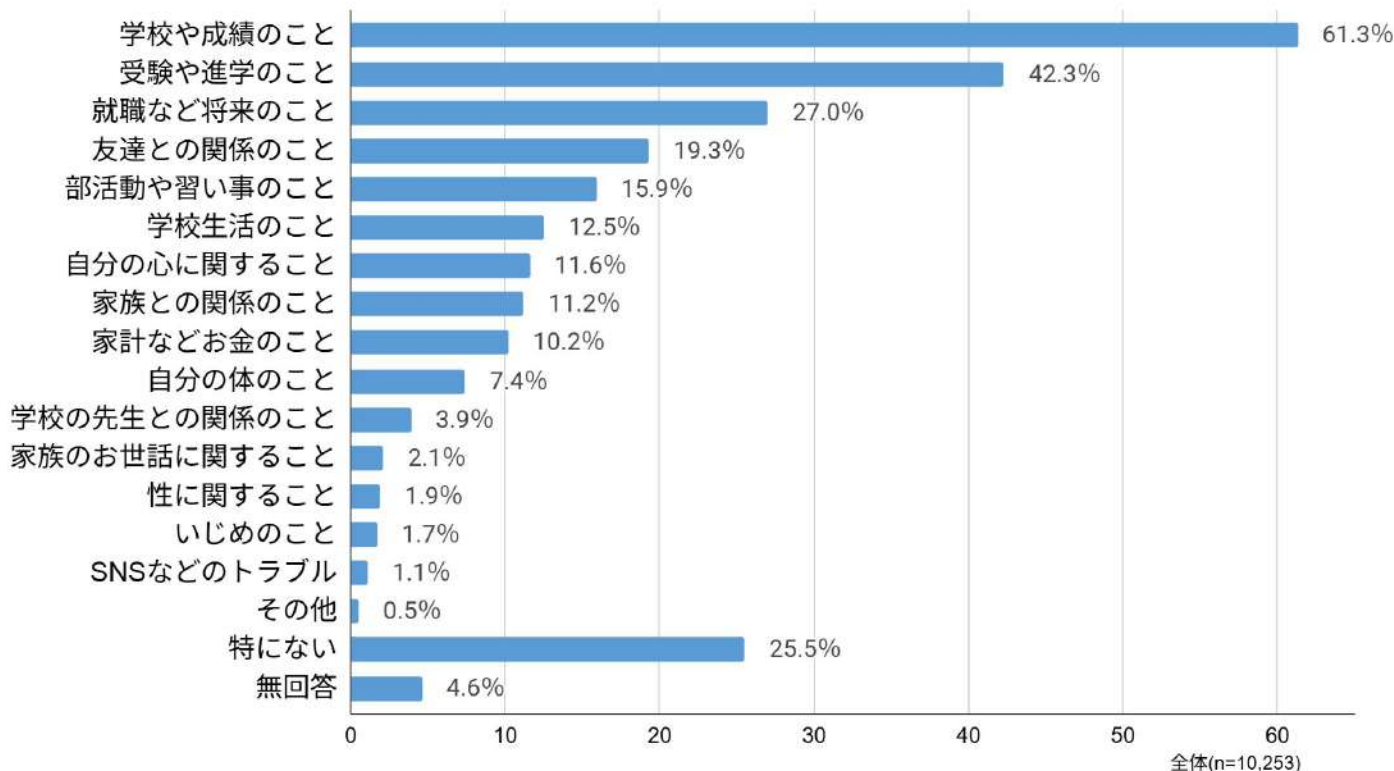
今の悩みや困りごとについては、「特にない」が48.8%と最も多く、次いで「友達との関係のこと」が19.2%、「学校や成績のこと」が19.0%となっている。

【その他の回答】

その他の意見	回答数
いじめ・悪口	15
自己肯定感・外見	13
人間関係の悩み	10
学校生活の悩み	8
お金・家庭事情	5
ゲーム・ネット	5
将来・進路	5
家族関係	4
生きる意味・希死念慮	4
差別・偏見	2

【中学生以上】

問9 今の悩みや困りごと(複数回答)



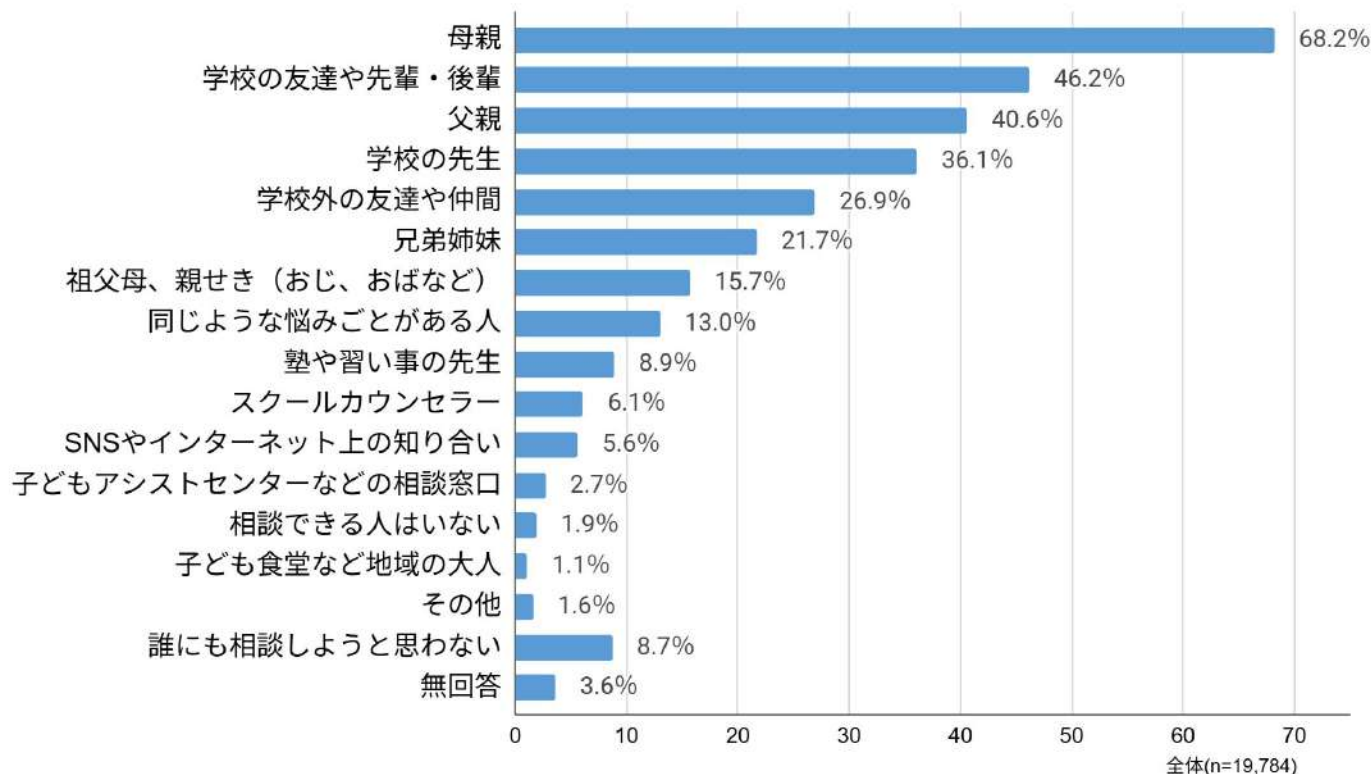
今の悩みや困りごとについては、「学校や成績のこと」が61.3%と最も多く、次いで「受験や進学のこと」が42.3%、「就職など将来のこと」が27.0%となっている。

【その他の回答】

その他の意見	人数
学校生活の悩み	4
人間関係の悩み	4
家族関係	4
将来・進路	3
学習の悩み	3
過去の悩み	2
経済的な悩み	2

【全体】

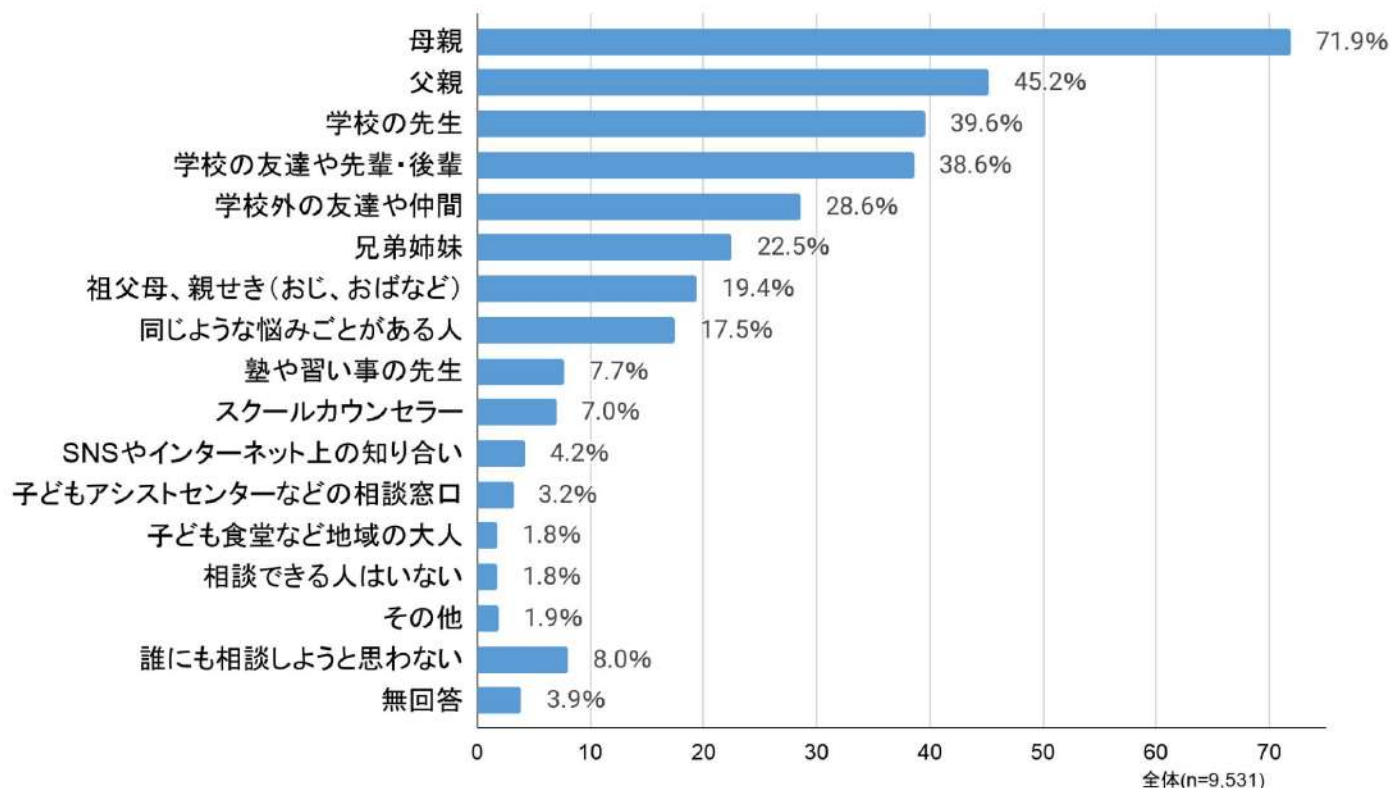
問10 悩みごとの相談先(複数回答)



悩みごとの相談先については、「母親」が68.2%と最も多く、次いで「学校の先輩・後輩」が46.2%、「父親」が40.6%となっている。

【小学生】

問10 悩みごとの相談先(複数回答)



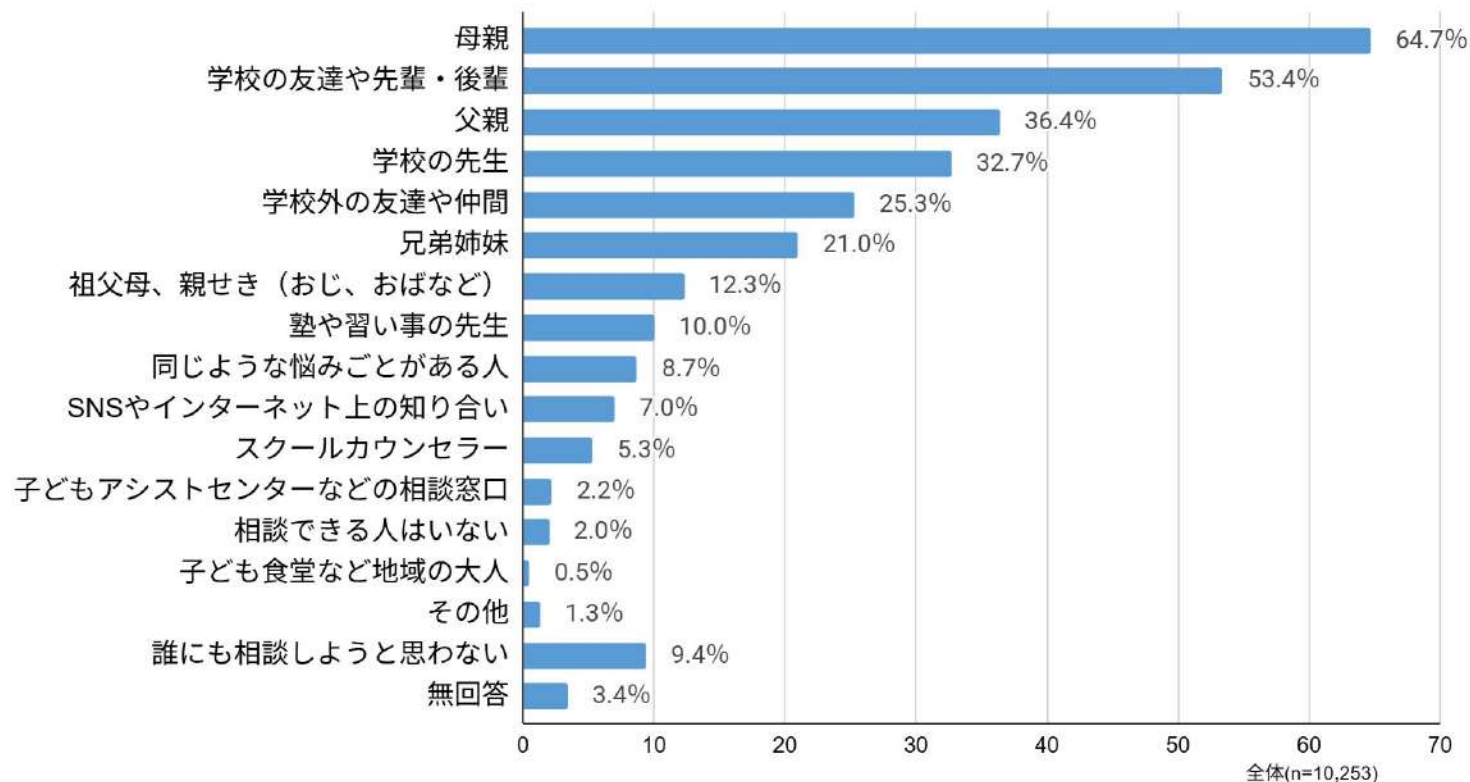
悩みごとの相談先については、「母親」が71.9%と最も多く、次いで「父親」が45.2%、「学校の先生」が39.6%となっている。

【その他の回答】

その他の意見	回答数
友達	33
学校・支援機関の先生	32
家族	20
相談しない・言いづらい	20
AI	15
ペット・ぬいぐるみ	11
自分	8
状況による	8
悩みがない	8

【中学生以上】

問10 悩みごとの相談先(複数回答)



悩みごとの相談先については、「母親」が64.7%と最も多く、次いで「学校の友達や先輩・後輩」が53.4%、「父親」が36.4%となっている。

【その他の回答】

その他の意見	回答数
学校・支援機関の先生・カウンセラー	24
AI	23
相談しない・言いづらい	22
友人・恋人	20
ペット・ぬいぐるみ	5
家族・親族	4

【全体】

問11 相談機関の認知度や利用の有無(単一回答)

n=19,784

	利用したことがある (a)	知っているが 利用したことはない (b)	名前だけ聞いた ことがある (c)	知らない	無回答	(再掲)知っている (a+b+c)
学校のスクールカウンセラー	6.5%	53.0%	22.8%	11.2%	6.5%	82.2%
子どもアシストセンター(札幌市子どもの権利救済機関)	1.0%	23.4%	19.3%	49.1%	7.1%	43.8%
いじめ電話相談(少年相談室)	0.5%	42.9%	27.5%	22.1%	7.1%	70.8%
24時間子供SOSダイヤル	0.5%	39.0%	27.4%	26.0%	7.2%	66.9%
教育相談室(ちありあ・まこまる)	2.6%	21.6%	16.3%	52.3%	7.3%	40.4%
子ども安心ホットライン	0.5%	25.1%	20.6%	46.4%	7.4%	46.2%
児童相談所	1.4%	40.4%	26.9%	24.0%	7.3%	68.7%
親子のための相談LINE(児童相談所)	1.1%	20.7%	16.3%	54.4%	7.6%	38.0%
各区家庭児童相談室(各区保健センター)	0.3%	14.9%	12.3%	64.9%	7.7%	27.5%
児童家庭支援センター	0.2%	16.5%	17.0%	58.4%	7.9%	33.7%
子どもの人権110番(札幌法務局)	0.4%	29.6%	24.7%	37.3%	7.9%	54.8%
子どもの権利110番(札幌弁護士会)	0.3%	24.8%	22.0%	44.9%	8.0%	47.1%
少年相談110番(北海道警察本部少年サポートセンター)	0.3%	20.8%	19.4%	51.7%	7.9%	40.4%
チャイルドラインほっかいどう	0.4%	18.7%	17.7%	55.2%	7.9%	36.8%
札幌市若者支援総合センター(youth+センター)	0.8%	12.1%	10.2%	68.7%	8.1%	23.2%
ヤングケアラー-net	0.2%	14.0%	13.7%	63.8%	8.3%	27.9%

各相談機関の認知度や利用の有無については、利用したことがある人は、「学校のスクールカウンセラー」が6.5%と最も多くなっている。認知度については「知っている」（「利用したことがある」「知っているが利用したことはない」「名前だけ聞いたことがある」の合計）は、「学校のスクールカウンセラー」、「いじめ電話相談（少年相談室）」が7割以上と認知度が高くなっている。

【小学生】

問11 相談機関の認知度や利用の有無(単一回答)

n=9,531

	利用したことがある (a)	知っているが 利用したことはない (b)	名前だけ聞いた ことがある (c)	知らない	無回答	(再掲)知っている (a+b+c)
学校のスクールカウンセラー	6.6%	46.8%	25.0%	14.9%	6.7%	78.4%
子どもアシストセンター(札幌市子どもの権利救済機関)	1.2%	19.4%	17.5%	54.7%	7.3%	38.0%
いじめ電話相談(少年相談室)	0.7%	37.7%	26.7%	27.7%	7.3%	65.1%
24時間子供SOSダイヤル	0.5%	35.2%	26.9%	30.0%	7.3%	62.6%
教育相談室(ちありあ・まこまる)	2.6%	18.2%	14.6%	57.0%	7.5%	35.5%
子ども安心ホットライン	0.6%	20.0%	18.4%	53.3%	7.6%	39.0%
児童相談所	1.2%	30.8%	27.1%	33.4%	7.5%	59.1%
親子のための相談LINE(児童相談所)	1.7%	18.2%	15.1%	57.1%	7.9%	35.0%
各区家庭児童相談室(各区保健センター)	0.4%	11.4%	9.8%	70.4%	8.0%	21.6%
児童家庭支援センター	0.2%	12.6%	13.8%	65.2%	8.2%	26.6%
子どもの人権110番(札幌法務局)	0.7%	26.0%	23.3%	42.0%	8.1%	50.0%
子どもの権利110番(札幌弁護士会)	0.4%	20.2%	19.7%	51.4%	8.3%	40.3%
少年相談110番(北海道警察本部少年サポートセンター)	0.3%	17.2%	17.2%	57.2%	8.1%	34.7%
チャイルドラインほっかいどう	0.4%	15.0%	15.9%	60.5%	8.2%	31.3%
札幌市若者支援総合センター(youth+センター)	0.4%	10.1%	9.6%	71.6%	8.3%	20.1%
ヤングケアラー-net	0.3%	10.6%	10.2%	70.4%	8.6%	21.0%

各相談機関の認知度や利用の有無については、利用したことがある人は、「学校のスクールカウンセラー」が6.6%と最も多くなっている。認知度については「知っている」「利用したことがある」「知っているが利用したことはない」「名前だけ聞いたことがある」の合計)は、「学校のスクールカウンセラー」、「いじめ電話相談(少年相談室)」、「24時間子供SOSダイヤル」が6割以上と認知度が高くなっている。

【中学生以上】

問11 相談機関の認知度や利用の有無(単一回答)

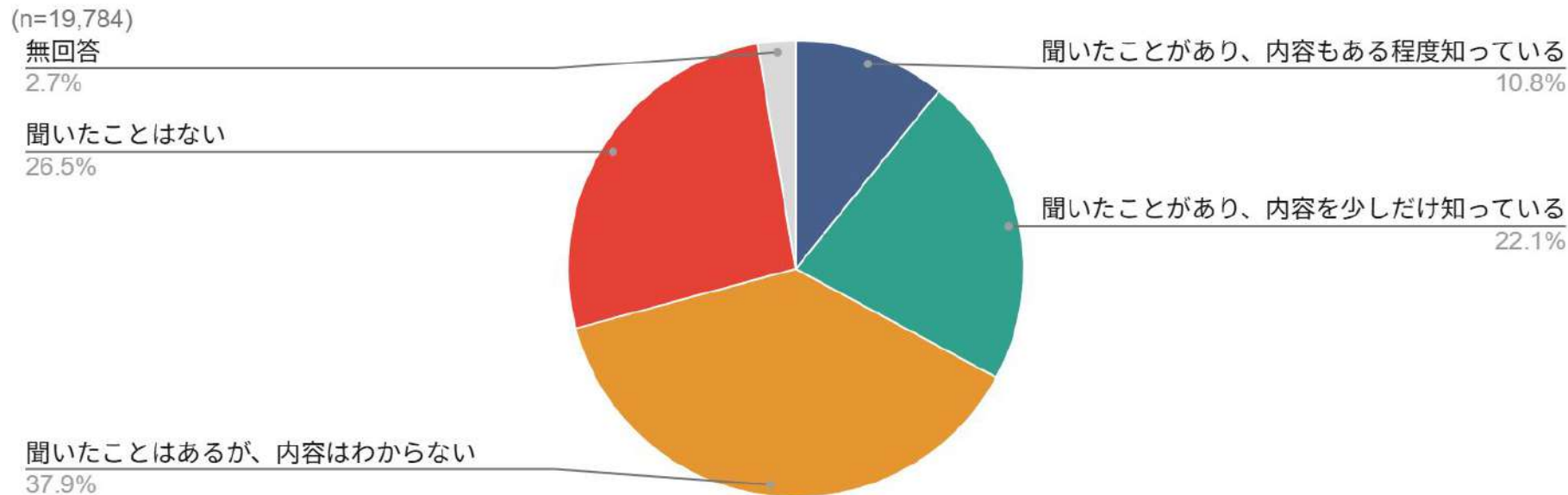
n=10,253

	利用したことがある (a)	知っているが 利用したことはない (b)	名前だけ聞いた ことがある (c)	知らない	無回答	(再掲)知っている (a+b+c)
学校のスクールカウンセラー	6.4%	58.7%	20.7%	7.9%	6.3%	85.8%
子どもアシストセンター(札幌市子どもの権利救済機関)	0.9%	27.2%	21.0%	43.9%	7.0%	49.2%
いじめ電話相談(少年相談室)	0.4%	47.7%	28.1%	16.9%	6.9%	76.2%
24時間子供SOSダイヤル	0.5%	42.5%	27.8%	22.2%	7.0%	70.8%
教育相談室(ちありあ・まこまる)	2.5%	24.7%	17.8%	47.9%	7.1%	45.0%
子ども安心ホットライン	0.4%	29.8%	22.6%	40.0%	7.1%	52.8%
児童相談所	1.6%	49.3%	26.7%	15.3%	7.1%	77.6%
親子のための相談LINE(児童相談所)	0.5%	22.9%	17.4%	51.8%	7.4%	40.8%
各区家庭児童相談室(各区保健センター)	0.2%	18.1%	14.6%	59.7%	7.4%	32.9%
児童家庭支援センター	0.2%	20.1%	19.9%	52.2%	7.6%	40.2%
子どもの人権110番(札幌法務局)	0.2%	33.0%	26.1%	33.0%	7.7%	59.3%
子どもの権利110番(札幌弁護士会)	0.2%	29.0%	24.2%	38.9%	7.7%	53.4%
少年相談110番(北海道警察本部少年サポートセンター)	0.2%	24.1%	21.4%	46.6%	7.6%	45.7%
チャイルドラインほっかいどう	0.4%	22.2%	19.4%	50.3%	7.7%	41.9%
札幌市若者支援総合センター(youth+センター)	1.2%	14.0%	10.8%	66.0%	7.9%	26.0%
ヤングケアラーnet	0.1%	17.1%	17.0%	57.8%	8.0%	34.3%

各相談機関の認知度や利用の有無については、利用したことがある人は、「学校のスクールカウンセラー」が6.4%と最も多くなっている。認知度については「知っている」（「利用したことがある」「知っているが利用したことはない」「名前だけ聞いたことがある」の合計）は、「学校のスクールカウンセラー」、「いじめ電話相談（少年相談室）」、「24時間子供SOSダイヤル」、「児童相談所」が7割以上と認知度が高くなっている。

【全体】

問12 「子どもの権利」の認知度(単一回答)



「子どもの権利」の認知度について、『聞いたことがある』(「聞いたことはない」以外の選択肢の合計)が70.8%となっている。

【小学生】

問12 「子どもの権利」の認知度(単一回答)

(n=9,531)

無回答

2.9%

聞いたことはない

32.1%

聞いたことがあり、内容もある程度知っている

11.7%

聞いたことがあり、内容を少しだけ知っている

19.3%

聞いたことはあるが、内容はわからない

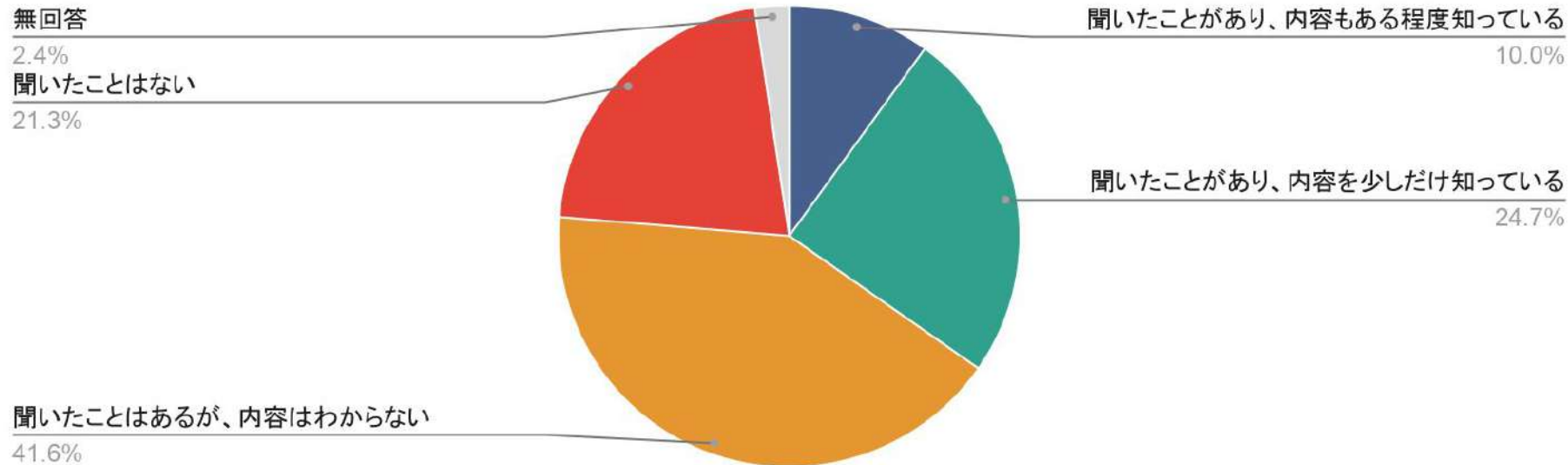
34.0%

「子どもの権利」の認知度について、『聞いたことがある』(「聞いたことはない」以外の選択肢の合計)が65.0%となっている。

【中学生以上】

問12 「子どもの権利」の認知度(単一回答)

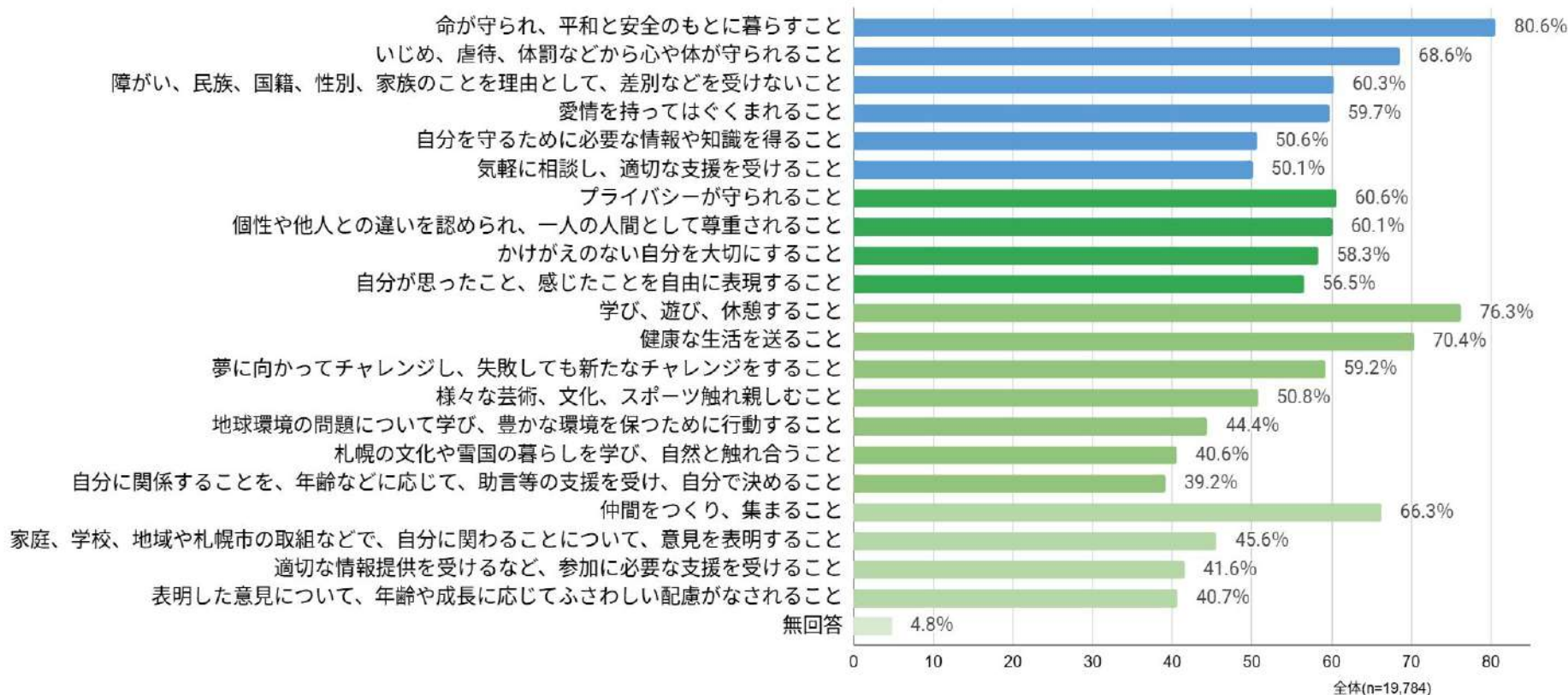
(n=10,253)



「子どもの権利」の認知度について、『聞いたことがある』(「聞いたことはない」以外の選択肢の合計)が76.3%となっている。

【全体】

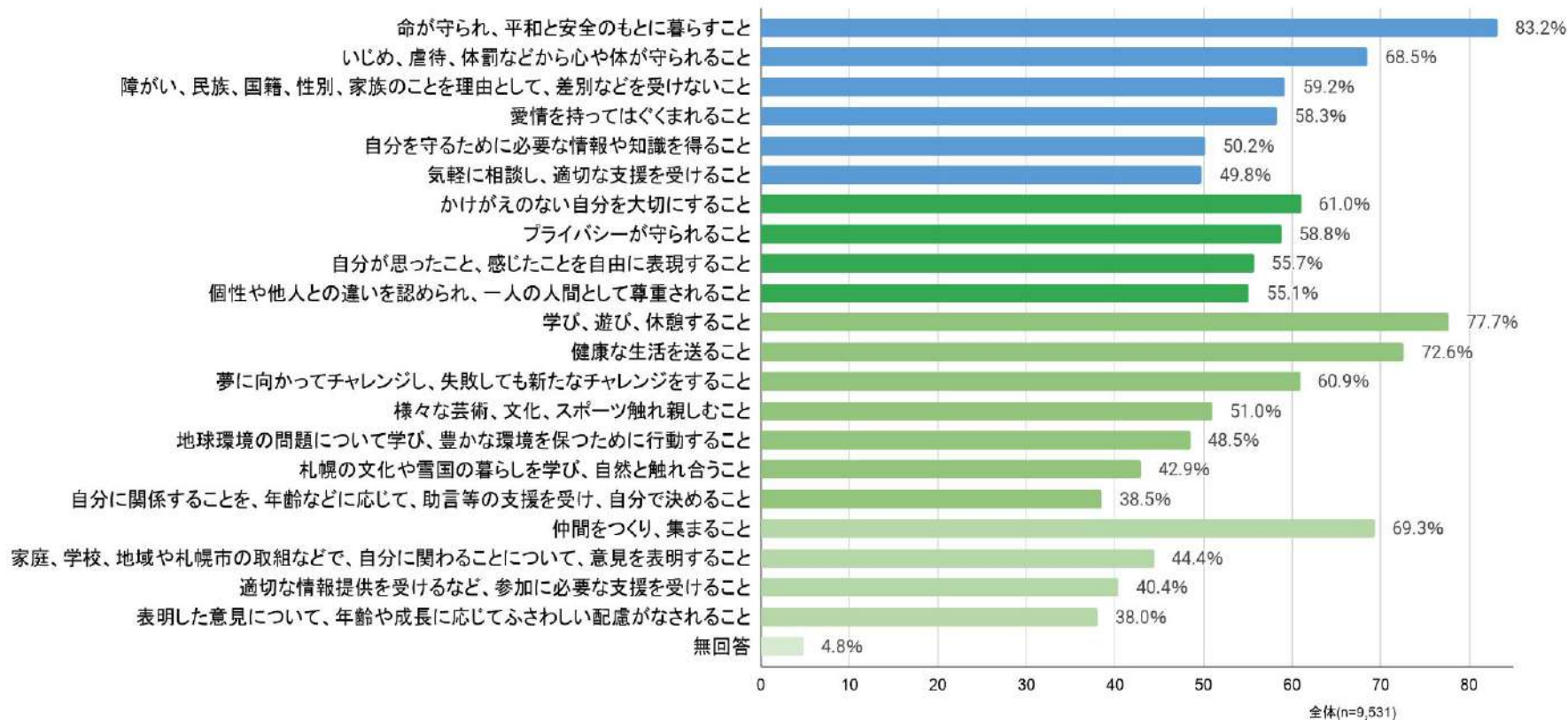
問13 子どもの権利の中で、特に大切にしてほしいと思う権利(複数回答)



子どもの権利の中で、特に大切にしてほしいと思う権利については、「命が守られ、平和と安全のもとに暮らすこと」が80.6%と最も多く、次いで「学び、遊び、休憩すること。」が76.3%、「健康な生活を送ること。」が70.4%となっている。

【小学生】

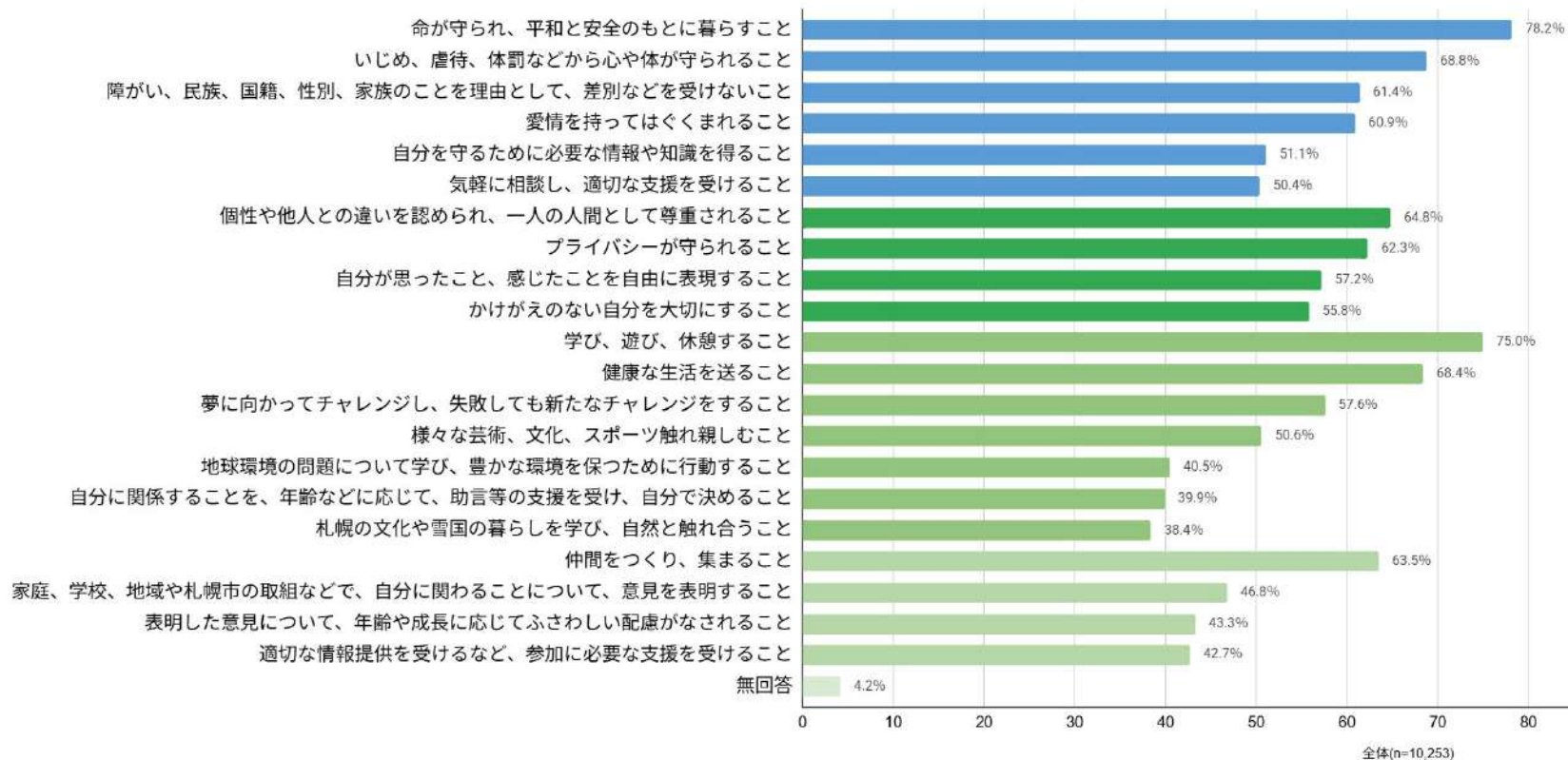
問13 子どもの権利の中で、特に大切にしてほしいと思う権利(複数回答)



子どもの権利の中で、特に大切にしてほしいと思う権利については、「命が守られ、平和と安全のもとに暮らすこと」が83.2%と最も多く、次いで「学び、遊び、休憩すること。」が77.7%、「健康な生活を送ること。」が72.6%となっている。

【中学生以上】

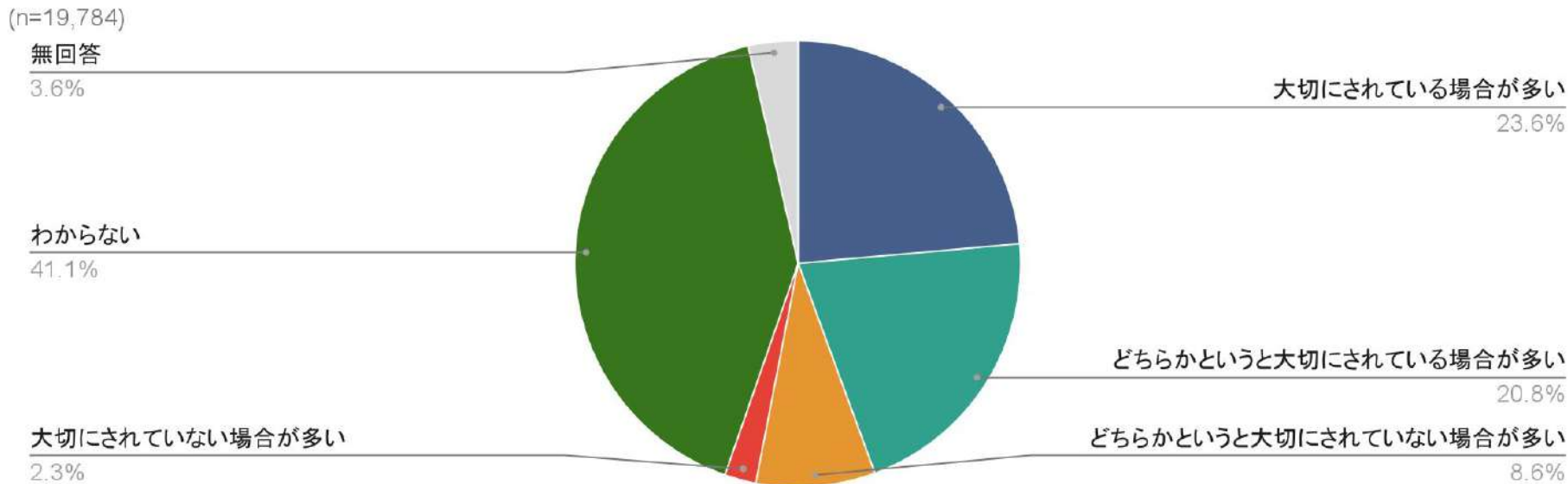
問13 子どもの権利の中で、特に大切にしてほしいと思う権利(複数回答)



子どもの権利の中で、特に大切にしてほしいと思う権利については、「命が守られ、平和と安全のもとに暮らすこと」が78.2%と最も多く、次いで「学び、遊び、休憩すること。」が75.0%、「いじめ、虐待、体罰などから心や体が守られること。」が68.8%となっている。

【全体】

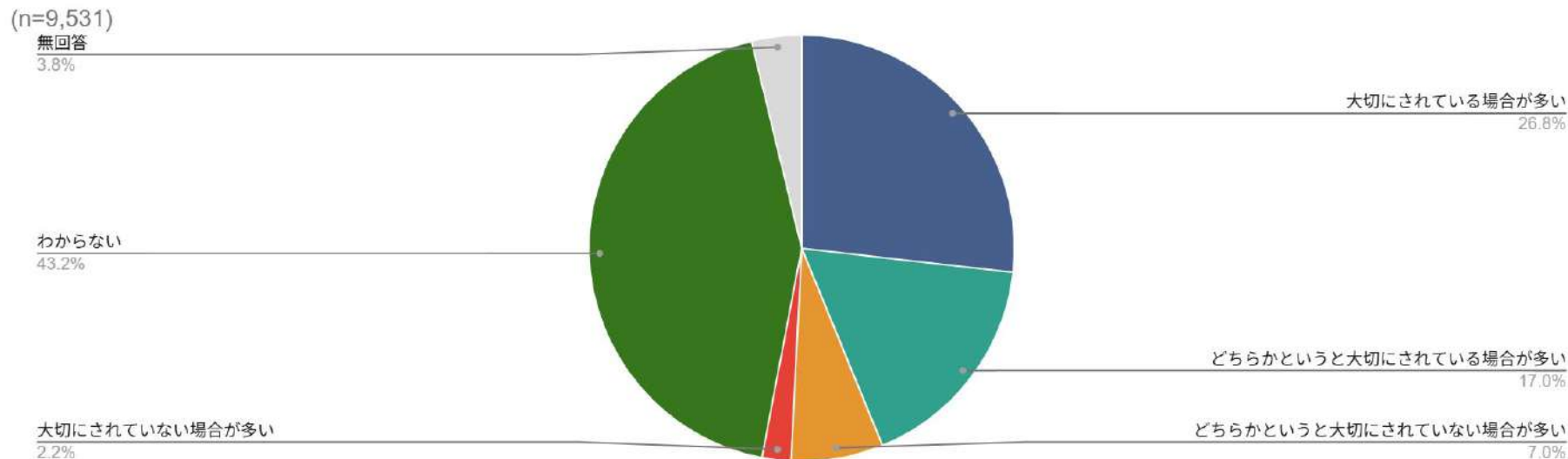
問14(1) 「子どもの権利」が大切にされているか(単一回答)



「子どもの権利」が大切にされているかについては大切にされていると回答した割合(「大切にされている場合が多い」「どちらかという大切にされている場合が多い」の合計)は、44.4%となっている。一方で、個別の選択肢としては、「わからない」との回答が41.1%と最も高い割合を占めている。

【小学生】

問14(1) 「子どもの権利」が大切にされているか(単一回答)



「子どもの権利」が大切にされているかについては大切にされていると回答した割合(「大切にされている場合が多い」「どちらかという大切にされている場合が多い」の合計)は、43.8%となっている。

【中学生以上】

問14(1) 「子どもの権利」が大切にされているか(単一回答)

(n=10,253)

無回答

3.4%

わからない

39.1%

大切にされていない場合が多い

2.4%

大切にされている場合が多い

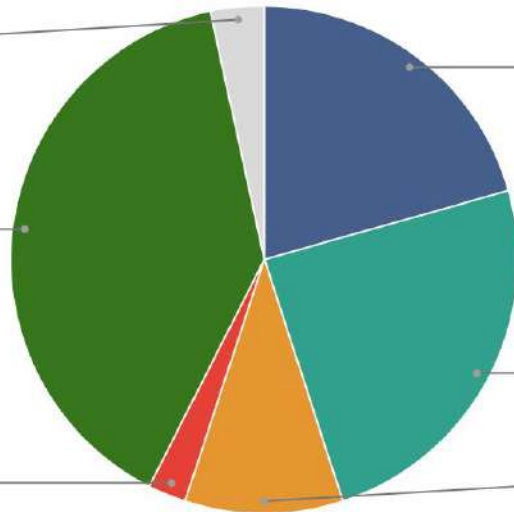
20.6%

どちらかという大切にされている場合が多い

24.3%

どちらかという大切にされていない場合が多い

10.1%



「子どもの権利」が大切にされているかについては大切にされていると回答した割合(「大切にされている場合が多い」「どちらかという大切にされている場合が多い」の合計)は、44.9%となっている。

【小学生】

問14(2) (1)の質問で「大切にされている場合が多い」「どちらかということ大切にされている場合が多い」を選んだ理由(自由記載・任意)

意見分類	人数
大切にされている・優しい・自分のためにしてくれる	1071
学校の先生や環境など	365
話をきいてもらえる	296
友達と仲が良いから	218
権利があると思うから・権利が大切	215
理由はない・わからない・そう思うから	214
地域における子どもの環境の充実	208
意見を尊重してくれる	198
相談できる場所・安心できる場所がある	185
幸せだから・平和だから	141

「大切にされている場合が多い」「どちらかということ大切にされている場合が多い」を選んだ理由については、「大切にされてる等」が1,071人と最も多く、次いで「学校の先生や環境など」365人、「話を聞いてもらえる」が296人となっている。

【中学生以上】

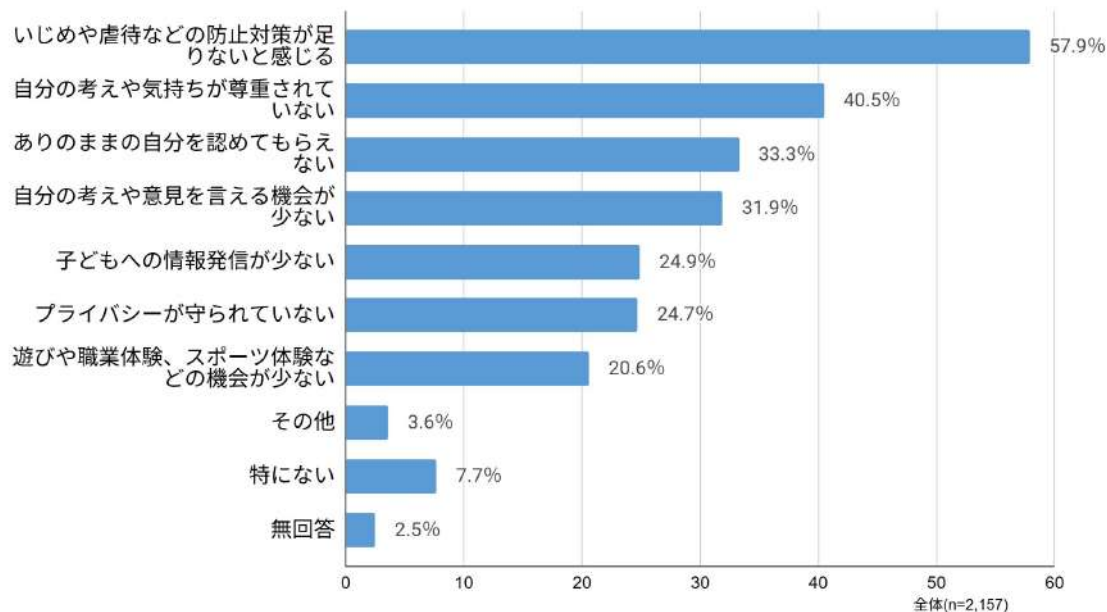
問14(2) (1)の質問で「大切にされている場合が多い」「どちらかということ大切にされている場合が多い」を選んだ理由(自由記載・任意)

意見分類	人数
大切にされている・優しい・自分のためにしてくれる	622
学校の先生や環境など	445
意見を尊重してくれる・多様性	324
話をきいてもらえる	319
理由はない・わからない・そう思うから	275
権利があると思うから・権利が大切	173
地域のイベント、施設、人など	170
相談できる場所・安心できる場所がある	167
幸せだから・平和だから・豊かな生活を送れている	149
友達と仲が良いから	114
札幌市の環境や取組	56

「大切にされている場合が多い」「どちらかということ大切にされている場合が多い」を選んだ理由については、「大切にされてる等」が622人と最も多く、次いで「学校の先生や環境など」が445人、「意見を尊重してくれる・多様性」が324人となっている。

【全体】

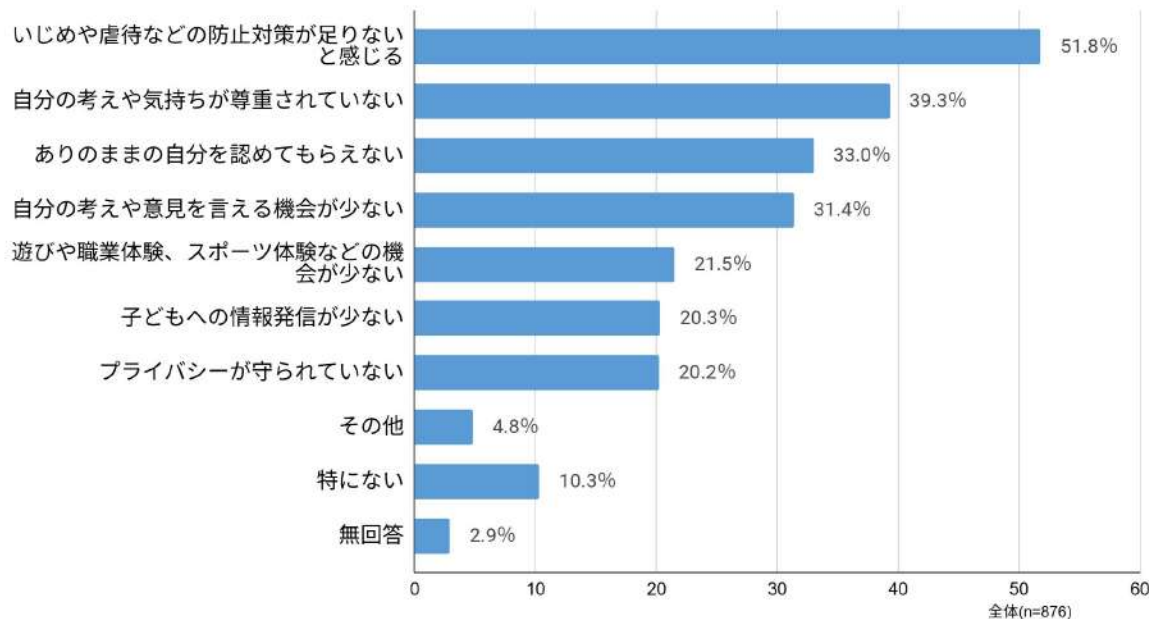
問14(3) (1)の質問で、「どちらかという大切にされていない場合が多い」「大切にされていない場合が多い」を選んだ理由(複数回答)



「どちらかという大切にされていない場合が多い」、「大切にされていない場合が多い」を選んだ理由については、「いじめや虐待などの防止対策が足りないと感じる」が57.9%と最も多く、次いで「自分の考えや気持ちが尊重されていない」が40.5%、「ありのままの自分を認めてもらえない」が33.3%となっている。

【小学生】

問14(3) (1)の質問で、「どちらかという大切にされていない場合が多い」「大切にされていない場合が多い」を選んだ理由(複数回答)



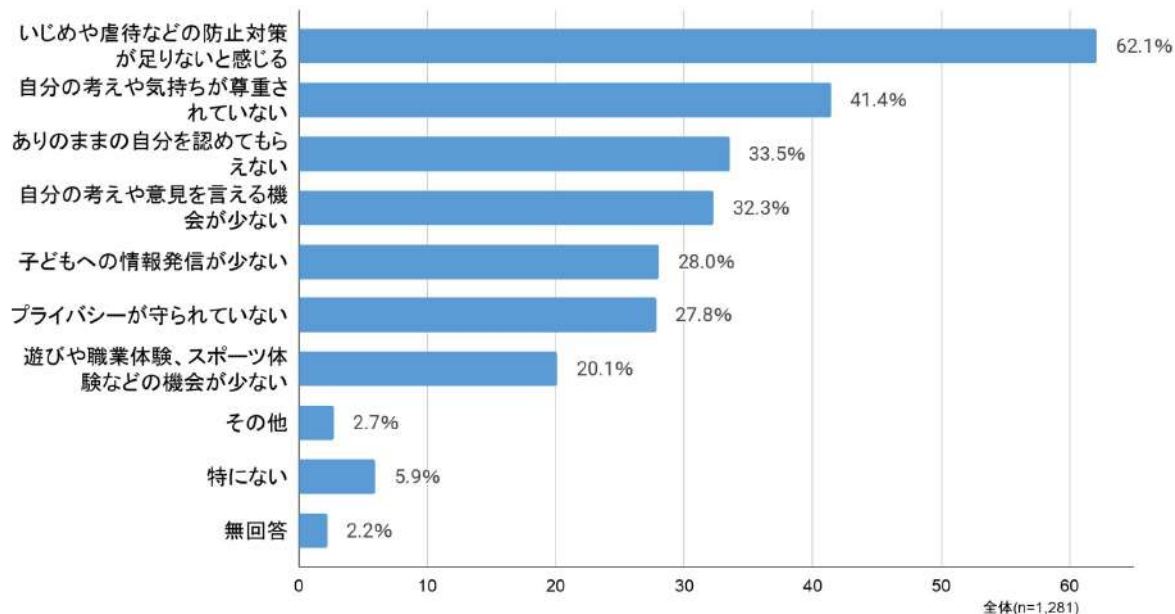
「どちらかという大切にされていない場合が多い」「大切にされていない場合が多い」を選んだ理由については、「いじめや虐待などの防止対策が足りないと感じる」が51.8%と最も多く、次いで「自分の考えや気持ちが尊重されていない」が39.3%、「ありのままの自分を認めてもらえない」が33.0%となっている。

【その他の回答】

その他の意見	人数
学校への不満	7
子どもの声が届いていない	7
家族関係	6
虐待/いじめ	6
大人と子どもの不平等	3
差別/いじめ	2
社会問題	2

【中学生以上】

問14(3) (1)の質問で、「どちらかという大切にされていない場合が多い」「大切にされていない場合が多い」を選んだ理由(複数回答)



「どちらかという大切にされていない場合が多い」、「大切にされていない場合が多い」を選んだ理由については、「いじめや虐待などの防止対策が足りないと感じる」が62.1%と最も多く、次いで「自分の考えや気持ちが尊重されていない」が41.4%、「ありのままの自分を認めてもらえない」が33.5%となっている。

【その他の回答】

その他の意見	人数
学校への不満	8
市政への不満	5
差別/いじめ	4
虐待	3

【全体】

問15 あなたは、札幌市では、子どもが大切にされていると思うか(単一回答)

(n=19,784)

無回答

3.0%

わからない

12.9%

あまりそう思わない

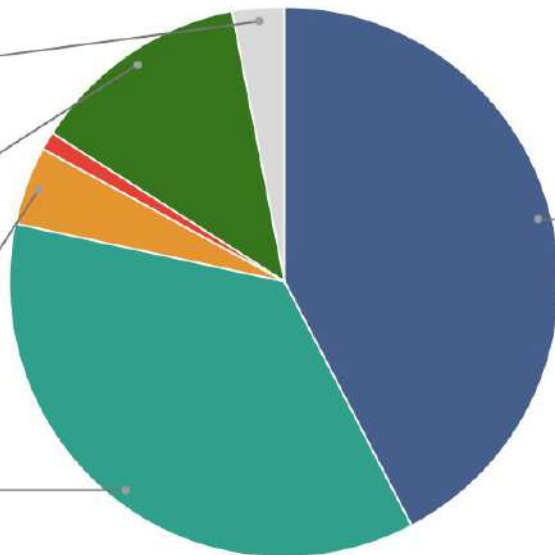
4.6%

まあそう思う

36.1%

そう思う

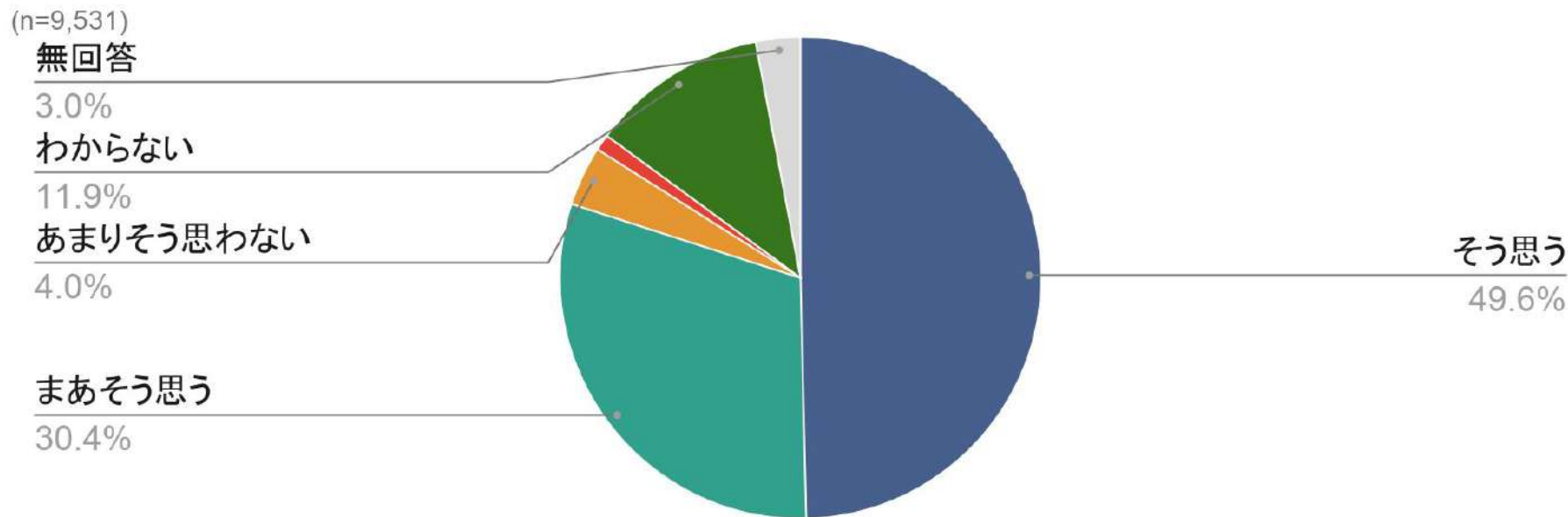
42.3%



札幌市では、子どもが大切にされていると思うかについては、大切にされていると回答した割合(「そう思う」「まあそう思う」の合計)は、78.4%となっている。

【小学生】

問15 あなたは、札幌市では、子どもが大切にされていると思うか(単一回答)



札幌市では、子どもが大切にされていると思うかについては、大切にされていると回答した割合(「そう思う」「まあそう思う」の合計)は、80.0%となっている。

【中学生以上】

問15 あなたは、札幌市では、子どもが大切にされていると思うか(単一回答)

(n=10,253)

無回答

3.0%

わからない

13.8%

まったくそう思わない

1.1%

あまりそう思わない

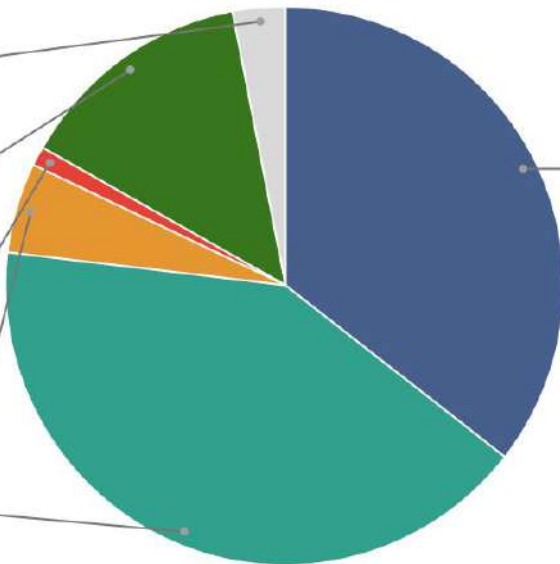
5.2%

まあそう思う

41.4%

そう思う

35.5%



札幌市では、子どもが大切にされていると思うかについては、大切にされていると回答した割合(「そう思う」「まあそう思う」の合計)は、76.9%となっている。